床次竹二郎氏來滿の日埠頭で不穩ビラ撒布

滿洲共產黨事件の端緒を得て

大連署が疾風迅雷的活動

滿洲共産黨事件の搜査檢擧に關しては大連各警察署とも涙ぐましい程の努力を拂つたが、殊に事件の中心となつた大連署の活動には筆紙に盡せぬ血の滲むやうな苦心があつた。即ち事件は昨年十二月床次竹二郎氏が來連した當日、大連各署長は勿論、關東廳からも藤岡警務局長が出迎へてゐた際、埠頭に於て「滿鐵現業員に與ふ」と云ふ不穩ビラ宣傳を發見したのが抑々事件の發端で局長も右ビラの文章を熟讀し「直ちに發布禁止をやれ」と云ふ意見であり、本廳に報告するとその書き振りにより單に滿鐵社員の臨時賞與にのみ關係あると思はれない。思想的方面の動きもあるに相違ないから各方面と連絡をとつて極力檢擧せよと激勵の命令があつたので愈々搜査活動を開始し内偵中、松田豐が一昨年不穩文書を配布し當時滿鐵會社を解傭されんとしたが、職員にして反省を促さうと云ふ同情により職員に拔擢され、社員會の評議員にまで推されたが却つて反滿鐵幹部の言動あつた事を探知し滿鐵と協力し第一容疑者として前記不穩宣傳ビラ配布の直前直後に於ける行動につき系統的調査を進めた結果、偶々同僚の北大山通り黎明寮内田中輝男の許に宿泊した事判明更に田中の身許を調べた處同人は左傾急進派と認めらるべき容疑の點あるので家宅搜査を行つた處「滿鐵現業員に與ふ」の不穩ビラ三枚およびまだ頒布されなかつたパンフレット一册その他左系書籍多數を發見したので證據品として押收の上、田中を同行嚴重取調べた處、最初は種々抗辯し頑強に否認してゐたが、遂に包み切れず右眞犯人である事は勿論、ビラ、パンフレットはガリ版により旅順工大生が印刷し向營口にも連累者のある事を自白したので、茲に大連、旅順、營口各署が相呼應して疾風迅雷的の大搜査となりその結果として旅順では工科大學生間に學生聯盟が組織されてゐる事判明、一味を一網打盡に逮捕し一先づ出版物違反で檢察局へ送る一方、學生聯盟などの秘密結社まで組織されてゐる以上は治安維持法違反としての嫌疑も充分なるより極秘裡に査察中偶々留置中の田中が放還される支那人窃盜犯人に依賴し納富男に送らんとした密書が手に入つたので檢査した處、書面中に「ケルン」の文字あるを發見、いよ／＼共産黨秘密結社に相違ないと睨み納富を取調べた處最初の程は極力否認してゐたが、遂ひに良心の苛責に堪へ兼ね前非を悔ひて共産黨組織の陰謀を逐一自白するに至り、更に田中および一味を取調べた結果事件の輪廓明瞭となり内容一切が判明するに至つて共産黨事件となつたのである

前途ある學生の参加は返すぐも遺憾

善導の意味で相當處罰は已むを得ぬ

大連警察署長 高山勝司氏談

本事件は滿洲初めての事件で其中にまだ前途ある學生の加はつてゐることは返す／＼も殘念である。工大生等も最初は研究を主として會合してゐたらしいが段々深みに陷ち行くので當局でも再三解散を命じた爲め表面は解散したかの如くであつたが

裏面に 於ては社會科學研究會として依然存續してゐたのであつた、最初檢擧された一味も極力工大生の加盟を否認してゐたが本件の首魁とも目すべき田中が檢擧され普蘭店の親戚を家宅搜査した結果工大生に關係ある事判明、一網打盡にされたもので、一味の綱要は國體變革とか私有財産制度の否認と云ふ事までは進んでゐなかつたらしいが、社會の公有物を勞働階級の占有にするといふ位は考へてゐたらしい、今や全世界を風靡してゐる泰西思想殊にマルクス主義にかぶれ之を

不消化 のまゝ鵜のみにし資本家を呪つてゐた事は事實で一種の流行に煽動された社會病とも云ふべきか、思想の研究は必要な事であり、また一面結構な事であるが、一種の理想論とも云ふべきマルクス主義を消化せずその儘崇拜して物質萬能に走り日本古來の精神的美德を破壞し社會組織を禍する者は國家建設を危くするものであるから法の許す限り彼等を善導する意味に於て相當處罰するのは已むを得ない處であらう

思想方面に充分注意

安岡檢察官長談

高等法院檢察官長安岡靜四郎氏は語る

今回の事件に就ては意見も感想も持つてはゐます、だが事件が事件で關東廳や滿鐵に密接なる關係があることだし話しをすれば結局その方面のことにまで及ばなければ意味がないかと云つて月並の話は言つても無駄ですから此際私は一切話は控へたい時勢その他の關係で滿洲も近時餘程思想が惡化したやうにも思ひますが、今度は主務省でも特に思想的方面に注意して全國にその機關を置くこととなり、滿洲にも判官、檢察官書記各一名宛を加へて之に當ることになりましたから將來は此種の犯罪に就ては特に注意もするし忌憚なくやるとになるでせう

密議を凝した旅順の高田洋服店

同店は廣瀬、大田、田中、佐藤、出口等が共同で下宿してゐたところで寫眞左端の開いた窓の部屋が密議した處、中央の開いた窓の部屋が不穩文書が山積してあつたところ

犯罪の動機

待遇改善を考慮せよ

長島豫審判官の談

約半歳に亘り峻烈な取調を爲して漸く十九日その終結を見た長島豫審判官は語る

本件は大正十五年の冬頃よりその機運があつた、偶々同年夏工大の科學研究會を牛耳つてゐる廣瀬が夏季休暇のため歸省の途列車内に於て營口研究會の中心となつてゐる松田と懇意になつたのがケルン協議會と云ふ秘密結社を組織する動機となり滿鐵の臨賞問題に遭遇しパンフレット並に宣傳ビラを配布するに至つたので、彼等は自己の境遇よりマルキシズムに共鳴し之を直譯して日本の國情に當て嵌めやうとした、だから人の上に立つブルヂョア階級は好く下級勞働者の待遇改善等と云ふ點を充分見てやらねばならないと思ふ

世間や父兄に申譯ない

井上工大學長談

感想とか意見とかそんな段ではありません、全く申譯なくて恐縮してゐます、どんな動機から又どんな考へでこんなことを仕出かしたのかハッきりしたことは檢察局の方で調べがついてるだらうと思ひますが、學校では豫て私も又學生監や教官諸君も充分氣を付けてゐたし怪やしい學生には忠告もしてゐましたが不徳の致すところ此樣なことになつてしまつて全く父兄にも社會にも相濟まず面目ありません世間には色々同情して慰めてくれる人もありますが私は決してそうとは思ひません、教官が徹底しないのだ／＼徳が足らないのだと只管左樣信じてゐます、關係した八人の學生は既に放校、退校等夫々處分しました又今後は二度と此樣なことがあらうとは思ひませぬが充分注意して訓育に當るつもりです

内地と聯絡前に檢擧せるは幸ひ

池内檢察官の感想

池内檢察官は語る

滿洲の日本人には内地の無産者の如く最下級の者が極く少なく勞働者と云つても寧ろ内地の中産階級と認めて好い位であるから從つて斯う云ふ危險思想が滿洲の勞働階級に根差して來る事は從來の事情に鑑みて考へられない狀況にあつた、其處で我々の感想は若し滿洲に共産運動が起るとするなれば寧ろ純眞なる學生層に侵入して來るだらうと豫想してゐた處果して旅順工大學生の社會科學研究會が中心となり積極的行動が開始され偶々滿鐵の傭員階級者中の不平分子が社會思想的の研究をなしてゐた者と結びついて事件を起したのであるが將來の問題としても考へねばならぬ事は純眞な學生のさう云つた方面に進む事を阻止する事が出來るならば極力此方面に重きを置きたいものである、本事件は内地の無産運動と聯絡がとれてゐなかつたがもう一歩進めば連絡を取り得る處まで進んでゐた、ソレを未然に檢擧し得たのは何よりも幸ひであつた

無産大衆の尊き犠牲

田畑思想係主任談

泰西思想が澎湃として浸潤し内地では幾多の思想的犯罪を出してゐるが、滿洲では曾て斯る邦人の思想犯罪を出さなかつた、之れは要するに内地に比較し高等遊民が少なかつたのと富の程度が個人的にも向上してゐた關係であつた、取調べに際し彼等は飽くまで否認し居たもので田中の手紙により始めてケルン協議會の組織されてゐる事發覺したのであるが、それでも彼等は私有財産制度の否認に就ては自白したが國體の變革に就いては斷片的にしか自白しなかつた、彼等は研究より組織に移り漸く活動しかけた眞際であつた爲め未だ勞農露國の第三インターナショナルとも何等關係を結んでゐない模樣であるが、要するに彼等の檢擧は無産大衆の尊き犠牲と云つても過言でなからう

『冷靜に世界の現實を見よ』

社員會幹事長 保々隆矣氏談

今回の事件に對する私の感想は既に幹事長就任の際の挨拶に述べた如くであつて今更改めて所感は無いが今日の滔々たる無批判的なマルクス青年、共産主義信仰の學生者流に對しては「冷靜に世界の現實を見よ」と云ひたい今日人文開けたる世界何處の國を例にとるも今日の日本の如くマルキシズムの

盲信的 流行を爲せる國はない、歐洲の獨、伊、英、佛の各國何れも過去に於て多少その影響を受けたものもあるが其の現在は如何であるか？騒いでゐるのは露國のみであつてアメリカの如き勞資共に協調して空前の産業の繁榮と發展を平和に樂んでゐるではないか、マルキシズムとは一國を擧げて資本家を貧乏ならしめ勞働者を苦しめる以外の何ものでもない日本の學生は全く盲信的にレーニン、ブハーリンの理論に心醉し往々悲しむべき

邪路に 陷る者があるがアメリカの或る經濟學者が云つた如くマルキシズムの根本的前提たる搾取説そのものが今日では全然誤つた理論であることが證明された人類社會の眞の福利とその發展は上述の如き誤れる搾取説に立脚して同胞相食み相鬪ふことにより齎らさるものに非ずして勞資各人の眞の協調共働によつてのみ達成されるものと信ずる、これは吾人が現實の事實を直視すれば瞭かなことであつて一國の生産力旺盛で貿易のバランスが

順調に とれてゐる樣な所では決してマルキシズムは流行しない、流行する餘地がないのである、今回の事件に連坐した青年の中には頭腦優秀の者もあると聞くが、私は何故彼等が今一歩進んで冷靜に現實を視て行動しなかつたか、然らば彼等は國家社會の有用の材であり得たであらう事に想到して實に痛惜の念に堪へない、社員會は今後も上下級社員間の意思の疏通と遺憾なき融和を圖ることに益々

努力す るが之を勞資の對立機關化するが如きことはその存立の使命に反するものとして斷乎として絶對的に排しなければならない

安東、大連間走破の福安氏（中央）ゆふべ滿鐵本社前で

家庭や學校でも思想惡化傾嚮に心せよ

大場關東廳高等警察課長語る

初めて今回の事件を摘發したる大場關東廳高等警察課長は語る

滿洲には從來支那人の共産運動は時々あつたが日本人がやつたのは今度が初めてでした、滿鐵關係者は生活の不平から學生は例の一本調子の研究と若氣が遂にかうした結果を生ませたのだと思ふが共に許すべからざることです、併しこんなことであたら前途有爲の學徒や靑年を失ふことは誠に遺憾の至りです、學校でも充分警戒はしてゐたらしいのですが一度首を

突込む と仲々ぬけ切らぬのでせう、昨春の京大事件の折などは一部學生間には學究の壓迫などと官憲を惡む傾向もあつた樣でしたが、その後は數度の檢擧や内容が判明すると共にそんな考へも薄らぎ學生間でも又一般社會でもこの樣なことは嫌はれてゐる樣です、滿洲は近年失業者が多くなり生活苦の要求と共に破廉恥罪が多くなり思想も非常に惡化しつゝある樣だから家庭でも學校でも充分注意して貰ひたい

ツエ伯號霞ケ浦着けふ午後五時ごろ

太平洋岸の東コースを飛んで東京、横濱を訪問

【東京特電十九日發】十九日午前七時三十分ツェ伯號より遞信大臣宛左の無電があつた

志留久遠、内浦灣間に掛け北海道横斷を許可され度し

右に對し當局は許可の旨發信した、これがためツェ伯號は東コースをとり北海道函館の北部岩内附近に寄り内浦灣に出で太平洋に出づることゝなつた、而も津輕海峽は通過禁止されてゐるので附近の要塞地帶を迂回し青森縣海に出でそれより金華山沖合を通過し宮城縣を經て漸次に南下し霞ヶ浦に出づるものと觀られる、このコースは日本海を經由するコースよりは長距離である、その結果同號は午後四時ごろ東京横濱を訪問したるうへ同五時ごろ霞ヶ浦飛行場に到着する豫定である

早くも午後二時中村町沖を通過

【札幌十九日發電】ツェ伯號は十九日午前三時三十分稚内上空を通過し五時二十五分天賣燒尻の西方沖合を通過したが、午前十一時半には早くも椴法華、岩手縣久慈町宮古灣沖合七哩の所を通過し、午後一時三十分宮城縣石之卷沖を通過した

【仙臺特電十九日發】ツェ伯號は本日午後二時福島縣中村町沖合を通過した

萬般の準備全く整ひたゞ着陸を待つ

夜明前から見物霞ケ浦に押寄す

【霞ヶ浦十九日發電】愈々ツェッペリン伯號到着の日は來た航程六千二百哩九十餘時間を翔破して霞ヶ浦に着くのである霞ヶ浦飛行場八十萬坪の青草は前夜の雨に洗はれて清々しく輝き大空には薄雲が浮んでゐる、土浦より飛行場に到る一里半の街道は夜明け前から自動車の大驅走である、飛行場へ押し寄せて來る人波は物凄いばかりだ、連日徹宵奮鬪に目を眞赤にした航空隊の枝原司令以下はツェッペリン伯號からの情報を待ちつゝ空を見詰めてゐる、心配してゐた雨も入時頃には霽渡雲で絶好のコンディションである、飛行場には歡迎飛行に向ふ十三年式艦上偵察機四機機首を列べて命令の下るを待つてゐる傍らに民間機六機も既に準備を整へてゐる、ツェッペリン伯號の着陸作業に從ふ四百五十名の隊員も午前九時には作業服甲斐々々しく準備を整へて居り何時ツェッペリン伯號が飛來しても些し間へなき萬端の手筈が完了してゐる

檢便中止

青島からの入港船に限り

曩に大連上海定期船大連丸からコレラ患者を出して以來青島をコレラの潜在地と認め、之が豫防のため取敢ず同港より入港の船舶職員船客の糞便檢査實施中のところ成績良好のうへ、關係方面調査の結果青島を流行地と認め難き狀態にあるをもつて本日より青島よりの入港船舶に限り檢便を中止する事となつた、尚海水使用に對しては目下衞生課と交渉中だといふから一兩日中に解禁となるだらうと

邦人店員が支人娼妓と心中

小崗子の貸座敷で

十七日の宵、小崗子遊廓で相愛の日支人の情死未遂があつた、原籍和歌山縣那賀郡根來村當時市内西通り某醬油店員東島正夫（二三）假名は十六歳の時來連前記店に雇はれ

支那語に 堪能となり始終支那人と交際する中趙福榮と名乘つて居たが本年三月頃より西崗街四十一貸座敷一〇九號娼妓王夫讀（一九）假名と馴染みお定まりの金に窮し六十圓許りの未拂金が出來屢々會へぬを悲觀し、一方女も出東から責られ寄邊無き身とて男に同情し十七日午後九時半男は阿片三十錢許り買求め兩人で嚥下し女が間も無く苦悶せるを樓主が發見博愛病院にて手當を加へ助けられ男は直ちに自動車に乗り歸店して

苦悶し始 めたるを解藥で無事なるを得た、主人は永年實直に勤めた男に同情し借金を返してやり十九日の香港丸にて歸國させた

罹病兵けふ送還

十七日來大連衞戍病院に收容中の七日分滿洲天津部隊内地還送患者三十八名は十九日出帆香港丸で宇品陸軍運輸部西村一等軍醫に引率されて廣島衞戍病院に向け出發した、患者は主として肋膜炎であるが肺結核は相變らず六名の多きに達してゐる

鹵簿の先驅前を巡査部長横切る

【東京十九日發電】十八日聖上陛下三崎行幸の先驅前を横切つた不敬漢は神奈川縣警察部巡査部長廣瀬兵太郎（三四）と判明し同時に責任者たる今井警衞部長を始め横山警察部長山縣神奈川縣知事は恐懼し進退伺を提出した

鮒掬ひの小兒溺死

市内沙河口元町二二三番地中村嶽雪長男昌一（九）は十七日午前八時ごろ近所の畔上春彦（七）木内學（七）等友達と打連れ水源地プールへ鮒掬ひに行つたが誤つて落ち込み子供等の泣き叫ぶ聲に監視員が馳け着け抱き上げた時は既に遲く人工呼吸を施したが遂に及ばず蘇生しなかつた

滿洲商議聯合會と各商議の提出議案

哈、安、鐵三商工會議所よりは既に提案　未だ纏らぬ大連商議

來る九月三、四兩日ハルビンに於て開催される滿洲商議聯合會に提出する議案は各地商工會議所に於て目下作成中にてハルビン、安東、鐵嶺三會議所は既に提案濟みとなつた而して開催地の哈爾賓商議では本月末までに各地の提案を取纏めたい希望を存してゐる、然るに大連商議では去る五日附で關東廳に申請した新正副會頭の認可指令が未だになく、之が爲め役員會を開いて提出議案を決定する譯にゆかず、徒らに事務の遲滯を來し、關東廳の悠長さに非常な迷惑を感じてゐる、因に哈爾賓、安東、鐵嶺三會議所の議案内容は左の如くである

哈爾賓提案

▽滿洲に緊縮政策を及さざるやう政府に要望の件

現政府が著々その緊縮政策を實行しつゝあるは帝國の健全なる發達を促するため亦止を得ざる事なりと云へども母國と植民地とは自から實情を異にし就中當滿洲の如きは、帝國の食料、人口問題解決の上において重要なる役割を演ずる立場にて他面各國民經濟的發展上の競爭市場たるの機運益々高調され來たりその現狀に鑑み萬一此方面をも母國に對するそれと一律に緊縮方針の埒内に入るゝが如きことあらんかこれ將來における帝國存立上一大暗翳を投ずるものにして恰も角を矯めて牛を殺すの愚を招くに等しといふべきであり、從つて上記の點に充分考慮を辨ひ少くとも我特殊地域たる滿洲に關しては濫りに無理解なる緊縮政策を行ふことなく寧ろ此際斷乎たる積極方針を樹立し日支共存共榮の趣旨の下に邦人の健全なる經濟的發展を扶植助長するやう政府に警告要望せんとするものなり

安東提案

▽在滿邦人企業を脅威すべき共産運動の取締方に關し建議の件

共産主義的傾向が列國の經濟界を毒しつゝあるは既に久し、而して今や南北滿洲を通じ各般の企業を脅威するのみならず其の經濟根基を覆さんとし進んでは在滿邦人の正業に波及せんとするは洵に痛恨に堪えざる所(中略)共産運動の跳梁を恣にせしむるは在滿邦人をして對外的に幾多の懸案の山積に懊惱せしむるの外、更に對内的に於ては既設企業に脅威を與へ延いては滿洲に於ける我經濟組織攪亂の導火線となる恐れあり(中略)徹底的彈壓と其の根絶を期するが爲め取締法規及び取締方法に就て一層其の完璧を期せられ斯樣當局に建議せんとするものなり

鐵嶺提案

▽小口輸入雜貨の荷拔被害の防止に對し海關並に運送當局者に要望の件

(前略)最近荷拔の手段頗る巧妙を極め之がため荷受の際は何等破損の跡を認めず自家に於て荷開き初めて發見するに至ること頻々たりとなり、損害は殆んど荷受人の負ふ處となり、當業者は不測の損失に惱まされ苦衷とする處甚大なり、依つて運送當局者並に大連、安東の兩海關に對し荷役監督を一層嚴にすると倶に徹底的之が防止策を講ぜられんことを要望せんとするものなり

稅高に累され吉林木材不況

出材量激減を示す

【吉林發】最近の木材市況は左の如くである

一般市況　一般木材市況は内地材と烏蘇里材の安値進出に影響され從來吉林材の販路漸次蠶食を蒙り頗る不振の狀態にあり只製材業のみは建築繁忙期に於て弗々注文あり斯業者を賑はして居る模樣であるが、是亦工事期を經過すれば或は不況を免れざるべしと觀測されてゐる

着筏狀況　今日までに到着せるもの約五百五六十臺に過ぎず材積數量等も極めて少なく約二十五萬石枕木六萬本内外に止り昨年に比較して漸く其三分一に滿たざる狀態である然し製材品の大體内譯は左の如くである

◇過梁　紅松一五臺、白松二五臺▲二呼頭紅松三五臺、白松一五〇臺▲長條子紅松一二〇臺、白松六〇臺▲杣角紅松七臺、白松八臺▲十六尺丸太紅松五〇臺、白松五臺▲枕木二〇臺

最近の市價　最近の木材市價として大體左記の如くである

◇製材品(小割材)紅吹八十錢、白六十五錢(板材)紅八十五錢、白七十錢、丸太紅四十錢—五十錢、白三十錢—四十錢、二十四尺挽角紅六十五錢内外、同白五十五錢内外▲十二尺杣角、紅五十五錢内外、白四十錢内外

右本年度出材量の激減せることは木稅の高率なるに加へて稅局材價の評價が法外に苛酷なることに禍されてゐるのであるから此點につき支那官憲當局が反省せざる限り明年度に於ては愈々流筏の減少を見るであらう

滿洲電氣協會社團法人組織

十七日の準備委員會の結果　關東廳に認可方申請

滿洲電氣協會の設立は屢報の通り着々準備中のところ十七日午前十時遞信局内に於て最後の準備委員會を開催した結果、遞信局中村電氣課長を設立者總代とし社團法人設立認可申請の手續を爲すことゝなつたので、許可あり次第一週間以内に第一回總會を開催し役員選擧、豫算決定等を行ひ、遲くとも九月中旬迄には陣容が整ふであらう、因に右協會設立に贊同の意を表して來た者が目下のところ百二十名に達してゐると

安東取引所　滿鐵に助成請願

州外各取引所統一の必要上　滿鐵は目下調査中

安東取引所では最近打ち續く業績不振の振興策に困じ果てた結果滿鐵に助成方を嘆願する事となり、目下願書を提出中にて滿鐵商工課では助成申請理由の具體的内容に就き愼重な

態度を以て　審査中である

同取引所は拂込資本額六十二萬五千圓、諸積立金五萬五千圓五萬株の會社であつて昨年上期配當五分同下期三分といふ業績であつて現在日本人十名、鮮人六名、支人三名の取引人があり主として柞蠶、木材取引決濟用鎭平銀の取引市場としての特殊機能を有するものであるが過去數年來不振の原因及び最近に於ては銀價の變動で案外活況を呈しつゝある現狀等に鑑み滿鐵としては同取引所の滿洲經濟界に於ける

特殊地位　は相當認めつゝあるも唯單にそれのみにては未だ助成すべき充分の理由に非ずとせるものゝ如く嚴密な調査を遂げつゝある模樣である、因に奉天、長春、公主嶺、四平街等の各沿線取引所は何れも既に滿鐵が半數以上の株主となつて居り開原も約千株を有して居り、州外の取引所の統制は滿鐵により殆ど完全にコントロールされつゝあるので本問題の前途は可成り注目されてゐる

東部線貨物の逆行愈よ旺ん

十九日は二百廿車　南行は去年の六倍

東支東部線の逆行貨物は去る十四日二十八車到着以來その後益々增加し

△十五日百七十車△十六日百五十車△十七日八十二車△十八日二百八車△十九日二百二十車

と素晴らしい數字を示して逆流し又此れ以外の南行貨物も

△十四日百五十九車△十五日百二十六車△十六日百九十四車△十七日百七十七車△十八日百五十車

で前年の八月中旬の一日平均五十車に比し總體に於て約六倍を示し非常な好成績を擧げて居る

大連管内の春蠶成績

價格は昨年より三十一錢高

大連民政署管内本年度春蠶成績は次の通りである

一、掃立狀況

掃立回數	飼育戶數	掃立枚數
一回	八六戶	一〇六枚
二回	六	一二
三回	一四	五三
計	一〇六	一七一

發芽當時天候著しく不順のため岔溝方面の如き溫暖なる山手と柳樹屯、小平島の如き海岸方面とは發芽に一週間以上の遲速を生じた

二、産繭額及價額表

種別	産繭額	對生繭一貫匁價格
上繭	五三〇、四四〇貫	五、三五圓
中繭	一八、〇一〇	一、三六
下繭	三、一三〇	一、一七
同功繭	一〇、七七〇	一、八一
合計	五六二、六六〇	

産繭額中中繭以下の屑繭量著しく尠きは繭價安のため自家用として利用されしものや櫻木商店に直接販賣せし者多く之等は個人別として計算不可能に就き記入せざるによる、その數量は約六十貫見當

三、販賣狀況

産繭取引は生繭のまゝ關東州蠶業取締規則第八條により沙河口下萩町、大連臘壓町、柳樹屯の三ケ所に賣買場所を設け販賣期日を定めて競爭入札を爲した、購入者は櫻木商店、大信洋行、滿洲蠶絲會社の三者で取引價格は六十五損を標準とし、上繭一貫匁最高七圓三十錢、最底三圓八十錢、總平均五圓三十五錢で昨年の平均價格より三十一錢の高値を示した

安東通過貨物

八月上半期

【安東發】安東驛自發並に通過の八月上半期の朝鮮向輸出總噸數は一萬五千五百九十六噸で昨年の同期二萬三千三百四十四噸に比し七千七百四十八噸の激減であるが輸出の内譯は左の通りである

(單位噸)

品目		噸數
粟	中繼	三、五三一
	自發	九四九
石炭	中繼	八、二一〇
	自發	—
木材	中繼	—
	自發	一、一六七
其他		一、七三九

北滿七月中の金融經濟狀況

露、支紛爭の影響を受けて一般に不況を辿る　(上)

鮮銀調査、七月中の北滿方面金融經濟狀況は左の如くである

當月は所謂夏枯閑散期に入つたので

特産界は　江豆殘品小麥先物取引を除けば概ね無爲であつた、然し月始め日本内地では内閣の更迭があり中旬當地では東鐵回收に端を發した露支國交斷絕があつて勞農系商業機關の引揚げ金融界の引締め東行貨物の輸送停頓歐亞連絡の斷絕兵馬國境集中となつて北滿の政治經濟界は空前の波瀾狀態に陷入り民心は極度の動搖を呈した、從て月始め十一磅一志三片であつた倫敦大豆が

漸次好轉　して中旬末には十二磅一志三片となり折柄大洋安現物安で有利となり大連大豆市場も大體強調であつたけれども拱手傍觀の外はなかつた豆粕豆油も日本内地南支方面からの需要が引續いてあり相場も好調であつたけれども在荷薄であつて充分な商況は見られなかつた今夏は雨量過多で小麥の收穫が懸念されていたのであるが幸に寧安縣其他の一部分を除いては大した被害もなくて濟んだ模樣であるが品質は前年同樣百二十三ゾロ止りのもの ゝ樣である、それで傳家甸交易所では

中旬以後　小麥の先物が旺盛に取引され月中一萬車に達する程であつた大豆包米高粱其他の作柄も大體良好であるとの情報であるがまだゝ豆先物取引は尠く四千車内外のものである現物方面は反對に江筋物呼海線物の出廻りがあつて大豆は六千車を數へたが小麥は千五百車内外に過ぎなかつた當地火磨油房とも大半操業休止をやつて居るのであるが近來華人が贅澤になつて來た爲めか上級麥粉の需要が盛で不足を告げた

下級品は　相當豐富な在庫品がある模樣であるが商談纏まらなかつた雜穀方面では先物小麻子十二月物が僅かと現物蕎麥燕麥が多少出來た以外には一般に品薄不況で注目すべきものはなかつた

東拓と殖銀の産業貸付高

【京城發】八月十五日現在の朝鮮殖産銀行公共産業貸付金は五千六百六十萬九千三百二十四圓で七月末に比し六十八萬五千四百三十圓の增加を示し、東洋拓殖會社金融部の同期貸付金は一千百五十六萬圓で四萬四千圓の減少を示した

農作物の水害案外に尠い

最も甚しいのは大豆の被害　鞍山の煙草は豐作

約十日間に亘り過般の水害による沿線の農作物被害狀況を視察中であつたが滿鐵農務係主任橫瀨花兄七氏は十七日夜歸任したが各地の被害狀況に就き左の如く語る

遼陽、奉天、鐵嶺、開原各地方の一般被害程度は新聞紙上に傳へられた程でも無かつた、最も甚だしいのは

遼陽附近　瀋陽、新民の各縣で渾河及遼河の流域で北は鐵嶺附近も相當被害があり面積に於て約十五六萬町步金額約二、三百萬圓程度のものでないかと思はれる、作物の中では大豆最も多く約七、八割粟の二三割之に次ぎ水田も奉天附近は約二割、撫順附近も畑地とも約五百町步浸水したが回復見込なきものは二割弱程で案外輕微であつた、高粱は既に相當成長後であつたから先づ

一割見當　被害であらう遼陽、遼中縣附近の棉花は殆んど全滅と云はれてゐるが之も先づ五分作程度で唯一の鞍山の煙草のみは本年は非常に作柄良好で前年に比し五割以上增收の見込である

全鮮煙草作況

平年作以上か

【京城發】本年度全鮮煙草耕作許可面積は一萬八千四百餘町步に達し之が作柄狀況は左の如し

移植は六月下旬から七月上旬に完了したが京城專賣局管内大部分及び金州大邱兩支局管内は生育稍々思はしからず中部以北特に直播種地たる京城支局管内金城地方並に平壤支局管内は近年稀な出來柄で黃色種産地の忠州方面は移植頃に早かりし爲め作柄良好である最近の全鮮降雨も相當好影響を齎らした模樣で今年度は全鮮を通じて平年作以上の作柄を見込まれてゐる

支那人向即賣會

開催の計畫進む

大連輸入組合では過般の破格即賣會に於て總賣高の三分一が支那人顧客であつたのに鑑み、更に支那人向き邦品の販路擴張を行ふべく九月下旬、小崗子に於て(場所未定)大連及沙河口方面の邦商聯合の下に大々的破格即賣會を開催するに決し目下準備中である

灣糖の生産高

千三百十八萬擔

臺灣總督府發表=昭和三、四年期臺灣産糖實績總産額は一千三百十七萬九千九十六ピコルである

漁業組合總會

大連漁業組合定期總會は十七日午後二時から組合事務所に於て開會三年度收支決算及び四年度豫算の承認を得、一部定款の變更を行つたが、總會閉會後一會員は役員中水産會事件に連坐した刑事被告人のあることは組合の名譽のため面白くないとの異議を唱へるものもあつたが組合長立川雲平氏は未だ公判に於て有罪と決定したものでないからと輕く一蹴し同三時二十分散會した

高橋正隆常務

東洋汽船高橋正隆常務は定時總會に出席のため二十二日出帆のあめりか丸で上京する筈なほ歸連は九月中旬の豫定であると

飛んだ自慢の種　流れ質では天下一

ボロい儲けの組合員も油斷が出來ない

◇……大連質屋業組合(下)

團體めぐり

概して質屋から見た客の心理は初めよいものを持つて來るがだんだん質草が惡くなり、前の利あげどころか子供のものまで持ち込むやうになれば、その客はもう駄目だそうな。もう一つ客の心理は始めて質屋と懇意になりたがる、そうして人情ずくで無理を利かさうとする、而も初めはさうでもないが無理によく貸した品は、きつと流す氣になるのが共通の心理であるといふ、組合員四十九名が取扱ふ一ケ年の入質口數はザツト九萬點、このうちどれほど流質するか——一組合員の話によると入質高百分に比して二十八%といふ驚くべき流れがあるそうだ、即ち日本で一番流質率の高いといはれる佐賀縣ですら十九%、同じ植民地でも北海道は十一%だ、この點では我大連は全國の冠たるものがある

◇

この原因は種々あるであらうが何を云つても利息が高い爲利上げが續かないからだ、それと所謂植民地氣分で借りた金が生活又は享樂に消費され、生産的に活用されてゐないことも有力な原因である内地では私營質屋でも月二分以上の利息は稀である、然るに大連は——滿洲は——五分、六分の高率である、質屋の存在が社會的に相當意義あるものである以上、此の利率の引下げなどに就ても、世の好不況に處して考ふべきである、先達つて沙河口方面の質屋が申合せ、利息の引下げを行つて歡迎を受けたことがあり、市の公設質舖が比較的評判のよいのも市中質屋より利息が安いからに外ならぬ、一寸したところに群衆心理が織込まれるものだが、これを貧乏人の悲鳴とのみ聞いてはなるまい。

◇

「利息をもう少し安くしろ」といふ意見を組合員中にも持つてゐるものもあるらしいが、何しろ目先の利に敏い質屋サンのこと、おいそれと實現されさうにないことに細民相手とはいへ大連のお客樣は内地に比べてはるかに良い質草の一口平均金額はザツト九圓八十錢で、内務省調査による内地の六圓三十五錢に比べると流石植民地だけに生活程度が高いから質草も上等であると、飛んだところで自慢の鼻を高くさせられる譯だ從つて二倍乃至三倍の高利であるからそれだけ利息收入も多い勘定で、大連の質屋の儲けは内地よりずつとボロいといふことだ。

◇

だが質屋もなかなか樂ではない警察からは毎日品ぶれが廻る、盜難品と見れば遠慮なく沒收され情を知つての上と判れば營業停止や認可取消を食ふ、も一つ鬼門は俗に置屋といふ奴、つまり小崗子の露天市場で古着や古洋服を買つて來て、これを作り直し、穴は糊貼りして火熨をかけイカサマもので質屋にはめる手である、これはよく洋服職人が小使稼ぎにやる常套手段であるが新米の質屋はよくかゝる、矢張り數年の歲月を經ねばこの呼吸は判らない。

黃塵

◇……金解禁準備としての緊縮節約宣傳も惡くはないが肝腎の具體的解禁方策に就ては未だ一般に呑み込めぬ點が多い。

◇……政府は他に緊縮節約を慫慂すると共に自らも亦解禁方策の内容を今少しく具體的に擧示して置く必要はないか。

◇……滿洲商議聯合大會の議題として「滿洲に於ける緊縮方針反對」の提案が哈爾賓商議から出た。

◇……と云つて勿論哈爾賓商議が現内閣反對の政策を標榜して居るのでもなんでもない。

◇……在滿邦人共通の事實に即した施設方針を希望するものだと見て宜からう。

市況

株式　内地株低落　五品弱保合　鐘新は即勘

休日明の北濱前場寄は諸株共一圓五六十錢方の低落を報じ東京短期の新東又一圓五十錢安の九十七圓十錢と新安値に辷る等内地は一齊安を傳へたので當市も人氣益々銷沈し諸株共無味閑散裡に散會した五品は定期直共一二十錢安新豆鈔は同事直の氷新は二十錢安の一本値現物の大新は一圓二十錢安新東も一圓二十錢安鐘新は二圓九十錢安と激落して百五圓で即時計算となつた出來高定期二百枚現物二百四十枚

前場

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三一七	—	三一七
新豆	寄引	一〇	一〇七	一〇一
錢鈔	寄引	—	—	一〇七
新東	寄引	—	—	九七八
五品	引	三一七	三一七	三一七

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三一七	三一七	三一七	三一七
商信	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	三一九	三一九	三一九	三一九
錢鈔	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七
氷新	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇

◇現物(乙部)

大新　寄 七七三　引 —　新東　寄 九七三　引 九七三

鐘新　寄 一〇五、〇　引 —

◇爲替及受渡日步

五品　三、〇〇〇　爲替 100 受渡 代日歩 代引 三歩日

株式出來高(十九日)

定期	九九〇枚
現物	一、一四〇枚
合計	二、一三〇枚

後場(保合)

◇定期

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	三一八	三一八	三一八
新豆	寄引	—	—	一〇二
錢鈔	寄引	—	—	一〇七
新東	寄引	—	—	九七五
五品	寄引	三一八	三一八	三一八

◇現物(甲部)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三一七	三一七	三一七	三一七
新豆	三一九	三一九	三一九	三一九
錢鈔	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七

◇現物(乙部)

大新　寄 七七四　新東　寄 九七八　引 九七四

鐘新　寄 一〇五、四　引 —

五品雜觀

◇ 新東は遂に四度目の百圓臺を割つたが休日明けは更に軟調を辿り長短期共新安値に辷つた大新も新値だ

◇ 當市の五品の如きも頃日來新規買仕手の出動あり多少色めき立つたが大勢安を眺めては如何ともせん術べなく一寸立往生の形である

◇ 相場も震災以來の安値に辷つたのであるから前途に解禁問題でも控へてゐない時だつたら最早確かに大底入れとみていゝ處だ何をいふにも解禁近しの脅威があるのでまだまだ氣直りは出來ない

◇ 株式としては或程度まで金解禁相場を既に織込んでゐるとの觀測もあるがそれが現實的となるとまた相場の影響のあることを覺悟しなければならないから前途尙株界苦腦の日が續くものとみなければなるまい

◇ 何しろ金解禁も初めて經驗することだからその影響を豫測し難く又斷行時期も不明であるが氣迷ひ警戒をするより外に途はない

◇ 更に政府は眞劍に節約緊縮を斷行するし財界は日に日に萎縮しつゝあると言ふ狀態であるからかゝる時代に投機が出來る道理がない

◇ 金解禁と言へば之が斷行後は銀屋サンが一番商賣不振に陷ると言ふので氣の早い連中は今度は五品に來てコキの代りに新東の一枚商内をやらうと計畫してゐる者があるそうだ博才の多い土地柄丈けに振つた考へではある

◇ 商品市場も昨今麻袋産地はヂユート工場罷業かれこれで波瀾相場を出してゐるが地場は買滿腹で活氣無く綿糸定期も三品のかけ繫ぎ等で弗々商内もあるが時節柄之亦振はず五品市場の振興策も目論まれて道尙遠しの感である

市場電報(十九日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二四片四分一
同 先物	二四片十六分七
紐育銀塊	五三仙八分五
孟買銀塊	五五留比十六分十一
英米爲替	四弗八四仙四分三
米日爲替	四六弗八分五
米支爲替	三八弗〇分〇

棉花

●米棉(換算五五錢高)

現物	一八仙三五
十月	一八仙三三
十二月	一八仙四四
一月	一八仙五〇
三月	一八仙七一
五月	一八仙七五

●印棉

ベンゴール	二四四留比
ヴローチ	三三〇留比
オムラ	三〇〇留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	七七三〇	七七四〇
大新	五九七〇	五八〇〇
鐘紡	二〇〇〇〇	二三九九〇
鐘新	一〇六〇〇	一〇五九〇
日糖	六〇九〇	—
郵船	五六四〇	—
東新	九七一〇	九六一〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一三三〇	一三三〇
東新	九六一〇	九八四〇
五品 當	一二四〇	一二四〇
五品 中	一二三〇	一二四〇
五品 先	—	一二三〇
豆新 當	—	—
豆新 中	—	—
豆新 先	一二六〇	一二六〇
同(短期) 新東	九七一〇	五品
寄値	九七一〇	一二三〇
引値	九七〇〇	一二三〇
高値	九七〇〇	一二三〇
安値	九六三〇	一二三〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二九二〇	二九三一
中限	二九三五	二九二九
先限	二九八一	二九七九

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二七五五	二七六一
中限	二七四〇	二七八三
先限	二六八〇	二六九九

大阪綿糸

	前場寄	前場引
八月	二四八〇	二四八〇
九月	二四四〇	二四二〇
十月	二三三〇	二三三〇
十一月	二三一〇	二三一〇
十二月	二二八〇	二二六〇
一月	二三六〇	二三六〇
二月	二三三〇	二三三〇

大阪棉花

寄付　大引

神戸豆粕

	前場一節
當限	二八七〇
先物	二八八五

橫濱生糸

	前一節	前二節
七月	—	—
八月	一四六〇	一〇
九月	—	—
十月	四五〇	〇〇
十一月	—	—
十二月	—	—

印度麻袋

限月	八月　九月　十月　十一月　十二月　一月
鐵道直積	—
寄航直積	—
爲替相場	—

手形交換高(十九日)

	枚數	金額
金	八〇七枚	二、三三七、三五七圓
銀	一六〇枚	六〇九、五三七圓

鮮銀券發行高

十七日(前週末)現在の朝鮮銀行券發行高は左の如し

總額	八三、三三九、四二一
正貨準備	三三、三六八、〇九八
保證準備	四九、九七一、三二三

上海爲替情報

【上海十九日發電】寄あと神戸日米高を入れ金は元興永、元成永の買ひに漸騰を辿り豪銀筋の爲替賣りに押へられつゝ人氣良好の氣先き正金が神戸方面で圓を買ひ弗を賣りつゝありとの報に大阪クロス三高を容れ三井金よく買ひたるため急騰したるも正金は圓十一月物八十一兩恰度で約二十萬を賣り一部大手筋利喰ひ少し賣りたるため仕手氣配ボツボツ

上海標金

寄値	三九三兩七
止値	三九五兩〇
高値	三九六兩一
安値	三九三兩三

爲替相場(十九日正午)

正金(銀勘定)

日本向參着賣(銀買)	八九圓五〇
同 十五日買(同)	九〇圓五〇
上海向參着賣(銀買)	七三兩一〇
倫敦向電信賣(銀)	一志八片八分五
同 二ケ月買(同)	一志九片十六分三

正金(金勘定)

倫敦向電信賣(圓)	一志十一片十六分一
信用付二ケ月買(同)	一志十一片八分五
米國向電信賣(百圓)	四六弗八分五
同 九十日拂買(同)	四七弗八分七

鮮銀(金勘定)

倫敦向電信賣(圓)	一志十一片十六分一
同 二ケ月買(同)	一志十一片八分五
紐育向電信賣(金買)	四六弗八分五
上海向電信賣(銀買)	七〇兩八分五
日本向電信賣(銀買)	八九圓五〇
同 十五日拂買(同)	九〇圓五〇

平安異香(85)

葉多默太郎作　中一彌畫

獄中記(八)

その翌日——。

そして、いやに滿しく〱したこの日に黄昏が來て、ポツツリ雨催ひの空から一滴——。傳ふ肌なめらかな百日紅の幹を、傳つておりる蛇がある。

「どうやら雨になりさうだ。手取早く廻つて來やうか」

牢番小屋を出したのは、この地獄といはれた山牢にはうつてつけの鬼のやうな牢番人だつた。

名をがまとよぶ。が、これも人の子。もとは何の何助とか、人間らしい名があつたのであらうが、何分六尺有餘の巨軀に、蟇そつくりな獰猛な首がのつかつてゐるので、人呼んでこれをがまといふ。本人も呼び慣らされてその氣でゐる——といふ男。

それがお秀の牢の前に來て、

「こう、女亡者よ、餌を持つて來たぞ。さあ食ひやがれ」

云つて粟燒きの皿に盛つた黍團子をつきつけた。と、

「御苦勞さま」

常ならさう云つて起きて來る筈の女囚お秀が、今日はどうしたのか起きて來ない。

「こう、女亡者よ、早くしねエかこつちは氣の短けエがま親だ」

「あい……」

お秀は返事をしたやうだ。が、すぐ、

「ウ……」

といふ苦さうな呻きが、がまの耳に入つた。

がまは格子へ首を突込んで、薄暗がりの寢藁を覗いた。

「なんだ、手前は病か。腹でも痛むのか。テヘ……亡者につく病神てなア聞き始めだ。ぢや食ひ物どころぢやあるめエ、こいつはいらねえな」

がまの馬鹿、お秀の病が術だとは金輪際知りつこなし。

「なんのかのと手間暇をとらせる奴だ。ぢやこゝへ置いとくぜ」

云つてがまが格子を離れやうとすると、

「あ、待つて下さい。待つて…」

弱々しい聲が呼止める。

「なんだ。どうするんだ」

「お腹がすいて堪らない。どうか頂かして下さいまし」

「テヘ、病氣は病氣、腹は腹つてやつか。食ひしんぼうの亡者だな——ぢや、やるから早く取りに來やがれ」

「それが——いきたいのですけれど動けない——あ、つゝゝゝ」

寢藁を鳴らせてのたうつてゐるらしい。

「ぢや、そこまで持つて來いといやがるのか」

「まことに申兼ねましたが——あつゝゝゝ」

「しようがねエ、持つてつてやらう」

腰にぶら下げた鍵で鎖を脱し、閂をとつてのこ〱入つて行く。

がまは皿をお秀の枕の所に置いて立ちかゝる。と、その手頸に、汗ばんだのが喰付いたので、

「なにをしやがる!」

口では怒鳴りながら、腋下をくすぐられたやうな顔をして立止まつたが、置物にもならない顔をつき出して、

「變な眞似をしやがる女だ。どうしてくれいといやがるんだ」

白い女の顔を覗きこむと、

「こゝを、こゝを、あつゝゝゝ」

がまの手を引張つて懷中へ入れるので、

「なんだ、胸を押へてくれといやがるのか。馬鹿にしてやがる」

云ひながらも、は笑はせる。

「こゝか、こゝか」

その時、闇に塗りつぶされた牢の奥から、息を殺して、じつと歩み寄つたのは春光だ。

首ほどの水壺を、兩手に摑んで振上げてゐる。

がまはお秀の懷中に手を突込んで夢中だ。

グツと春光の手に力が入る——と見る間に、グワン!と一聲、壺は骨碎——。

がまは、目まひがしたやうに、フラ〱となつた。が、固い頭にこたえが鈍いか、

「な、なにをしやがる」

すぐ立直つて振返つた。

一彌

映畫と演藝

滿鐵音樂會マンドリン部の演奏大會

滿鐵音樂會マンドリン部に於ては明二十日午後七時半より協和會館に於てマンドリン演奏會を催すが年々すばらしい進歩を見せて居る同部が、さらに新部員を加へての活躍ぶりは注目す可き物があるであらう、指揮者は阪野金右衛門氏で、アルト獨唱は上利すえ子孃、マンドリン獨奏は伊藤十五郎氏である。

演奏曲目

第一部

1、序樂「サンジユスト」ヒツテリ

2（イ）鳩のミヌエツト、ハイドン（ロ）ギリシヤの唄、ラウダス（ハ）惡魔の歌、サルトリー

3、アルト獨唱（四重奏伴奏）（イ）海の唄、ダンデイー（ロ）四ツ葉のクロバ、ロイテル

第二部

4、海の組曲、アマデイ

5、月輝く夜、サルペツテイ

6、カイローの想出、マネンテ

7、マンドリン獨奏「第二前奏曲」カラーチユ

8、八大幻想曲「支那」伊藤十五郎

操太夫の來連　本日から稽古

昨年來連して當地常盤津同好者のために稽古をなしヤマトホテルに於て演奏會を催し大連常盤津界のために貢獻するところがあつた常盤津操太夫は豫て噂された如く夫人を伴ひ十八日再び來連し今十九日より藤田洋行樓上に於て同好者のために稽古を開始した

獨逸發聲映畫　大連に上映

フオツクス社のムーヴイートーンに皮切りをした大連映畫界のトーキー熱はマキノキネマの「戻橋」が次で上映され愈よ今秋は發聲映畫が出現すると觀られてゐたが、豫て上映が傳へられてゐたドイツのヴアイタ―フオントーキー「サーカスの女王」八卷が市内三河町の露人映畫配給者アラケロフ氏の手によつて九月早々輸入されることになつた、同映畫の詳細な事は未だ不明であるが今夏七月上海のオデオンに於て封切され一ヶ月間の長期興行をなし好評を博した最初の獨逸發聲映畫で最近日本にも輸入され秋のシーズンに封切されるらしく大連は上海との關係上東京に先立つて封切される豫定で映畫界の注目を惹いてゐる

闇後日譚

阪妻プロダクション特作品で先般好評を博した「闇」の後日物語で愛妻を失なつて悩み續けて居る大堂寺小源太(阪妻)となき妻に生きうつしの水茶屋の娘お鈴(森靜子)とをめぐる物語で原作、脚色及び監督は犬塚稔、撮影は吉田英男、十九日より帝國館で上映(寫眞は妻三郎の大堂寺小源太)

滿洲日報

木下尚江著 火の柱・火宅

四六判 四四〇頁 定價壹圓五拾錢 送料十四錢

先に發賣した『良人の自白』及び『靈か肉か』は、その卓絶せる價値を認められ、讀書界の壓倒的好評を獲得するを得た。今茲に、『火の柱』及び『火宅』を世に送る。此二つの小說は、木下尚江氏の特色を最も濃厚に示したもの。共に、著者の熱烈火の如き理想と社會愛を描いたものである。石川三四郎氏は本書の卷頭でかう云つてゐる。『今日は、單に日本ばかりでなく、世界に於ける社會思想、社會運動が一大回轉を行つて、總てが新しい方向に步を進めようとしてゐる時だ。此時に當つて、此の道の第一人者であつた老兄の前半全集を世に送り出すことは、今日の青年に稀有の良き道案内を提供するものと思つてゐる。』數多き木下氏の著作中に於て本書は、此言葉を最もよく裏書するものと信ずる。

木下尚江著　良人の自白（上下二冊）價（各）一・五〇 送料（各）一四
靈か肉か　價一・五〇 送料一四

春秋文庫

新刊の二著は共に夏の最もよき讀物として薦む

■上野松峰著 漂白の人 西行
■ヘッケル著 内山賢次譯 宇宙の謎　定價壹圓

一册五拾錢
▼『輓近の心理學』及『宇宙の謎』に限り定價壹圓
◇三五判總クロース
◇送料一册八錢

◇既刊◇
▼永井潛著 科學的生命觀
▼出井盛之著 經濟學說史
▼久保良英著 輓近の心理學（壹圓）
▼阿部重孝著 教育學
▼入澤宗壽著 教育史
▼高野辰之著 民謠童謠論
▼美濃部達吉著 選擧法概說
▼宮島新三郎著 文藝批評史
▼住谷悅治著 社會主義經濟思想史
▼瀧本誠一著 日本經濟學史
▼深作安文著 倫理學概說
▼荻原井泉水著 俳句趣味論
▼五來欣造著 政治哲學
▼賀川豐彥著 宗教教育の本質
▼ギッシング ライクロフトの手記（藤野譯）
▼テ・クエンシイ 阿片溺愛者の告白（辻潤譯）

内田魯庵氏三大名著

眞にこれこそ空前絶後の隨筆集也!!

思ひ出す人々

別名を『四十年間の文明の一瞥』と云ふ。明治大正の、文壇・藝苑・思想界の寵兒・奇人・變物等の眞面目を、併せてその時代々々の空氣を、流麗の筆に再現す。最も興味ある人物の評傳であると共に、他面最も嚴正な文明の批判である。永久に忘れ難い時代、明治大正の最もよき記念塔と云へよう。目次は次の通りである、▼四十年前——新文藝の曙光▼斎藤綠雨▼『杏の落ちる音』の主人公▼淡島椿岳▼鷗外博士の追憶▼最後の大杉▼三十年前の島田沼南▼二葉亭の一生▼二葉亭餘談▼二葉亭追憶。

貘の舌

該博の識、犀利の見、魯庵氏の隨筆は、わが文壇に至寶として珍重せられたるもの。著者逝いて、これ等の作品は一層の光輝を放つ。その主要なる目次を示せば——▼バクダン▼醫者と藥▼葬式▼クリスマス▼惡魔拂ひ▼學者文人の識見▼正月改善▼元日▼年頭葉書▼骨牌▼床の間廢止案▼新嘗▼寶物▼新聞の訪問記事▼新聞記事のTOPEY—TURVY▼英國我亡論▼氣▼兵役拒絶の宗教▼危險思想の發生地▼革命と文人▼奏人選賞▼早取寫眞▼撮影難▼廣告▼手紙▼靑踏▼火事▼家▼建築的キューリオ▲化物屋敷▼拷錢▼他に挿繪十四葉

バクダン

共に興味津々たる『貘の舌』及び『貘の耳垢』より成る。前者に於ては、主として文明批評を、後者に於ては、主として文學小話を取扱つてゐる。その目次の一端を示せば——▼ポスター宣傳▲納札の過去現在未來▼蒐集家▼郵便切手と販具▼世界的蒐集▲野蠻人の藝術▼埋れたる天才▼三百年前の日本人虐殺▼キシーネフの虐殺▼切支丹追害▼リンチ▼猶太キップリングの處女作の初版▼ゴリキーの一人舞台▼トルストイ村▼露西亞文學の特徵▼近代の鬼才ノルダウ▼伊東と伊藤の混同▼英人の著はした幸德秋水傳▼其他數十項收錄。

◆定價
【思ひ出す人々】貳圓八拾錢・送料十八錢・四六判四五〇頁・布製
【バクダン】貳圓・送料十二錢・菊半截四五七頁・布製
【貘の舌】壹圓貳拾錢・送料十錢・菊半截二五三頁・上製

目錄進呈　東京麹町内山下町　振替東京二四八六一　電話銀座五六五二・五六五三

春秋社

外交時報

（每月二回）八月中旬號（定價五十錢 郵送料二錢）

ヤング案贊成　卷頭言
コミンテルン政策　今井時郎
『人民の名』と日本　永井亨
軍縮の基調と日本　坂本俊篤
露支紛爭と日本　松原一雄
露支關係と列國　坂本義孝
日露支と故後藤伯　布施勝治
露國宣傳の眞相　林　鷗夫
對支新指導精神　神田正雄
英米の對支進出　村田孜郎
閻閥財閥の南京　柏田忠一
國民黨々部なるもの　澤村幸夫
佛國政變の意義　町田梓樓
西班牙世界的地位　太田爲吉
列國對外產業政策　大山卯次郎
新幣原外交の批判　長野朗

稲原勝治著 外交讀本　金四圓五十錢
米田博士 最近世界の外交　金五圓五十錢

東京麹町中六番町　外交時報社　振替東京五一八六八番

秋の料理

九月號　初秋食養

名月料理▲農村の食物に就て
客膳立▲新築祝内宴
誌上講習會▲七回忌精進
衞生腸料理▲初秋獻立二十例
天然絹と人絹▲幼兒向料理
母性愛と子の養育▲秋の果王林檎
腸チブスの食餌▲魚肉フィレイ
戀愛行進曲（長編小說）中村武羅夫

東京麹町一の一一　振替東京二四三九八

餅は……餅屋へ
煖房衞生工事の御用命は
大連市監部通一〇九番地
高石商會　電話三五〇二番へ

慶弔進物品問屋
結納儀式用品調進
大連市浪速町通・紀伊町見附
藤井卯商店進物部
電話五八七四番

小學校の先生になれ

生活が樂で社會から尊敬せられる

▽小學校の先生は近頃では大學出の會社員などよりも世間から歡迎されます。しかも教員拂底で毎年二回位づゝ募集されてゐる。
▽それで居て、小學校の先生になるには「男女誰でも、學校出でない人」でもよろしいのです。
▽但し、試驗があるのです。試驗に通るのには、本會發行の「師範講座」で一日十分づゝ勉强して居れば必ず間違ひありません。
▽夫れに本會は東京市藤井教育局長が會長をなさつて居られます。
（ハガキで申込めば手續一切を書いた本を無代進呈す）

東京市神田區錦町一ノ一九・電話神田三二四〇七一・振替東京五七〇五五九六
小學教員養成會

內科　小兒科　入院應需
大連市吉野町三越横
桐原医院
電話四二一九一

大連市信濃町岩代町角
電話六四一〇番
三根眼科醫院

小兒の腸疾患に

小兒病中最も多く小兒を惱まし、且つ容易に危地に導く小兒腸疾患の大多數は、有害細菌の作用によるものであります。

故に有害細菌の繁殖を防止し、然も消化を增進する**ビオフェルミン**は、小兒腸疾患の好適藥劑であります。

◇

乳兒綠便、消化不良粘液便、夏季下痢の治療と豫防に、**ビオフェルミン**は極めて確實に奏効します。加之、絶對に無害安全で、下痢の初期に大量を用ひて速かなる効果を期することが出來ます。尙ほ本劑は佳味で小兒は喜んで服用します。

【錠劑と粉末あり】

發賣元　武田長兵衞商店　大阪市道修町
製造元　神戸衞生實驗所　神戸市二宮町

知名藥店にあり。

奉天派の誤解を解き 對露策の一致を圖る

蔣氏代表何氏十八日急遽赴奉

【奉天特電十八日發】蔣介石氏の命により張學良氏と會見すべく…何成濬氏は十八日午後四時三十分…遼寧驛着列車で來奉した、驛頭には張學良氏代理…の出迎へあり直に城内に入り邊業銀行に投宿したが、何氏今次の用件は對露問題に關する奉國間の疎隔を緩和するにあるらしく…對露策一致を學良氏に勸め尚學良氏の誤解を解くにあるものと見らる

國民政府の方針に基き 對露交渉せよと通告す

【奉天特電十九日發】東支鐵道問題を中心に奉天と國民政府間の疎隔は漸次險惡化してゐる如くであるが、國民政府外交部は…張學良氏に對して今後の東鐵問題は國民政府の方針に基き交渉する旨を正式に通告して來たと

露軍達來諾爾攻撃 支那軍出動し之に應戰

【滿洲里十八日發電】…露軍は…達來諾爾に總攻撃の態度に出で支那軍は之に應戰しつゝあり、十八日午後…聞え各商店は悉く閉店し市街は人馬…の不安に襲はれ支那軍は當地より…

露軍國境を侵さば 支那は斷然逆襲

支那軍事會議で決定

【滿洲里十八日發電】ロシア軍の…

憲兵司令部 滿洲里出動

【奉天特電十九日發】東北憲兵司令部に對しても出動命令を發した爲め、第四中隊及び第十三中隊は何れも十八日夜十時發打通線經由國境に向つた

奉軍國境へ 積極的出動

令部では邊防軍司令部よりの命により滿洲里に出動することゝなり十八日午後十時第四及び第十三中隊は瀋陽驛發北寧線打通線洮昂線經由滿洲里に向つた

【奉天特電十九日發】張學良氏は最近國境の兵備に對し積極的對策…

支那軍は國境に 六萬を增派

駐米公使伍氏發表

【ワシントン十八日發電】駐米支那公使伍朝樞氏は支那政府が今回北滿露支國境に六萬の軍隊を增加配置を命令した旨本日當地で發表した、氏は其理由を述べて左の如く説明した

今回の軍隊配備命令は支那領土が露軍に依つて終始侵害されるので今後之を繰返へさぬやうにするため行はれたものである、勿論之は戰爭を意味するものではなく、支那は依然として和平的解決を切望してゐる

周龍光氏 滿洲里到着

【滿洲里十八日發電】國民政府代表周龍光氏は副官二名奉天軍事代表三名を從へ十八日午前十時來滿支那軍司令部で對露軍事行動につき協議した

長春寛城子間 輕鐵敷設

支那軍輸送用に

【長春十八日發電】吉林省當局が軍隊を北滿に出動せしむるにあたり我附屬地を通過せず寛城子驛に到達し得るため城内、寛城子間（邦里二里強）に道路を新設することになり本月初旬起工したことは既に報ぜられたが該道路は本月末を以て完成することになつたので同省では更に之に輕便鐵道を敷設すべく目下計畫中であると

ダリバンク 廿日頃に引揚

【哈爾賓】ソウエート政府の在支國營機關は哈爾賓のダリバンクが閉鎖して本國に愈々廿日頃引揚げ

…ることになればこれで全部撤廢することになり、支那に於て經濟的發展を試みんとしたソウエートの國營商工策は東鐵問題の解決をみるまで假死狀態となる譯である

政務官會議

【東京十九日發電】定例政務官會議は本日午後一時開會横山商工次官より瓦斯問題について報告次で教科書値下げ問題につき野村大麻兩文部政務官より説明各政務官より議論沸騰したが結局適當の時機に相當値下げを行ふに意見一致し午後二時半散會した

社會政策審議

【東京十九日發電】社會政策審議會第一特別委員會（失業者救濟、勞働組合法）は十九日午前十時より首相官邸に開會安達委員長以下各委員、各幹事出席失業者救濟策…

齋藤總督に 優諚を賜ふ

葉山に伺候

【東京十九日發電】齋藤新朝鮮總督は十九日午前十時東京發葉山御用邸に伺候、天皇陛下に拜謁仰せつけられ天機奉伺の後、總督御親任の御禮を言上せるに對し、陛下には齋藤子が老軀を以て再起せる事につき優渥なる御言葉を賜つた次で皇后陛下照宮の御機嫌を奉伺し別殿にて午餐を拜受し午後歸京した

滿鐵副總裁 正式發表

滿鐵新舊副總裁に對する辭令は十七日附を以て發表され同日大平副總裁より滿鐵本社へ電報到着した

新舊副總裁に 挨拶電報

滿鐵社員會から

滿鐵社員會幹事長保々隆矣氏の名を以て十九日新舊副總裁に對し挨拶の電報を發した

大平駒槌氏宛

副總裁御就任に際し我が滿鐵社員會は深甚なる期待と舊知の親しみとの念に滿ち、喜びに堪えず、茲に全社員の名に於て、謹みて祝意を表す

松岡洋右氏宛

今般副總裁御退任に際し過去八ケ年に亘る慈母の如き御…

關東廳人事異動 けふ閣議で決定

首相を訪ひ長官懇談

【東京十九日發電】太田關東長官は本日午後三時半官邸に濱口首相を訪ひ赴任の挨拶を述べると共に局長級の異動につき懇談したなほ異動は明日の閣議にて決定の模樣である

實相を知り難い 謎のロシア

八ケ月間に亘り調査した 大藏公望男の講演

勞農ロシアは謎の國、表看板だけで樂屋裏は薩張り判らないとは同地觀察者の嘆聲である、日本ばかりでなく世界各國の新聞雜誌のロシア評は事の大小に拘らず日々自國語に飜譯して居るのでウツカリ口を辷らして

惡口を吐かうものなら直にブラックリストに載せられた上にどんな理由があつても入露を許さぬ首尾好く入國出來ても各機關の視察調査がまた一ト骨で、モスクワにある文化協會の紹介が無ければ視察が出來ぬのみならず經濟調査を軍事探偵と同樣に取扱ふ程に勞農は秘密主義を保つて居る、公共機關、各組合等々凡ゆる方面に共産黨の錚々たる人物が御目付として頑張り耳の穴を露天掘の穴のやうに擴げて質問者と應答者の

一問一答をも聞き漏らすまいと努めて居る、甚だしい時は速記者まで置いて問答を速記し本部に報告する、こんな具合であるから都合の惡い方面の眞相は喋れないからお茶を濁すので觀察者は結局？？？で終るのは當然である

斯うした勞農の實相を摑むべく前滿鐵理事大藏公望男がモスクワを訪問したのは一昨年の暮であつた幸にカラハン氏とは北京以來の知合であり、その斡旋で文化協會の紹介を得八ケ月間政治、經濟、文化凡ゆる方面に亘つて連日精力の續く限り詳細に調査研究を遂げそれより

中歐歐洲を遍歷し今年の初めイタリーに出で例の下位春吉氏の案内で四月初めまでロシアに於けると同樣特に力を注いで觀察しイギリス、米國を經て最近に於ける世界の新知識を收めて先月歸朝したので、滿鐵社員會修養部では男に乞ふて來る二十一日、二十二日の兩日午後三時二十分から協和會館に於て講演會を開くことゝなつた演題は

△二十一日「ソウエートロシアの實相」

△二十二日「ムッソリーニ治下の伊太利」

で男が蘊蓄を傾けて講演される新知識は聽衆に多大の感動を與へるべく一般の來聽を歡迎すると

米司令官招待

滿鐵では目下入港中の米國東洋艦隊司令官、艦長及幕僚六名を主賓とし領事ナショナルシチーバンク出張員スタンダードオイル及フレーザー自動車會社支配人を二十日午後七時滿洲館に招待晩餐會を催すと

…の審議に入り質問應答の後來る二十二日更に協議することゝして正午散會した

相磯顧問官危篤

【東京十九日發電】畏き邊りにては宮中顧問官相磯慥氏病氣危篤の報天聽に達するや十八日午後葡萄酒一打御下賜あらせられ位一級を進められた

宮中顧問官　相磯慥

敍正三位（以特旨位一級被進）

海牙會議の前途

四國の妥協申出によつて活路を見出すと觀測さる

【パリー十九日發電】行き詰りの海牙會議の成行如何に關し佛國新聞の觀測は伊佛伯日の四國が英國に對し一層廣範圍の妥協的申し出でをなす事に依つて活路を見出し得べしとなしてゐる、而して右斡旋のため我安達大使が起つ事になるであらうと云つてゐる

市參事會

大連市參事會は石本市長、市役所各主事、牛島、仙波、笠原三參事會員等十九日午後一時半市役所に參集し左の通り全部議了して同三時二十分散會した

一、豫算流用の件

一、昭和四年度市税戸數割賦課に對する異議申立に關する件（全部不承認）

一、區長設置規程中改正の件

右三件は原案通り決定

一、昭和三年度大連市歳入歳出決算並に同年度各特別會計歳入歳出決算認定の件

右も原案通り承認されたが左の如き希望意見附帶された

一、戸別割に豫算より二千圓の減收を見たのは賦課徵收が敏速を缺きその間戸口の移動多きに因るものであるから之が對策を講ずべく場合によつては徵税吏を增員してでも徵税の督活を圖られたい

一、千代田町小賣市場の二千二百圓減收は該市場が新設の上に偏在して居り而も專ら華人に利用をせらるゝに拘らず他市場通り九割五分の實收を見込んだのに基くものであつて將來かゝる豫算查定上の過誤を生ぜざると共に一面該市場の利用增進方法を十分考慮せられたい

松山高商の 野球團

昨夕五時來連

二十二日より實滿軍を敵手に戰ふ松山高商野球團一行十三名は十九日午後五時着列車にて到着した同軍西藤監督は語る

途中朝鮮各地で戰ひましたが三勝一敗の成績です目下投手の甲野は病氣で出場は難しさうですが外に全國大會に出た豐中の正投手内田及び安川、井上がゐますが、今年は新選手が多いので苦んでゐます

滿洲共産黨事件は 治安維持法違反

豫審決定書に示された適用法規

法律に照すに被告人廣瀬進の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）に第三は同法第一條第二項（結社組織）に各該當し右は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく第二は治安維持法第一條第一項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）に第五は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るゝを以て重き治安維持法第一條第二項後段所定の刑に從ふべく尚ほ第二（治安維持法第一條第一項後段）の所爲第五（治安維持法第一條第二項後段）の所爲は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく以上結社組織（第一事實第三事實）の行爲と結社の目的遂行の爲めにする行爲（第二事實第五事實）とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人大田二郎の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）第三は同法第一條第二項（結社組織）に各該當し右は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく第二は治安維持法第一條第一項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）に第六は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條及び刑法第六十二條第一項に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るると認め重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲にする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人櫻井圭二同八幡政彦の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）第二は同法第一條第一項後段（結社目的遂行の爲めにする行爲）に該當し右結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲めにする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て刑法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告秀島嘉雄の所爲は治安維持法第二條に該當すべく被告人松田豐、同田中輝男、同矢部猛雄、同小林周三の所爲中第三は治安維持法第一條第二項（結社組織）に第五は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るるを以て重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲にする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人歐川澡同松良一萬太同中島保住の所爲は治安維持法第一條第二項（結社組織）に該當すべく被告人阿部兼照の所爲中第四は治安維持法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條及び刑法第六十二條第一項に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るると認むるを以て重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社加入と結社の目的遂行の爲めにする行爲とは牽連犯なるを以て刑法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人納富勇の所爲は關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條刑法第六十二條第一項に該當すべく被告人伊藤進止郎の所爲は治安維持法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條刑法第六十二條第一項に該當し旁々同法第五十四條第一項前段第十條を適用して處斷すべきものにして何れも其犯罪の嫌疑あるを以て刑事訴訟法第三百十二條に則り次に被告人納富勇に對する治安維持法違反被告事件被告人歐川澡同中島保住に對する普通出版物取締規則違反被告事件及び被告人和知啓同細谷次男に對する被告事件は何れもその犯罪の嫌疑なきものと認めらるゝを以て同法第三百十三條後段に則り主文掲記の如く決定す

昭和四年八月十九日

關東廳地方法院

豫審判官　長島卯十郎

眞相を摑んだ時の 嬉しさは忘れぬ

泉警部當時の苦心を語る

滿洲共産黨事件捜査の第一線に立つて活動した前大連署高等主任泉警部は語る

本事件も最初の程は單なる出版物法違反ぐらゐで終るのじやないか、然れば泰山鳴動鼠一匹で世間より物笑ひを招く虞れあるに依り大いに杞憂したが、最善の努力を拂ひ精細取調べを進めた結果は遂に目的の眞相を摑み得た

捜査中は署長始め刑事連まで寢食を忘れ眞に文字通りの徹宵活動を行つてゐるに拘らず被疑者達は固く口を緘し全然否認してその眞相を自白しないので涙の溢れるやうな情ない事もあつた、被疑者の何れもが有識階級であり、また性質が思想的犯罪であつたため相當の豫備知識も必要であり、下手に出て上げ足を取られたり反對に突つ込まれるやうでも取調べの進行上障害を來すので必要な

熟語も研究の上心得てかゝらねばならなかつたからソレ丈けでも非常な苦心を要した譯だ、然しソレ許りでなく時には彼等の友達になつた氣分になつて一緒にお茶を呑んだり、うどんを喰つたりして機嫌をとり家庭に同情して涙を流したりして始めて彼等も一緒に泣き前非を後悔し眞相を話したものであつたがその時の嬉しさはまだ忘れる事が出來ない、之も署長の督勵宜しきを得たのと刑事連が眞劍になつて働いて呉れた賜と深く感謝してゐる次第である

滿洲共産黨事件檢擧挿話

大物檢擧

各署協力の賜 寺田水上署長談

事件の發端ともなつた不穩ビラを最初に發見した水上署高等係は何と云つても今次の事件に對しては殊勳を現したものであるが、右につき寺田署長は語る

事件はたしか十二月廿三日だつたと記憶する朝出動して埠頭ビル内を歩いてゐた際偶然あのビラを手に入れたものだが、一讀して甚だ不穩當な事柄が書かれて居たので早速高等係に命じて取調べを開始した、當署で沒收した文書は約九十通以上だつた樣だ、それで大連署等の大活動となり裏面に潛む大ものを捕へた事は何と云つても各署協力の賜に外ならないと思ふ

不肖の子を殺し 自分も死ぬ積り

佐藤の父大佐の憤り

佐藤一男の父は奉天兵工廠顧問を勤めてゐる砲兵大佐であるが、謎事件に我子が旅順署へ留置されたと聞くや人目を忍んで同署を訪ひ帝國軍人の子にあるまじき行動をした不肖の子を刺し殺して私は自刄したいと迄思ひました、と熱涙をコボしてゐた

ある私の心中を察して下さい

貧苦の母姉が 學資算段

田中貞美は姉にして父を失ひ母親の手で養育されたもので現に母親と實姉、實妹はハルビンにあり、貧しい暮しの中から貞美の學資を月々僅二十四、五圓送つてゐた

幼兒を抱へて 惱む新妻

この事件で大連署がまだ盛に捜査活動してゐる頃、同署高等係の薄暗い分室に留置中の夫へ面會に來て悲しさに涙にむせび物も言へず悄然歸つて行く新妻らしい妙齡の美人があつた、彼女は松良の妻であつた、松良は檢擧さるゝ一年前當時營口の滿鐵醫院に看護婦としてゐた現在の妻と醫院事務長の媒介で結婚し子までもうけたが、彼が獄裡に投ぜられてからは新妻は嬰兒を抱き路頭に迷ひ大連署を訪れて身の振り方を夫に相談の結果當時辭職來連してゐる媒介者の世話で苦惱を白き看護服に包んで慈惠病院に看護婦として勤める事になつた

家族九人が忽ち生活難

松田一家もまた受難の苦楚をなめさせられた。實母と妻子九人——この多勢な家族は松田一人の働きによつて糊口を凌いで來たが、松田が檢擧されるや忽ち生活難に襲はれ松田の妻は遂に附添婦たるべく餘儀なくされその纖弱き妻女の手一つで一家の生活を支へてゐる

兄弟揃って共産主義者

大田の兩親は天津にゐる、彼の實兄は極左傾急進派に屬し京都共産黨事件の際檢擧された者で、兩親も實兄に望みを失ひ弟こそはと力瘤を入れ彼の成功を神佛に祈願してゐたが、彼も何時しか實兄の感化を受け純然たる共産主義者になつて了つた

木村博士講演

滿鐵社會課主催で二十日午後三時半より社員倶樂部に於て今回情報課の招聘により來連せる支那貿易に關する權威者たる經濟學博士木村增太郎氏の日支通商條約改訂問題と題する講演會開催一般多數の來聽を歡迎すと

尚一行は着後直に滿倶グラウンドに早滿戰見物に行つた

人事

▲厚東篤太郎氏（旅順要塞司令官陸軍中將）新任挨拶のため十九日市内各方面歷訪

▲田中一德氏（關東陸軍倉庫附陸軍三等主計正）同上

▲後宮淳氏（步兵第四十八聯隊長步兵大佐）轉任歸朝挨拶のため十九日市内方面歷訪

▲三浦義秋氏（關東廳外事課長）十九日夜木谷屬同伴奉天へ

▲藤田俱治郎氏（關東廳學務課長）學務部長會議に出席のため十九日朝東京へ出發

安樂椅子

工大學生に絡まる共產主義事件として押收した書籍の中、大田と廣瀨が一室で共同に讀破したものが十卷を初めブハーリン、レーニン、マルクス主義講座▲マルクス主義解剖科學文獻、フランス革命圖獄からインターナショナル出版の英文原書コムニイシズム六卷其他譯書及原書を取纏めて七百七十餘冊と外に七十七冊もある▲恐らくこれ程の社會主義及共產主義に關する書籍を集めてゐる書店は滿洲は勿論のこと內地の大書店にも一寸見當らないであらうと

神戸特産（十七日）

品目	値
大豆現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆粕現物	[illegible]

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

橫濱生糸

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中先	不申	[illegible]
豆先	不申	不申

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
中新	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
信豆	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
寄付値	不申	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申
東新	[illegible]	[illegible]

本日廳報を添ふ

滿洲日報

黨人禁制

記者は議會主義を信奉するものである。帝室を中心とする政黨政治を以て、現代日本の指導精神と心得るものである。ゆゑに吾人は政黨政派によつて、あらゆる政治の行はれんことを理想とするものである。しかしながら理想は必ずしも現實と一致すると限らぬ。往々にして現實の理想を裏切ることあるを否定し得ない。すなはち現實の政黨政派の如き、吾人の政黨政治の理想に對比し、甚だしく不一致のものであることを遺憾とせざるを得ぬのである。

◇

わが日本の政黨政治に對し、われ〳〵は概念論的には、これを是認し以て植民地の首腦者までをも黨人を以てするの當然なることを思ふものである。しかしながら、これを具象論的に考ふるときは、黨人禁制の立札を餘儀なくせらるゝことを悲しむものである。政黨は主義主張によつて存立を是認せられる。ひとたび政權の地位に立つや、平常の主義主張を事實の上に實行するところに政黨の生命が見せられるのである。されは、わが黨の内閣を組織するや、政黨人は平常、唱道し來れるところの主義主張を、忠實に實行せねばならぬ義務をさへ負ふてゐる。その場合、内閣大臣は勿論、地方長官より村役所の書記までをも、主義主張のもとに統制せねばならぬぐらゐの覺悟がなくてはならぬ筈である。ましてや、重要政務中の最も重要であるところの植民地の首腦者を、わが黨の要人を以て塡充することは、蓋し當然すぎるほど當然の事柄でなくてはならぬ。

◇

しかし右は全く概念論である。われ〳〵は現實に即することを忘れてはならぬ。わが日本の政黨政治は何といふても、今やまだ發展過渡の時代にありといはねばならぬのである。今日の政黨政治を具象的に觀察せんか、遺憾ながら、植民地においてだけは、いまだ黨人禁制を標榜せねばならぬことを遺憾とするものである。わが政黨政派が、吾人の理想する如くに發達したる曉においては兎もかく、發達の過渡にある今日にありてはやむを得ず政黨政派超越といふことを提唱せざるを得ぬのである。いはんや三井、三菱の財力をやである。

◇

殊に滿鐵會社は、對外的にいろ〳〵な國際交渉をもつてゐる。日本内地の政變毎に、對外方針を變革するが如きは、決して喜ばしいことゝいふことは出來ぬ。この意味において吾人は、政黨政派を超越し、現實の政黨人から解放せられんことを要求するものである。勿論、政黨政治が理想的に發達し議會主義が圓滑に行はるる場合にをいては、われ〳〵は却つて黨人を歡迎し、政黨政派によつて滿鐵の社業を運行することを肯定せねばならぬ筈であるが、しかし今日の場合、いまだそこまでの發達がわが日本の議會政治、政黨政治に實現せられつゝありと認むることは出來ぬのである。されば概念論的には、政黨政治を歡迎しつゝも具象論的には、やむことを得ずして黨人禁制を標榜せざるべからざるを遺憾とする。やむを得ずしての黨人禁制、これ眞の政黨人を歡迎するゆゑんにして、いはゆる黨人氣質の黨人をして、わが滿蒙の特殊權益内に侵入することなからんことを以て、記者の主張となすものである。要するに吾人は、議會主義を信奉し、政黨政治を高調せんとするものなるも、現實の政黨政治が今日の如き現狀にある間は、やむを得ずして政黨政派の超越を標榜せざるを得ぬものである。

懸賞論文　滿蒙の地より母國の友へ送るの書

滿洲初等教育の現在と將來（四）

當選作　高野運太郎

滿洲教育の特色

三　滿洲の兒童

優秀な體格

私は滿洲教育の特色を語ると同時に滿洲兒童の素質に就いて語らねばならぬ、やがて滿蒙の野に咲き誇る我が滿洲兒童の素質を見るに既に肉體的に優秀な事は誠に欣快に堪えない、即ち母國生粹の兒童にして、遙かに優秀なる體格を保持して居る事である。試みに文部省統計による内地兒童との比較を見れば

男兒童

七年より十二年まで即ち尋常一年生から尋常六年生迄の人員が最も多數で統計的價値がより大であるから七歳から十二歳までの統計を根本として考へた

△身長一〇〇cmにつき内地兒童より一・八〇cmの增加

年齡	内地兒童	滿洲兒童
7	一〇六・八	一〇九・九
8	一一一・二	一一四・六
9	一一六・一	一一九・七
10	一二〇・六	一二三・九
11	一二四・八	一二八・五
12	一二九・一	一三二・六

▲體重一〇kgにつき内地兒童より〇・六六kg增加

年齡	内地兒童	滿洲兒童
7	一七・五四	一八・三一
8	一九・一四	一九・九七
9	二一・一一	二二・二五
10	二三・〇九	二四・〇六
11	二五・〇七	二七・〇一
12	二七・三五	二八・五四

女兒童

▲身長一〇〇cmにつき内地兒童より二・八〇cm增加

年齡	内地兒童	滿洲兒童
7	一〇五・四	一〇八・二
8	一一〇・〇	一一二・七
9	一一四・五	一一七・九
10	一一九・一	一二三・一
11	一二三・六	一二七・七
12	一二九・一	一三一・八

▲體重一〇kgにつき内地兒童より〇・六八kg增加

年齡	内地兒童	滿洲兒童
7	一六・九二	一七・八五
8	一八・五〇	一九・四一
9	二〇・二五	二一・六四
10	二二・二一	二三・六九
11	二四・四五	二六・一四
12	二七・二四	二九・六六

この事實が如何に我が滿洲兒童が内地兒童に比して、優秀なる身長體重の發育なるかを雄辯に語つてゐるのである、更に文部省の發育概評即ち身體の大いさを現した甲乙丙の區分によつて見れば

	内地（長野縣）男	女	滿洲兒童 男	女
甲體格	一六・八%	一六・一%	二六・二%	二六・四%
乙體格	五八・六%	五八・三%	五七・八%	五八・五%
丙體格	二四・五%	二五・六%	一六・〇%	一五・一%

誇るに足る事實

この表は體格の外見的大いさを現したもので文部省の全國統計がまだ發表されないからこゝに内地でも優秀な長野縣兒童に比したのであ。これによつて見ても甲體格に位するものが内地のそれより百人に就き約十人も多く丙體格のものが十人も少いと謂ふ事は、我滿洲兒童の如何に良好に發育しつゝあるかを語るものであつて、いさゝか誇りに足る事實である。

食物、保健の賜

同じ種子、同じ苗でも食物保健その他の環境によつて如何に發育に差異を生ずるかを明かにすると同時に、我が滿洲生活は食物保健その他の條件が兒童の發育に如何に適してゐるか、否内地より優つてゐる事を充分に物語つてゐるものと謂つてよいと思ふ。

乳兒の發育

成程、九州、四國、中國筋と我が滿洲は氣候風土に於て良くないのは事實である。しかし我々はいつまでも自然に征服されては立ち行かない。民族發展の理想からしても、常に科學的に研鑽して環境に順應した肉體を鍛えあげなければならぬ。そこに保健の道は講ぜられ、體質體格の向上が企圖せらるゝのである。更に我が滿洲がこの種の保健文化が内地と比して優秀である例を擧げたい

それは乳兒の發育である。滿洲に於ける乳兒の死亡率は昨年度に於て一二%に近い母國のそれと比せば内地平均は一三、七%である、更に母國の裏日本の青森を見れば一九、七%秋田が一七、二%で富山石川福井の諸縣は皆一八%合である

滿洲の保健文化

乳兒の發育は保健文化のバロメーターと謂つてよい。私は滿洲の保健文化を見よと叫びたい。母國の人々よ。いつまでも自然の惠に醉ふて蓬萊の島に安閑としてゐる時ではない。積極的に我を――我が民族の進展を計るべく滿蒙に來れ！極寒零下何十度等と恐れてはならぬ。我にはそれを征服する文化の力がある。そして滿洲ッ子の優良に發育しつゝある事實を見よと強く叫びたい。

八つ相

投書歡迎　中傷を目的とするのは採らず　新聞行數五十行以内のこと

滿鐵線のパス

薩摩守

無賃パスを持つて急行の一等車に乘り込む。まづ展望車に頑ン張る。ドアの上のステンドグラスを眺めると、雷が太鼓を叩き風雨を叱してゐるところの意匠が、あざやかに出てゐる。かつてパスを取り上げた雷爺が滿鐵の總裁となつたことを思ひ出し一種の皮肉さを喫られた。

かく皮肉さをそゝられてゐるところへ、一人の若い紳士が乘り込んで來た。一人の坊ちやんと、一人の孃ちやんとを伴れて乘り込んで來た。もちろん無賃のパスを所持してゐた。無賃ばかりでなく、急行料も不要のパスであるらしい

車掌は檢札したが、二人の子女には目もくれずに次の車へと去つた

丁度、日曜の休日であつたから、この若い紳士は二人の子供達を伴れ、パスのない奧さんを留守居に、坊ちやん、孃ちやんを引具して、溫泉か海水浴かに、例のパパぶりを發揮せんとするところであらうが、すくなくとも若いパパさんの一等パスは、いかな滿鐵會社といへども、花見遊山に發行してゐるのではなく、恐らく社業執行のために出してゐるのであらう、が、しかし、それはまづよいとして、この二人の子供、今からパパさんの無賃パスで、一等の展望車に納まり、それが敎育上、どんな結果になるであらうなどといらぬ老婆心を起すは御苦勞な話。

餘りの蒸し暑さに、窓をあけ、ステンドグラスを眺めると、例の雷が威勢よく太鼓を叩き風雲を叱してゐる

近づいた朝鮮博覽會期

モダーンな美しい劇場　呼物の一つ演藝館

【京城】朝博場内の呼物として期待されてゐる演藝館は中村殖銀技師の設計で着々進工中であるが様式は近代セセッション式、内部は日本風で天井は華麗な模様格子、舞臺は間口九間半奥行二間半でセリ上裝置、電氣照明も完備したもので近代劇場の模範的なものが出來上る筈で建坪總數六百三十四坪收容人員八百五十人の半永久的な建築である

空中の壯擧　飛行機宣傳

【京城】朝鮮空前の大盛觀を地上に現出すべき朝博と呼應して空中の壯擧がいよ〳〵決定した、會期中朝鮮航空研究所の主宰者西尾大尉が先頭に全員を擧げて宣傳飛行を敢行するのである、それも單純な祝賀飛行でなく京城の一流商又は代表商品名を機翼に眞紅に染めて廣告宣傳飛行といふのだから、宣傳と協贊の空中の亂舞は觀覽者の眼を眩惑するだらうと期待される

主要街の裝飾始る　近く面目一新

【京城】既報朝博會期中の京城府内のメーン、ストリートの裝飾は兩三日前から着手され、光化門通の裝飾、南大門の電飾工事等を開始されたが、京城驛前の大裝飾門をはじめ南大門、太平通、その他の淸楚な洋風とクラシカルな朝鮮風の裝飾で京城驛から博覽會場までの街頭は全然面目を一新されるだらう

觀客吸收宣傳　先づ繪端書で

【京城】朝博事務局では今後專ら觀覽客吸收に努力する意嚮であるが、第一着手として朝鮮の交通圖に東京、大阪、下關等からの距離所要時間等を記入した繪端書を作り全鮮の小學校旅館等に頒布して内地への通信に使用させることゝなり目下印刷中である

穆稜炭礦と鐵道　成績が非常によい

十七年度における利益　大洋百九十五萬元

【吉林】東支東部沿線穆稜縣下に於ける穆稜炭礦及穆稜鐵道は吉林省政府農鑛廳と露國人スキデルスキー氏との合辦經營に係るものであるが、近年一般合辦事業の不振なるに反し獨り同炭礦及鐵道は逐年非常に良好な營業成績を擧げて居る、今吉林省政府の發表に係る民國十七年度に於ける營業狀況を摘記すれば次の如くである

民國十六年度の利益は大洋百二十一萬餘元であつたが、十七年度における營業狀況は更に良好で大洋百九十四萬九千七百十六元八角七分の純益を收めた、而して其内譯は賣炭二十四萬四千八百八十五噸、其利益大洋百五十萬四千六百七十八元五分、鐵道純益大洋四十四萬五千三百三十八元八角二分であつて、契約に依り賣炭利益より一割五分を積立金に、鐵道純益より三割を敎育實業費に支出する外規則に照し從業員に獎勵金として給與した其割合は獎勵金總額を十二に分ち高級職員には其四、九を中下級職員には七、一を與へ最高は俸給の四ヶ月半最低は二ヶ月分であつた

而して吉林省政府の受けた純益分配額は大洋八十五萬九千百十九元七角七分で「スキデルスキー」側は大洋六十六萬六千六百三十三元六角五分であつたと

歸化鮮人に關する密令

【吉林】吉林省政府は此の程延邊各縣政府に對し

歸化入籍鮮人の服裝改革に關しては三令五申し置きたる處であるが、實地調査報告によれば遺憾ながら右訓令は毫も徹底し居らず、故に今後は(一)歸化鮮人にして支那の法令に違反の行爲ある者は二ヶ月以上一年以下の懲役に處す(二)歸化鮮人の子弟は一律に縣立學校敎育を受けしむ(三)歸化鮮人の貧困者子弟敎育費は縣政府に於て負擔す(四)以上各項の違背者は財產を沒收し國外に放逐することと訓令した由

軍民取締辦法　張副司令の訓令

【吉林】吉林邊防副司令張作相氏は最近吉長鎭守使李桂林氏に對し長春は交通殷盛にして外人雜居し平時に於てすら動もすれば治安を害する虞れあり、殊に目下支露問題發生の機に乘じ不逞徒が暗に地方の安寧を攪亂せんと企圖し居れりとの聞込みあり、故に此際細心の注意を拂ひ殊に外人保護に就ては萬全を期せねばならぬとて十箇條より成る軍民取締辦法を規定し、之れを所屬軍隊に示達する外一般に布告して周知せしむべしと訓令したと

奉天商業支部長は免職

【哈爾賓】東支鐵道内部の實力を握ることに努めつゝある支那側は商業部をも自己の掌中に收めたので、奉天商業支部に派遣してゐる支那側主任を正式支部長に任命した旨通令した、これまで露支兩支部長を有してゐた奉天商業部もこれがために解決しソウエート側の支部長は罷免された形である

東鐵問題に對する民意測驗（下）

井柳塘

七、支那は今後國内に對して如何なる準備を要するか、最も重要なるもの五を擧げよ

答、甲、國防建設に努力すること　七、八三〇
乙、生產の發展　六、一三〇
丙、全民的軍事訓練（徵兵制度實行）　五、七八〇
丁、敎育の普及　四、〇三〇
戊、民衆を喚起すること　三、一七〇

八、支那は今後國内の反動に對して如何にすべきか

答、甲、軍閥は徹底的に撲滅す　一二、〇〇〇
乙、共產黨は徹底的に撲滅するか或は感化す　一一、〇〇〇
丙、改組派に對しては徹底的に肅淸或は感化す　一一、〇〇〇

九、若しロシアが武力を以て東鐵を奪取したら、支那は之と戰ふべきか否か

答、戰ふべし　一一、〇〇〇

一〇、若しロシアと戰爭をすることになつたら如何にして國家の爲めに盡すつもりか

答、甲、從軍　六、六四〇
乙、宣傳　三、三〇〇
丙、救護　一、一五〇
丁、義捐金を出す　一、〇七〇

◇

右の測驗なるものが果して如何なる方法で行はれたかは甚だ疑問で、答案の結果から見れば、現南京政權（即ち國民黨右派系）の代辯としか思はれないフシが多い。今日迄行はれた官製の對露宣傳行爲に於て、第一に標語は常に「東鐵回收」であつた。第一問の答甲及第二問の答の絕對多數なるを何と見る、第三問の答四種は、目下の支那朝野が日本の態度に非常な注目を拂つてゐる證左として甚だ興味がある、第四問の答甲は又興味深きものである、これが若し民國八年から十年頃迄の間であつたら、甲の答を出すものは極めて少く、大部分乙の答を出したであらう、そこに米國の信用下落と云ふ重大な事實があるのではないか。丙も亦た最近の對外思想傾向を現して居る。

◇

第五問は問題が生澁い爲めに興味少いと見えて回答數甚だ僅少である。第六問は東鐵問題と關係の薄いもので出題者の眞意が諒解し難い、東鐵問題に關してならば、第四問の答と矛盾する。

然し假りに事の序にやつたものとして考へると、相當興味がある

ロシアに對して强硬策を取ること日英との不合作、米佛との親善、これらが皆最大多數を占めて居ることは直に民意とは斷定出來ぬが少くとも支那有識階級の間を一貫する觀念（別に確乎たる經綸信念のあるわけではないが）として記憶して好いことである。然し丁のイの「弱を扶けて强を制する」は支那人の「言ひ且つ思ふことを喜ぶ題目」で決して實行しないものである、支那人の朝鮮人や蒙古人に對する態度を見ればよく判る。

◇

第七問に對して甲の答が、多數を占めて居ることは、當分の間支那があらゆる方面に於て「好くならない」ことの證明である。「好くなる」爲めには乙の答が絕對多數を占めなければならない筈だ、現今の支那に國防の必要がどこにあるか。

第八問は題そのものが現南京政權の代辯であるから、答甲乙丙共に全回答者一致の南京政權代辯に終つて居り、毫も民意として考へられない、殊に丙の答に至つては失笑に値する。

◇

第九問の答も全答一致であるがこれは支那に流行の「懲罰」と云ふやつで、第十問の答と同じく全くの「面子」に過ぎない。だが全體を通じて見ると、對ロシア問題を種にして、暗に改組派（國民黨左派）に對する反對宣傳をやつて居るところは恐れ入つたものではある。（完）

けふの放送

實用支那語會話　第十四回

秩父固太郎

1 你睡晌覺麼　2 我就這麼歇着啊　3 我看你氣色不大好　4 我有點兒不舒服　5 是怎麼了　6 受了點兒熱　7 發燒不發燒　8 有一點兒發燒　9 腦袋疼不疼　10 疼得了不得　11 吃飯香不香　12 一點兒不香　13 喝粥不喝　14 我不愛喝粥　15 點心果子怎麼樣　16 甚麼也不想吃　17 少吃點兒甚麼好　18 吃了就惡心　19 你躺下罷　20 我不覺着累

譯文

1 貴方お晝寢ですか
2 只だ斯うして息んで居ます
3 貴方顏色が餘り好くありませんね
4 私少し加減が惡くつて
5 どうなさいました
6 少々暑さにあたりました
7 熱が有りますか
8 少し熱が有ります
9 頭痛がしますか
10 痛んで堪りません
11 食事は旨いですか
12 一寸も旨く有りません
13 粥を上がりますか
14 粥は嫌ひです
15 點心か果物は如何です
16 何も食べ度くないんです
17 何か少し召上がると好いですね
18 食べると直ぐに嘔吐が來ます
19 貴方横に成つていらつしやい
20 私は大儀には思ひません

（新字）舒。眼饞。腦袋。粥。惡。（暑）

滿日地方版

奉天

警察の新廳舍は本月末竣工
九月中旬には移轉
奉天市街美の一つ

總工費廿五萬圓を投じて浪速通中央廣場にヤマトホテルと對し美觀を添へた奉天警察署の新廳舍は、昨年四月起工したが、工事は豫定よりも進捗し本月末までには竣工する筈で、九月中旬には現在の柳町から移轉することゝなつてゐる内部の模樣は左の通りで移轉の曉には事務上各方面から多大の便宜を受けることゝならう

一、三階九十九坪の大講堂
二、二階玄關から上り貴賓室、應接室、右側に入り參考書類室、武器室、演武場、倉庫、左側に入り食堂、圖書室、電話交換室應接室、會議室
三、一階、玄關、廣間、右側に入り警務室、保安室、會計室、左側に入り、公衆溜室、記者室、衛生係、應接室、高等係、署長室、司法室
四、階下(地下室)倉庫、フイルム檢查室、留置場、訊問室、煖房汽罐室、自動車庫、消耗品室等

罹災鮮人の義捐金募集を開始

水害を被れる朝鮮人救濟のため林總領事を委員長としてこの程生れた奉天朝鮮人水害救濟會では今回愈よ義捐金を募集することゝなつたが、奮つて贊同されん事を希望すると、猶募集締切期日は本年十月十五日迄、申込所は民會地方事務所、各區長、各町內會長、各新聞社である

傳染病豫防の檢便成績

赤痢、チブス等の傳染病の流行を徹底的に防止するため奉天署では市內特種營業者に對して檢便を行つてゐるが、今日まで受檢したものは
日本人四百四十八名、朝鮮人十二名、支那人千四百十名、露人その他外人三名、合計一千八百七十三名
でその中パラチブス患者(市場行商支那人)一名を發見し目下隔離病舍に收容中である、猶之につき山口氏は語る
今までの結果によると支那人のパラチブス患者一名を出したので面白くないが、多數病菌を有してゐる奉天としてはその成績は概して良好であん、一體で檢便を受けるのを好まぬ模樣があり殊に支那人には何等理由なく無斷で出して來ないものも相當あるが、これ等は强制的に殘らず行ふ積りである

特殊營業者の健康診斷

奉天署では管內特殊營業從業者に對し來る廿六日から六日間左の如く健康診斷を行ふこととなつた
一、診斷を受くべきもの
屠夫、料理人(宿屋、下宿屋、料理店、飲食店)給仕人(同上但し藝妓酌婦を除く)氷雪、販賣、淸涼飲料水製造、製氷業、賣肉商、獸肉加工業、乳製品製造、理髮營業各從業者、鍼灸按摩術業者、宿屋の客引、料理店飲食店の出前持、料理店の屆婦女、俳優、菓子果物其他飲食物の露店營業者及行商人其他警察取締營業從業者にして診斷の必要を認めるもの
二、診斷の日割及び施行場所
廿六日午後一時から四時まで支那人男各營業從業者、奉天驛派出所管內、奉天公會堂に於て施行廿七日同上靑葉町派出所管內廿八日同上その他各派出所管內廿九日同上日本人及び外國人男各派出所管內、卅日同上同女、卅一日同上支那人女
猶右診斷を受けるものは合計二千三百餘名であると

妻に逃げらる
虎の子も共に

十八日午前四時半頃市內江島町十三番地滿洲自動車會社修繕露人エフレシヨウフステパン(五三)の妻ペトラ(四二)は、主人の枕下にあつた現金千百七十五圓入りの財布を拐帶し家出した、屆出によりその筋ではペトラを捜査中であるが原因は夫婦仲惡しく喧嘩の絕へ間なかつた處から或は他に情夫をつくり相携へて出奔したのではないかと云はれてゐる

新學期が來た

夏休みも愈々終了し新學期が來た奉天の各學校は八月廿一日から左の如く始業すると
▲春日、敷島、彌生、敎專附屬各小學校 八月廿一日
▲中學校及び高等女學校 八月廿二日
▲敎育專門學校 八月廿一日
▲醫科大學 九月二日

大阪から視察團

大阪日本旅行團は今秋の朝鮮博覽會視察團を組織し前後三回に分つて來鮮するが、この機會に滿洲の視察をもなすべく代表者木村七郎氏來奉し奉天鐵道事務所と打合せの結果、奉天撫順の二ケ所を視察する事とし滿鐵も出來る丈けの便宜を與へる事になつた、因に一行は九月中旬から十月初旬に來滿すると

車天と喧嘩

開原隆盛街居住吉松某(四七)は十八日早曉泥醉の上浪速通十一番地福屋商店の前で西塔居住洋車夫李鳳江(二二)の洋車に乘つたまではよかつたが車上で動き廻つて路上にころげ落ちたので大に怒り車夫と喧嘩を始めて警官の御厄介

人事

▲建川少將 十八日夜北平より來奉同夜內地へ
▲尾崎安東署長 十七日安東より來奉同日大連へ
▲大林撫順署長 十七日歸撫
▲吳泰來氏 十七日四平街より來奉

瀋陽駄話

▲排日種ね切れで鳴りを靜めて居た臨時報が、十八日から例の「日本張作霖謀殺」を連載しだした▲排日記事以外ニユースとしての價値も興論としての權威もない無力な新聞であるこれが生命とは云へ排日も事と品による▲第一此んな問題を排日の具にされ默過する張長官の常識さが疑はれる▲國民系統の人材を漸次任用させ東北の黨化に怠らぬ將が東北問題をキツカケに「萬一に備ゆる」とあつて中央軍を三省に押し込むらしい▲九月の編遣を見込し在來の奉天軍を外樣扱ひにして裁兵し此中央正規軍を駐屯させる下心か▲朝に一權を失ひ夕に一利を奪はれんとし昨今の奉派は將に危急存亡の秋である

鞍山

南部滿洲の野球大會始る
遼陽と鞍山とが勝つ
優勝戰は十九日に

本支局主催の南部滿洲野球大會は既報の如く十八日午前八時より滿鐵グランドに於て開催された、先づ遼陽、鞍山、大石橋、瓦房店、營口等の順序に入場なし加藤滿日支局長不在の爲め輸入組合理事阪元藤三郎氏が代理として開會の挨拶をなし、林地方事務所長の始球式に依り大石橋對鞍山軍の第一回戰は火蓋を切られた、時既に沿線各地よりの應援者及鞍山全市民の觀衆はグランドを埋め鞍山未曾有の大盛況を呈して居た、プログラムは次から次へと展開され大盛況裡午後六時第一回戰を終了した、十九日は午後三時より同グラウンドに於て優勝戰を擧行せられ、本社より優勝旗を贈る筈である、本日大石橋對鞍山の試合は鞍山十四對大石橋二にて鞍山軍の勝利に歸し零時三十分修了した、午後一時よりの營口軍對瓦房店の試合は瓦房店十三對營口軍十一にて營口軍惜敗し午後三時三十分終了した、午後四時よりの瓦房店對遼陽の試合は遼陽軍十二對瓦房店四にて午後六時遼陽軍の勝利となつたが、結局十九日の優勝戰は遼陽對鞍山となり一般ファンは非常な興味を以て期待して居る、メンバー得點左の如し

大石橋
得點 000000020 2
武塚田村數田金崎水
回數 一二三四五六七八九
得點 0041242 1A 14計
鞍山
島畑依橋井藤村塚 坂 能 河野高藤佐中大

營口
得點 030125000 11
海原村滿山井良川山 內宇野花平酒給平靑
回數 一二三四五六七八九
得點 0100001000 2 13計
瓦房店
石磯中大岩川田武高 井田村佐田島中田橋

瓦房店
得點 000202000 4
石磯中大岩川田武高 井田村佐田岡中田橋
回數 一二三四五六七八九
得點 000343110 12計
遼陽
岡 堀 藤 弘田尻村重野川 ヶ 吉山三島武中吉

蔬菜品評會

遼陽以南瓦房店間の第十五回蔬菜品評會は來る十月十八十九の兩日鞍山北三條町實業協會堂に於て開催される事に決定した

滿鐵社員俱樂部が出來る

鞍山滿鐵社員俱樂部の新築に就いては數年前より各年度每に本社へ申請されて居たがその都度却下され依然借家の儘となつて可成りの不便を忍んで今日に及んでゐたところ明年度豫算に愈々計上されるる事となつたと、然し豫算の關係で新築は許されざるべく北五條町元滿鐵醫院診療所跡を約四萬三千圓の豫算を以て改造される事になる模樣で、其の內容に就て聞く處によると階下を柔劍道の道場とし階上には大ホール、撞球場、食堂、娛樂室その他各種の施設をなして理想的な俱樂部に改造するとの事である

選擧名簿縱覽

鞍山に於ける地方委員改選は十月一日と決定し地方事務所では十八日から二十二日までの五日間選擧人名簿を一般に縱覽せしむる事になつて居るが、有權者の總數は一千三百十五名で各別に示すと左の通りである
製鐵所七七六名、其他滿鐵關係七一名、法人三三名、日本人營業者二〇九名、社外勤務者一二七名、中國人營業者九九名

ハーモニカ演奏會

鞍山ハーモニカバンドでは遼陽白塔會と聯合主催社會係後援の下に來る二十五日午後七時より鞍山實業會堂に於て演奏會を催すと

兒童慰安映畫

滿鐵社會係主催の兒童慰安活動寫眞會は二十日午後一時より小學校講堂にて開催の筈

公主嶺

寺內司令官十六日着任

新任獨立守備隊司令官寺內將軍は十六日十九時五十五分當驛着の急行列車にて安着、多數官民の出迎ひをうけ之れに挨拶、威容端正夫人と馬車を連らね官舍に入つた

秋祭りは來月

公主嶺神社の秋季大祭は例年八月三十、三十一日の兩日に擧行したのであるか、殘暑と天候の關係上

施餓鬼を行ふ

本年は九月七八の兩日に變更した公主嶺の佛敎團は十五日午後六時共同墓地に於て一般の塔婆供養と大施餓鬼を行ひ、十六日の午後七時高野山大師堂では水源地の上流に燈籠舟を進水法要を行つた

盲人の講演會

東京築地盲人學校生藤澤義夫、福岡縣の兩氏は滿蒙踏査の途次十六日來公澤田在鄉軍人分會長宅に一泊、十七日午後七時靑年聯盟會支部主催地方事務所社會係大連滿日兩支局の後援の下に滿鐵俱樂部に於て滿蒙踏査の實驗談並に錦心流琵琶の演奏をなし、多數の來聽者あつた

四平街

運動會計畫の內容

全四平街大運動會は來る九月八日體育協會主催の下に公園新グラウンドに於て催行する事に確定せる事は既報の通りなるが、今其の詳細を仄聞するに大略左の如し
期日 九月八日午前九時(雨天順延)
場所 公園新トラック
區別 三區に分つ
(イ)北軍裕盛街以北一圓
(ロ)中央軍中央大街以北裕盛街以南一圓
(ハ)南軍中央大街以南一圓
競技回數 六十回內譯男子四十回婦女十回小學校公學堂十回假裝競爭は中食の時行ふ
競技種目は競技係に一任
役員 會長三浦秀次 副會長 鶴見次世
豫算總額 八百圓也(市中滿鐵折半)
尙此度の運動會には選手競爭なく一般家族的運動會なるも、各回に各軍の得點を擧げ最終に於て總點數の最高を第一位と定め優勝旗を授與する由

撫順

馬賊に對して支那町嚴戒
住民は自警團を組織
奉天より應援隊來る

既報十六日午後八時頃大山坑附近に現はれたる五十名の馬賊團は警戒嚴にして附屬地新市街方面に入る事を得ず十七日午後十時頃千金寨支那町に現はれ掠奪を恣にせんとするので支那側住民は自警團を組織し麻袋にて壘場を各方面に作り警戒する一方、支那官憲は奉天より來援の遊擊隊百名と共に目下嚴戒中であるが、匪賊は警戒の裏をかき三人五人と分散各所に潜伏し機を見て掠奪を行はんとしつゝあるので支那側住民も目下戰々兢々としてゐる

自分で咽喉を搔破り絕命
キ印とわかる

十七日午後二時二十分頃新屯停留所附近の電車道に數貫目の石を澤山さらべ電車顚覆を計らんとする怪漢あるので、新屯勞務係員發見同事務所に拉致すると手近にあつた鐵棒で矢庭に同事務所の硝子窓を散々破壞するので數人して取押へんとすると今度は硝子の破片で自分の咽喉笛を突きさしその創口に左手をつきこみ引裂き血にまみれ肉片をむしる群衆になげつけるので、係員も血にそまつて阿修羅王の如くあれ狂ふには持てあましてゐた、が出血甚だしく瀕死の重態になつたのを同午後四時五十分撫順醫院にかつぎ込まんとする途中遂に絕命した、右は新屯坑採炭華工宿舍第十四棟の崔(二七)と言ふキ印と判明

安東

新市場開設は九月初旬か
近く內部割當を協議

新設魚菜市場を眞に理想的公設市場たらしむべく地方事務所に於ては過般來各方面の代表有力者及當業者を集め前後四回に亘つて改善委員會を催し種々協議する處があり、大體の綱領は定まつたので近く第五回委員會を開き市場組合員の住宅及び市場內の割當に付て協議をなす筈である、新市場開設は九月初旬の豫定であつたが內部の設備等多少遲延し開場は九月末頃になるらしい

平北の防疫計畫
惡疫に侵入されたら朝博にも影響するこ

平安北道は國境第一線の重要な位置を占めてゐるので最近流行の傳染病の侵入を極力防禦する目的にて一大防疫計畫を樹立し、先づ傳染病豫防宣傳のポスターを配布し衛生思想の普及を計り、一方活動寫眞班を組織し鐵道沿線各地を巡映更に各警察署にては公醫及び道立醫院醫師其の他と協力衛生講話をなす事に決定した、尙全道に亘つて檢病的戶口調査をなし患者の發見に努める事にしてゐるが、最近楚山に腸チブスの爆發的流行を見上海のコレラもますます猖獗を極めて居るので、もし國境にある平北に流行を見たならば近々開催の朝博にも影響する事とて極力豫防する事になつた

地方委員の逐鹿戰
相當猛烈か

安東地方委員及び豫備委員の總選擧は來る十月一日を期して行はれる筈で、地方事務所では既に選擧人名簿の作製を完了十八日より二十二日まで每日午前十時から午後四時迄一般の閱覽に供して居る、尙現在の地方委員は十四名で一名の缺員となつて居る今期の選擧には現在委員の內北村、大津、新美、曹、馬の諸氏は出馬を見合せると傳へられて居る上に、靑年聯盟其他から多數の靑年候補に出馬する模樣であるから相當猛烈な逐鹿戰が演ぜられるであらうと思はれる

增設大隊安東に一つ

滿洲獨立守備隊の二ケ大隊增設に伴ひ第六大隊本部を安東に設置する事に決定し大隊幹部も既に內定

七對三で滿俱敗る
對松山高商戰

松山高商對安東滿俱野球戰は十七日午後四時より驛前グラウンドに於て松山高商先攻にて開始、久振りの試合を見んものと觀衆は炎天下に定刻前より續々と押掛けた、滿俱此の二三選手病氣のためメンバーの異動にて終始敵軍に惱まされ二回に二點五回に三點七八の兩回に一點づゝ計七點を敵に與へ、五回に二點九回に一點計三點を得即ち七對三を以て敗れた、閉戰六時半當時のスコアー及びメンバーは次の通り
松山高商 020030110 7
回數 一二三四五六七八九 計
安東滿俱 000020001 3
松山高商 本(幸) 原 味 島 田 武 本 田(正) / 松 荏 古 中 織 光 坂 門 松 / 7 4 5 6 2 8 9 1 3
安東滿俱 顧 塚 部 山 本 馬 岡 崎 仕 井 岡 / 筒 手 服 瀨 吉 有 吉 杉 時 石 山 / 戶 / 7 436 5 1 9 4 8 3 3 6 2 9 1

服毒して入水

平北義州郡義州面舊城洞九七勞働者張弼鉉は十五日午前十一時頃白宅裏の灌漑池附近を通行の際妻である金氏(二〇)が死體となつて浮上つてゐるのを發見吃驚して直に義州署に屆出たので署では醫師を立會はせ檢視を行つた處、傷害及び水を呑みたる形跡はなく口中より吐血せるを發見毒藥を服用したらしいので近く解剖に附す事になつた

湯山城派出所

湯山城警官派出所は豫てより改築中の處此程竣工したので、十八日尾崎署長以下署員臨席の上盛大に移廳式を擧行した

自殺幇助罪

新義州府內彌勒洞一四九飲食店營業信道方酌婦金順根(二二)が去る十日モルヒネを嚥下し自殺を遂げた事は既報の通りなるが、そのモルヒネは梅ケ枝町一八酒類販賣業營業者金(二三)と言ふ女友達が與へた事判明、同女は自殺幇助罪にモヒコカイン取締法違反として告發された

在鄉兵を表彰

安東憲兵分隊では十六日午前八時より大和小學校に於て通山關獨立守備隊長山口中佐に依り執行されたが當日左の八名が表彰された
安東縣二番通七丁目三番地 後備步兵伍長 本村源藏
同市場通四丁目一番地 後備步兵伍長 杉原幸太郞
同中央通二丁目 後備憲兵曹長 南部新吉
補充步兵 大山昇
同 輜卒 伊藤嚴
補充工兵 中西幸次郞
同 輜卒 永尾要
同 同 西所眞一

ポプラの大勝

ポプラ俱樂部對鴨綠江製紙會社の庭球試合は十五日午後四時半より製紙コートに於て行はれたが、ポイント戰に於ては十九對九、優勝戰では四組の優退組を殘し孰れもポプラの大勝に歸した

機關紙を發刊

安東市政籌備處では九月一日から市政日報を發刊する事となつた、現在支那街には商埠公安局發行の公安日報があり發行部數は約七百部で編輯は局員を以てなし公安局から分局に送り分局から巡警派出所に送達し派出所巡警が各戶に配達する事になつて居るが、市政日報もこれと同樣籌備處員が編輯する事になつて居る、又九月一日から總商會が機關紙東邊商工日報を發刊すべく日下準備中である、これは職員及商業學校敎員で編輯するらしく、前記各三官公署機關紙の出現に安東支那街の言論界と官公署の今後の對立は、頗る興味を以て見られて居る

各校の新學期

安東各學校の暑中休暇も終りに近づいた、第二學期の授業開始は左の如くである
△安東中學校 二十二日午前八時
△安東高等女學校 廿二日午前八時より
△大和小學校 二十二日午前九時より
△朝日小學校 廿二日午前九時より
△普通學校 廿二日午前八時より

滿電支店新築

滿電安東支店では構內の倉庫及び職工休憩室の一部を取壞し二階建の家屋を新築する事に決定した、工費は約三萬圓位にて本年中に竣工さす筈であると

自動車定期檢查

新義州署では二十日より二十九日迄府內の自動車定期檢查を施行する筈であるが現在府の自動車數は官廳用十九臺民間營業用四十臺である

大原夫人逝く

安東實業銀行專務大原淸造氏夫人は病氣入院中藥石効なく十四日永眠、十六日午後四時半より西本願寺に於て葬儀を執行したが、多數會葬者があつた

豆粕打合會出席

安東貿易商組合は朝鮮總督府の豆粕打合會出席の件に付き十七日午後一時より商議にて役員會を開催結果柳田宗三郞、金井佐次、□上常太郞の三氏が出席する事に決定

京城

朝鮮靑年團大會を開く
九月二十二三日の兩日
八十三團體を集めて

全鮮各道靑年團の親睦連絡と、向上發達を期する朝鮮靑年團大會はいよいよ來る九月二十二、三の兩日京城府長谷川町府立社會館及び景福宮勤政殿に於て開催に決定した、參加團體は在鮮靑年團八十三團體、總人員三千三百名に達する見込である、大會次第左の如し

大會次第
第一日(九月二十二日)
商議會(午後二時社會館)
一、參加資格 各聯合團、聯合團をなさゞる團は各道每に委任代表を選定し得ざる向は各團每に各一名の代表並に大會委員
一、商議事項 △大會の順序方法△議長副議長の選定(委員長選定)
第二日(九月廿三日)
朝鮮神社參拜
一、集合午前九時大會(午前の部)一、集合午前十時(勤政殿)
一、開會の辭一、國歌合唱一、主催者長挨拶一、朝鮮總督告示一、來賓祝辭一、決議一、解散(午後の部)午後一時集合一、議事並に懇談
因に委員は中央地方に分れ、中央委員は主催團體たる京城府聯合靑年團より選出地方委員は商議會組織員を以て任命することゝなつてゐる

全鮮公職者大會委員

全鮮公職者大會の實行準備委員會は十九日午後二時府廳應接室に於て開催されるが各團體準備委員は左記の通り決定された
▲學校評議員側 朴準鎬、梁在昶、曹秉相、任興淳
▲學校組合議員側 秋山督次、庄司秀雄、波多江千藏、杉市郞平
▲道評議員側 田中半四郞、張弘植
▲商業會議所議員側 增田三穗、古城龜之助、陣內茂吉、田昇均、藤田安之進、白石巖

李王賞競技會

本年から始められた李王賞競技會は來月二十三、四、五の三日間に亘つて大阪に於て庭球大會を擧行したが、更に來る廿五、六、七日の三日間甲子園に於て野球競技を開催に決し朝鮮よりは平壤中學、大邱商業、京城師範、龍山中學の四校出場し大阪の二チーム兵庫、京都の各一チームと試合をすることゝなつた

鐵嶺

一夜向上會

修養團安東聯合支部では十七日午後六時より十八日午前六時迄鎭江山朝日閣を中心として一夜向上會を開催したが參加者多數あり非常な盛會であつた

衛戍病院庭球小會

鐵嶺衛戍病院では來る二十日午後三時より院內コートに於て庭球小會を催すべく市中側選手へも參加を勸誘して來た

特別傳道講演

鐵嶺基督敎會では來る二十一日午後二時より特別傳道講演會を催す由なるが講師は東京大森敎會牧師であると

遼陽

遼陽秋季大祭
輿丁も雜仕も氏子で奉仕

遼陽神社の大祭は從來輿丁のみが工場、機關區、驛、地方聯合、町側と輪番で奉仕し雜仕は皆悉く臨時傭の苦力に白丁をまとわして居たが、今年から御輿渡御の受持ちを工場、機關區、地方聯合の三交代に改むると同時に雜仕係も全部氏子で奉仕することに氏子總代會議で決定した、輿丁が四十人雜仕が卅六人である、また多年御輿渡御の途上有志は茶菓酒肴の接待に努めて居たが之も所謂御祭り騷ぎと云ふ事を廢し壯嚴に祭典に奉仕する意味から個人接待を全廢して接待箇所と經費を定めて行ふ事になつたと、從つて敬神の念から接待せんとする有志は金品で接待係に寄贈された方が統一上宜しからんと

人質に三萬元

遼陽管內煙臺炭坑の西南方華子溝の華人經營炭坑に數日前十餘名の馬賊來襲同坑の把頭兄弟を人質として拉去、現洋三萬元要求中と聞知した遼陽公安本局から討伐隊派遣中なるも、水害後到る處道路泥濘加ふるに高粱繁茂の折柄官兵の捜索意の如くならず賊團は人質を巧に隱匿せる爲め殆ど處置に困憊し居ると

ストーブ月賦販賣

遼陽本町鈴木洋行は數年前來センタストーブの特約店として活躍してゐるが今年は月賦販賣の便法で大々的に活すと

髭ふつて相寄る月のきりぎりす

あめりか丸の日本一周記 (2)
特派記者

第三信(八月十日)

島も陸も見えなくなつたと、鯨を吹く鯨の群が現れた、午前六時である、さし上る朝日に照り映へて一本二本噴風に彎曲して上る鯨の潮はとても壯觀である、而も海は紺碧になだらかく平和そのものゝ如くである、期せずして歡呼は甲板に擧がる、船長以下乘組船員はこんなことは珍しい、航海緣起がよいと大喜びである、大連市長大阪商船支店長から船へ平安を祈るとの無電が着いた、船內で發行する新聞は內地と滿洲のニュースを滿載してもう四號を出した、麻雀、圍碁、讀書、デツキゴルフ等そこ此處に遊戲が初まり、すつかり打解け家族氣分にひたつてゐる

第四信(十一日)

十日夜八時から滿蒙事情の活動寫眞が上甲板に初まる、この間すれ違ふ一隻の汽船を發見し言ひ知れぬなつかしさに萬歲の聲は期せずして起る、たがこの頃から暗雲亂れ飛んで波浪漸く高く上弦の月を隱し吾等の歡樂を奪つて船は無心の如く進む、おそらくかの船客も同じ思ひの一時を過したのであらう、夜半に近づくにつれて沛然たる驟雨となり餘儀なく閉ざした窓にあたる音物凄く船室は蒸し返る暑さに見舞はれて而も之をさくるによしなく可なりの難航であつたが

明くれば 十一日の朝は忘れたやうに雲はいづれにか去つて又昨日の快晴回復に船の動搖も又漸く減じ、涼風全船を擁護し全て蘇生の思ひである、昨夕一夜を靑くなつてゐた人達もデツキゴルフ輪投げに打ち興じた、午後はビークラスの懇親會が開かれたといふので陰し藝の噂で賑やかである、不時紺碧の波間におどる飛魚の群を發見し皆之又瑞兆だと船の人達はかつぎ屋が多い。しかしその美しさは昨日の鯨と趣きを異にして又船客を喜ばしたこと夥だしい

高砂の島 基隆着、商國の明日未明には豐潤な果實、美しい花の椰々椰子の林、水牛の群、竹の筏等々吾等を待つて思ふさま夏情緒を味はして呉れるであらう。

敗退將棋 滿日家名 (九其)

【飯塚氏三回勝四回目】
香平交香落 七段 △宮松三讓郞
六段 ▲飯塚勘一郞
持駒 飯塚氏 銀桂桂

(盤面図: 二歩 香 桂 玉 金 飛 香 角 馬 と 等)

持駒 宮松氏 金銀步步步

【圖は三九香迄の局面】

【盤面以下指方】▲四七銀△三七銀▲五七成銀△一八玉▲三八銀ナラズ△同香▲四七成銀△二七銀▲六八飛打迄にて飯塚氏之勝

【對局者の感想】飯塚六段曰く五七成銀と總ての力が攻勢に活用出來る樣になつては如何にしても必勝です。宮松七段曰く一八玉はまだ味ひが殘つて居ると思つて引いたが此形では恢復が出來ないので投げるが順當であつた。

【大崎八段總評】本局は下手序に於て三四步と角道を突かず直ちに八四步と指せしは鳥指しの戰法にて極力敵を壓せんとする意味なるも力指しとなり香落の德を無視して策戰としては損なり、上手此機に乘じ早く銀を六六に上りて輕く防備を完ふせば面白き將棋なるべきを五八飛廻りの早かりし爲に六九金の捌を重くして機會を逸せり。中盤上手直ちに六五步と桂を取りて敵銀の働きを重くすべきを六七飛と誤り續いて八二步成と先に指して飛の活躍を計るべきを九七步の惡手を重ね敵に八六步と先に指し飛の働きを制せられ次第に勢を損じて殆ど中押に敗れたり。

コドモページ　成績紙上展覧會

すずめの子

大廣場小學校四年　伊藤良水

この間の夕方の事でした僕がそこであそんでゐるとお母さんが「良水さんちよつといらつしやい」と
おつしやつたので急いで行つて見ますと、お母さんはかはいいすずめの子をだいていらつしやいました。
僕はお母さんにちよつとだかせてちやうだいと言つてだつこをしてやりました。
すずめの子は少しびつくりしたやうなかほをしてゐましたがそれでもぢつとしてゐました。そのばんはこの中へ入れてねかしてやりました、あくる朝僕がおきて見ますと
すずめの子はもうはこから出て、中の間やざしきをよろ〳〵あるいてゐました。
僕はそれから、僕のかたにとまらせて、お母さんと一しよにうらにはひ出ました。だいぶなれたので、すずめはにげやうともしませんでした。
うらのおえんがはにいたをしいてその上にすずめをおいて、ふるひをかぶせておきました。
午後學校からかへつて見ますと、おやすずめらしいのがゑをもつて來て、ふるひのかなあみの目からおとしてやつてゐました、僕はあまりかはいそうになつたので、ふるひをのけてやりますと、やねの上でおやがしきりによんでゐました、ひぐれごろうらへいつてみますと、いたの上にはもうゐませんにげたゞらうと思つてゐると、にはさきの草の中でこゑがします。びつくりしてそこへ行つてみるとすずめの子がぢつとしてゐたのです。
またつれてきてぬくめてやり、はこの中へねかしてやりました。
その次の朝おきるとすぐにがしてやりました、するとこんどはしゆうと元氣よくとんでいつてしまひました。
ほんとにかはいいすずめの子でした。

つらかつた三級試驗

本溪湖小學校六年　羽柴襄

今日は星ケ浦も日本晴である。僕は公園のじやりをふみながら濱へ向つた。
やがて四級の三級受ける人は集つた。三列になつて三回することになつた。僕はちようど二回目であつた。今日僕はどうしたのか體がきつい。向ふの方に飛臺が見える
やがて準備運動が始まつた。きつくてやれない。此のやうすならとうてい泳げさうにない。
やがて第二回も終つて最後の僕等は二列になつて水に入つた。ぐん〳〵進むに從つて水の色は、すごい程の紺色だ。船を見ると外の學校の者が一二人上つてゐる。やがて飛臺が目前に見える。僕は寺師君の後から行つた。福間君はまう上つてゐた。
いつの間にか僕はくるしくなつたやはり身體がきついんだなー。と思ひながらおよぐけれど進まない僕もやゝあせり出した。あせればあせる程だめだぼうと頭の中に思ひだした先生の言葉「ゆつくり行けあせらんでよい靈飜してゆけ」これは常々先生にいはれた言葉である。しかしだめだ。やつぱりきつい「がぶり」僕は水をとう〳〵のんでしまつた。と同時に僕の體はしづみだした。「きついです」と言はうか。いや最後の五分間だ
しかしこれから五分の後に僕は完全に船のそばへよつて船に上つた船はすぐさま飛臺を廻つた。僕はつとしてゐたが、やがて岸はちかづいたので僕は船から飛下りて岸についた。

金魚

遼陽小學校六年　見坊愛子

濕室に大きな金魚ばちが二ツあります。
窓ぎわにあるのは小さな金魚が多くは入つて居ります。
其の中に、眞赤なのが一四だけ居ります。其のほかに、眞黒赤と白黒と赤とゆうようにさま〴〵です
眞ン中に植木ばちがあり時々その中には入つて居ります。
もう一ツのはちには十五センチメートル位のが二四居ります。其の中には草がポカン〳〵と浮いて居ります。時々私たちはしほ鮭の小さなのをやるとみんな集まつて來て爭ひながら小さなまるい口で食べてしまひます。よくお父さんが置いていらつしやるのでふえる一方です。

星ケ浦海岸（クレパス）

撫順千金小學校　前田藤治

水族館を見る

橋頭尋常小學校尋五　安田良夫

お風呂から上つたら水族館に行くといふ先生のお話だ。僕は此の間から行きたくてたまらなかつた水族館であるのでうれしさでむねがいつぱいになる。僕はあまりうれしいのではしるやうにして一番先に歩き出した。まもなく水族館についた。一番先にあつたのは「かれい、いせえび」などであつた。いせえびは長さ三十センチメートルもあらうと思ふ大きさ、僕はそれを見ておどろいた。つぎにはふかの子がおつた。僕はそれを見てこいつが大きくなつたら人間をくふやつだなと思ふといぢめてやりたくなつた。つぎ〳〵に見ていくと、すゝき、ひらめ、ひとで、たこ、いか、かに、にべ、はぜ、ちぬ、ふぐ、うなぎ、なまこ、しまだひ、まだひ、ふなぼら、めばるなどといふ魚がうよ〳〵しておよいでゐた。一番しまひにはかはいゝふなの中に川へびが四五匹いれてあつた。僕がいくとかはへびはまつすぐにぼう立になつて僕らの方をにらんだ。僕は氣持が悪いのでいそいでそこをさつた。これで魚類はをはりだ。こんどは、へびやめづらしい鳥やとかげなどであつた。とかげははらをふくらせてひるね中であつた。ふだを見るとはとを丸のみにしますと書いてあるのでにくらしくなり石をぶつけてやりたくなつた。そして「はと」を五六羽いれてあつた。僕はかはいそうに思つて出してやりたくなつた。そばに大きなかめがおいてそのよこにあざらしがおいてあつた。僕は生きてゐるのだらうと思つてよく見るとそれははくせいであつた。歸りにはみやげにと思つて貝細工の笛を買つた。

星ケ浦（クレオン寫生）

橋頭小學校尋五　安田良夫

星ケ浦の波

撫順新屯小學校五年　松本正

大きな波が僕達をのむやうに進んできます。
波は高い、僕達も負けずに泳ぐ、まるで僕達と波とがあらそつてゐる樣である。
波は次から次と進んでくる。
濱の方ではどぶん〳〵と音をたてゝゐる。波が強い時は僕達を濱の方におし流したりこかしたりする
僕達もそれにはへいこうした。
一番しづかな時でも僕のせいより高い波が時時くる。
沖の方は波がしづかである。濱の近くは波が高い波の高い日はとてもこまる。
波も強いが僕達も元氣である。
或日小ぢようき船がひつくりかへりそうになつて星ケ浦の濱の方にやつて來ました。その時ちようど波が高いので僕達も水泳をやめました。波はほんとに強いと思つた。

童謠

けい馬の馬

大廣場小學校二年　柴田正一

競馬の馬は
いさましい
勝いところを
はしります
パカ〳〵〳〵
はしります
ふつうの馬車は
おそいけど
競馬の馬は
いさましい
おすなをけつて」
はしります
とつても早く
はしります

病氣の妹

きみ子がおなかを
わるくして
牛乳やうどんや
やはらかい
赤ちやんみたいな
ものたべて
おなかがすいたと
ないてます
ママがいろ〳〵
だましては
いつしよにあそんで
やつてます
僕が三時を
いたゞくと
きみ子もほしいと
ないてます
僕がおくわしを
もらつても
きみ子のそばで
たべないで
ほかのおへやで
たべてから
きみ子のそばへ
まいります

日の丸の旗

日の丸の旗は
美しい
白いきれの
まん中に
きれいな赤い
まんまるが
風にふかれて
ゆらゆらゆら
めでたい日には
どのお家でも
日の丸の旗を
門へ出す
ほんとに日本の
日の丸は
いさましくつて
美しい

ねんどざいく

ねんどざいくは
面白い
僕はぐんかん
つくつたよ
えんとつつけて
たいほうつくり
一しやうけんめい
つくつたよ
つくつたお手手は
べつたべた
ねんどがついて
べつたべた
みんなのお手手も
べつたべた
今日の手工は
おも白い

はへ

はへはとつても
きたないよ
ばいきんたくさん
手足につけて
僕らのたべものに
とまつてつける
ばいきんは目には
見へないけれど
そんなのたべたら
びようきになるよ
はへはとつても
わるいから
あみどやなんかで
入れません
それでもはいつて
きてるのは
はへたたきで
ころします
パチン〳〵と
たたきます
それでもごはんの
時なんか
どこにゐたのか
出てきます
おぜんにきれいな
カバーをかけて
はへにはちつとも
やりません
はへはとつても
わるいです

世界一周第二コースを征服しツエ伯號來る
怒濤の如き歡呼の聲を浴びて東京横濱を訪問す

【霞ヶ浦十九日發電】ツエ伯號は三時四十九分高濱の上空に一抹の黑點となつて肉眼に入り霞ヶ浦附近を埋むる五十萬觀衆より怒濤の如き歡呼の聲擧る、大空には銀鱗の如き斷雲漂ひ殆ど無風狀態である、四時十分悠々其の巨軀を霞ヶ浦上空に横たへ突如船首を左に轉回して四時十五分飛行場の上空を通過東京に向つた

帝都の上空に現はる

【東京十九日發電】十五日午後零時三十五分（日本時間）ドイツフリードリヒスハーフエンを出發したツエ伯號は一萬一千基の鵬程を見事踏破して航空時間百時間にして十九日午後四時三十五分先づ其の雄姿を東京の上空に現はした、始めて此の大怪物の偉容に接した我國民は無限の脅威を感ずると共に一種の感激を覺えたのであつた、朝來刻々に來る各地通過の情報を載せた號外に東京市民は今か今かと空を眺めて此の空中の怪物の飛來を待つてゐると午後四時頃霞ヶ浦に現はれたとの報來り、上野、愛宕山は素よりビルデングの屋上、民家の屋根上等總て見物人を以て埋められ皆固唾を呑んで同號の飛來を待ち受けた、かゝる內に四時三十五分千住の上空に當る所へ幽かに姿を現はした、折柄の日光に銀色に輝く巨體を徐々に擴大しながらモーターの音もだんくはつきりと聞えて來た、軈て上野の上空を通過したツエ伯號は四時五十分丸之內上空に姿を現はし約五百メートルの高度を保ちつゝ沸き返る市民の歡呼の上を六臺の飛行機に前後左右を護られながら悠々として南方に向ひ約十分にして横濱の空に其の雄姿を沒した、因にツエ伯號が出發以來要した時間は東京宮城前まで百時間十五分である

横濱を訪問し引返す

【東京十九日發電】午後四時五十分東京の上空を通過したツエ伯號は東海道線に沿ふて横濱に至り山の手を一周して神奈川縣廳上空より港外に出で機首を轉じて再び東京の上空を五時二十五分に通過し一路霞ヶ浦に向つた

無事霞ヶ浦に着陸

【霞ヶ浦十九日發至急報】横濱訪問後六時霞ヶ浦着陸の姿勢を取りつゝ遊弋したる後下舵を取り軍樂吹奏觀衆熱狂裡に無風夕模樣の內に二十三分霞ヶ浦上空に着いた

觀衆の熱狂裡にゴンドラ着陸
灯を點じ窓から地上に答ふ　無事格納作業を終る

【霞ヶ浦十九日發電】ツエ伯號は六時五分着陸準備に取掛り六時七分バラストを放出し始め漸次高度を低下し午後六時十七分十メートルの高度よりロープを下しつゝ徐々に格納庫前に位置を動かしゴンドラには灯を點じ窓よりはエッケナー博士等全員頭を出して地上の歡迎に答へた、此の時トーキー活動寫眞班等盛んに撮影を開始し軍樂隊は奏樂を始めて軈て二十二分ロープは地上作業員の手に握られ二十五分二個の大錨が附けられゴンドラは二十六分完全に地上に着いた、此の時場の周圍を取卷いてゐた三十萬の觀衆は警戒線を突破して歡聲を擧げて同船に押寄せるなどなかくの混雜を呈した、從業員は徐々に船體を格納庫に引寄せ六時四十分格納作業を開始し七時五分全く格納し終つた、乘員は此處で檢疫及び稅關の檢査を受け午後八時近く下船した

乘組員に銀杯下賜

【東京十九日發電】ツエ伯號來航につき畏き邊りでは總司令エッケナー博士に對し銀盃一組又第一船長レーマン氏以下の乘組員十一名に對し銀盃各一個を賜ることゝなり二十日首相より官邸にて傳達されることゝなつた

所要時間は百一時間五十分

【東京十九日發電】ツエ伯號出發以來十九日午後六時廿五分霞ヶ浦着陸まで百一時間五十分である

ドイツ首相にメッセージ
濱口首相から

【東京十九日發電】濱口首相はツエ伯號來訪に對しドイツ首相ミラー氏に宛その壯圖を稱へ成功を祝するメッセージを發することゝなり十九日發送した

ツエ伯號の功績を稱へ前途の幸福を祈る
濱口首相の歡迎ステートメント

【東京十九日發電】ツエ伯號飛來につき濱口首相は左の如き歡迎のステートメントを發表した

今回ツエ伯號がドイツを出發一氣に大空を翔破して恙がなく東京に到着したことは當に劃時代的の壯擧といつてもよい、予は總司令エッケナー博士その他乘組員諸氏の技術と勇氣とに對し

深く敬意を 拂ひ度い、聞くところによれば今回の航程たる距離にして一萬二千基米突、時間にして百時間、しかも途中無着陸で歐亞兩大陸に跨がる處女空を完全に征服したのであるから之は單に技術及び勇氣ばかりの問題ではない、明瞭に信念の威力と科學の勝利とを意味する空前の雄圖である、この點は人類文化史上に特書大筆すべき偉勳と稱して差支へない、更に同船は近く第三コースに移つて太平洋橫斷を敢行するさうであるが、これまた成功することを疑はない、斯くて數日の後最初の出發地點たる米國レークハーストに歸着したるとき同船の地球一周計畫は豫定通り完成し

世界の交通 その時間と距離とを短縮し得べきことを實證し交通經濟上に一新紀元を開くであらう、茲にツエ伯號の偉大なる功績を稱へ前途の幸福を祈る

藤吉少佐が挨拶降下
日獨國旗に包み

【霞ヶ浦十九日發電】ツエ伯號は霞ヶ浦飛行場の上空を通過して東京に向ふに當り同乘の藤吉少佐は日獨國旗に包んだ紙に左の如き言葉をしるして船窓から飛行場に降下した

お蔭樣で歸つて來ました、取敢へず上空から御挨拶申上げます
エッケナー博士は御挨拶申上げる代りに署名して敬意を表します
十九日午後四時十五分　藤吉少佐

衷心から滿腔の敬意を表す
◇幣原外相の歡迎辭

いよくく日本の空にツエ伯號を迎へて予は衷心から歡迎の意を表すると同時に今更ながらドイツの科學の進步とドイツ人の天才勇氣創意を歎賞して止まないのである、過去に於ては戰場に於ける武勇が人類の歷史を飾つたのであるが、將來の歷史を飾るものは科學的文化的發達に對する貢獻でなければならない この意味に於てツエ伯號のこの行は歷史的に重要な出來事なりと信ず、交通機關の發達は世界各國間の距離を短縮し諸國民間の諒解協力に寄與すること甚大でこの各國民を接近せしむる大事業に貢獻せられたエッケナー博士及び乘組諸員に對し滿腔の敬意を表する次第である

久邇宮御成

【東京十九日發電】久邇宮朝融王殿下には十九日午前九時七分上野驛御發霞ヶ浦に成らせられツエッペリン伯號の飛來を御歡迎あらせられた

來連した野球二チーム【上圖】米艦ピッツバーグ軍と【下圖】松山高商チーム

四相聯合で歡迎會
二十日に開く

【東京十九日發電】小泉遞相、財部海相、宇垣陸相、幣原外相の四相聯合ツエッペリン伯號歡迎會は本日擧行の豫定を都合に依り二十日午後六時帝國ホテルに於て催す事に決定した

乘組員の歡迎日程

【東京特電十九日發】ツエ伯號乘組員歡迎日程は左の如くである △第一日（十九日）霞ヶ浦到着の際海軍主催招宴、霞ヶ浦海軍航空隊司令晚餐會△第二日（二十日）各省訪問、帝國飛行協會主催午餐會（正午）東京日日新聞主催東京市民歡迎會（午後三時）遞信陸海外務四大臣主催晚餐會、日本航空輸送會社社長帝國劇場社長主催觀劇會（午後八時半より）△第三日（二十一日）東京朝日主催東京市民主催東京市民送別會（午前）東京朝日主催午餐會（正午）濱離宮拜觀並に茶菓下賜（午後三時半）獨大使日獨協會日獨文化協會主催レセプション（午後五時半）三菱商事、三菱航空機會社主催晚餐會（午後七時半）尙准士官以下に對しては第二、三兩日東京市朝日主催東京市內見物

廣島商業快勝す
五―一で鳥取一中に
全國中等學校野球準決勝戰

【大阪十九日發電】廣島商業對鳥取一中野球戰は十九日廣島先攻にて開始、廣島は第六回一點、八回四點を入れたるに對し鳥取は第一回一點を入れたのみで結局五對一にて廣島商業の勝利に歸した、閉戰正午

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
廣島	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5
鳥取	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

海草中學大勝

【大阪十九日發電】海草中學對北中學の野球戰は七回までにてコールドゲーム九對零にて海草中學の勝利に歸した

華人最初の理學博士
數學を專攻

【東京十九日發電】中華民國人陳建功氏は理學博士の稱號を受け支那人として我國最初の理學博士となつた

氏は光緒十九年浙江省に生れ大正二年日本に留學、七年東京高工、八年物理學校數學科を卒業大正九年東北帝大理學部教室に入り、十五年同大學院に入り數學を研究した人である

滿鐵社員上海で虎疫に罹る

【上海特電十九日發】滿鐵商工課員志村悅郎氏は十七日上海に出張し來り、今朝發病、コレラと診斷され租界避病院に收容された

早大軍武運拙く敗れ滿倶軍豪勇に勝つ
九A對八の打擊戰を演じた昨日の早滿決勝戰

早稻田大學對滿洲倶樂部決勝野球戰は十九日午後四時五分中央公園滿倶球場で開始されたが、九A對八にて滿倶遂に決勝す、閉戰六時四十分、觀衆は早やくより場を埋め戰前既に立錐の餘地もない、球審中島、壘審安藤、平田、早大先攻試合經過次の如し

回數	滿倶 得點	滿倶 安打	滿倶 敵失	早大 得點	早大 安打	早大 敵失
一	0	0	1	1	2	0
二	0	1	0	3	4	0
三	2	3	0	2	3	0
四	3	4	1	0	0	0
五	0	0	0	0	0	0
六	1	3	0	2	2	0
七	1	2	0	0	2	0
八	1	2	0	0	0	0
九	1	9	0	0	0	0
計	9	15	2	8	13	0

△第一回　早大水原一―一後右越觀覽席に本壘打して一點を入れ水上捕邪飛伊丹の中前直球綠川前走好捕し森右中間に三壘打したが西村三振▲滿倶吉野遊匍永澤中飛長澤四球片岡の三匍失して長澤二進したが井上右飛（早一滿零）

▲第二回　早大佐藤一匍多勢三遊間に廣瀨右前に富永も右前に安打して一死滿壘水原の四球に多勢押出され水上二匍して廣瀨本壘に封殺されたが伊丹遊擊右に安打して富永、水原生還し水上二進森四球で二死滿壘でおびやかしたが西村三匍して伊丹封殺▲滿倶濱崎三振兒玉三側に內野安打したが疋田中飛、綠川遊飛（早三滿零）

△第三回（滿倶青山投手に入り濱崎右翼となり兒玉退く）早大佐藤二壘左に安打し投手暴投に二進多勢右中間に三壘打して佐藤生還廣瀨左飛富永右前にテキサス安打して多勢も還り水原左飛富永二盜に死ぬ▲滿倶吉野三遊間安打永澤左大飛長澤右中間に安打して吉野三進長澤二盜片岡二匍して吉野生還長澤三進井上遊越に安打して長澤も生還し井上二盜に死んだが滿倶二點を返す（早二滿二）

△第四回　早大水上四球伊丹一邪飛森の二匍水上を封殺し森は二盜に死ぬ▲滿倶濱崎一二間安打青山の遊匍富永重殺を急いで失し濱崎二進疋田三側に絕好のバント安打して無死滿壘綠川三振し吉野二―三の時伊丹一壘走者の出すぎたのを見て一壘に投げて疋田を刺し吉野四球に再び滿壘となる永澤投手のグラブを彈く安打を放つて濱崎生還長澤右前に安打して青山、吉野生還永澤三進し長澤直ちに二盜片岡敬遠の四球で滿壘となり（早大多勢退き高橋投手となる）井上二匍して片岡二壘に封殺されたが差僅に一點（早零滿三）

△第五回　早大西村投匍佐藤中飛高橋四球廣瀨捕邪飛▲滿倶濱崎四球青山バントを仕損じた時スタートをつけてゐた濱崎一二間に挾殺され青山三振疋田遊飛（兩軍零）

▲第六回　早大富永投手足下を拔いて出たが水原の遊匍に封殺水上一二間を直球安打して水原二進伊丹四球で一死滿壘森二―三後四球に出で水原押出しの一點西村再び四球で水上も押出される（滿倶濱崎投手となる）杉田屋（佐藤の代打）三振高橋右飛濱崎巧みにピンチを切拔ける▲滿倶綠川二越安打し投手暴投に二進し更に三壘に走つてセーフ吉野投匍永澤中前安打して綠川生還長澤二遊間を拔いて永澤二進したが片岡右飛井上三振（早二滿一）

△第七回　早大廣瀨三振富永三飛水原二遊間直球安打水上二越安打に水原二進したが伊丹右直▲滿倶濱崎捕邪飛青山左中間に本壘打して生還疋田遊越安打綠川二飛疋田二盜して成らず差亦一點となる（早零滿一）

△第八回（滿倶青山退き宗正中堅綠川右翼となる）早大森、西村三振杉田屋中飛▲滿倶吉野三匍永澤二壘左に安打し長澤の投匍に二進し片岡二壘右に直球安打して永澤一擧生還片岡二盜（片岡の代走疋田）井上中飛したが遂に同點（早零滿一）

△第九回　早大高橋二飛廣瀨三邪飛富永捕邪飛▲滿倶濱崎（早大投手山田となる）四球を利し捕逸に二進更に投手暴投に三進宗正四球（早大清水投手となる）疋田の中堅大飛球犧打となつて濱崎生還して貴重なる一點をあげてゲームセットとなり早大惜敗す

（滿倶）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
5 吉野	4	2	1	0	0	0	1	0
4 永澤	5	1	3	0	0	0	0	0
6 長澤	4	1	3	0	2	0	1	0
2 片岡	4	0	1	0	1	0	1	0
7 井上	5	0	1	0	0	1	0	0
191 濱崎	3	2	1	0	0	1	2	0
9 兒玉	1	0	1	0	0	0	0	0
91 青山	3	2	1	0	0	1	0	0
8 宗正	0	0	0	0	0	0	1	0
3 疋田	4	0	2	1	0	0	0	0
98 綠川	4	1	1	0	1	1	0	0
計	37	9	15	1	4	4	6	0

（早大）

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
9 水原	4	3	2	0	0	0	1	0
4 水上	4	1	2	0	0	0	1	0
2 伊丹	4	0	1	0	0	0	1	0
5 森	3	0	1	0	0	1	2	1
3 西村	4	0	0	0	0	2	1	0
7 佐藤	3	1	1	0	0	0	0	0
7 杉田屋	2	0	0	0	0	1	0	0
7 今井	0	0	0	0	0	0	0	0
1 多勢	2	2	2	0	0	0	0	0
1 高橋	2	0	0	0	0	0	1	0
1 山田	0	0	0	0	0	0	0	0
1 清水	0	0	0	0	0	0	0	0
8 廣瀨	5	0	1	0	0	1	0	0
6 富永	5	1	3	0	0	0	0	1
計	38	8	13	0	0	5	7	2

殘壘數　滿倶十　早大九
本壘打　水原一　青山一
三壘打　森一　多勢一

戰評　今夏唯一の好試合快決戰▲戰ひは豫想通りの打擊戰、勝敗は結局時の運、善戰の兩軍に心からの讚辭を捧げる▲七回二死後伊丹が二走者を置いて三壘側に打つた球は三壘打となつて二者生還したが、滿倶なら審判に故障が出て結局ファウルを宣告された、不平を少しも見せぬ早大軍の立派な態度實に美しいスポーツマン精神の發露である▲然し早大にも勿論敗因はあつた、外野と內野の連絡の不備のため青山の球をホームランとし二壘の走者を常に樂々單打で本壘を許した、打擊戰になる試合では少しでも壘打數を少くする可きであらう▲滿倶は强い、六點をリードされて少しもあせらず六、七、八、九と確實に一點宛を入れた底力、天下無敵である▲勝因は濱崎後半の好投四回疋田のバント安打、永澤、長澤の猛打八回片岡の安打等である

けふのラヂオ

昭和四年八月二十日（火曜日）
自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、支那語講座　實用支那語會話　滿鐵學務課　秩父固太郎
三、尺八　本曲湖上の月　草崎主山、辻泰正
四、俗謠　聲色大津繪　唄梅の家千兩、三味線上田ハル子
五、義太夫　攝州合邦辻合邦住家の段　太夫三橋みどり、三味線竹本旭勝
六、支那劇　烏龍院　遼東倶樂部員
七、料理獻立
八、天氣豫報

荊妻ウラ儀豫て大連病院に入院加療中藥石効なく十九日午後二時二十分死去致し候に付き此段辱知諸賢に御通知申上候
追て葬儀は廿日午後三時自宅出棺東本願寺に於て施行仕候
昭和四年八月十九日
飛驒町七一　夫　濱岡鶴吉

愛慾の窓 (75)

戸川貞雄作 / 淺枝次朗畵

奔流（九）

美知子は暫くの間默つたまゝ久彦の顏をぢつと讀めてゐたが、やがて取出した繻子の寫眞を、卓子の上に差し出した。

「……お搜しになつてゐらツしやるのはこれでせう？」

彼女の顏は、硬張つた表情で蔽はれてゐた。

「おゝ、さうです！さうです！」

久彦はそれと氣付くと、遽に顏色を明るくして取上げたが

「しかし一體何うしてこれがあなたの手にはひつたのですか？」

と訊ねる。

「……お詫しなければなりませんわ！そのお寫眞を盜み出したのは龍吉で御座いますのよ」

美知子は、寂しく瞳を伏せて、半ば呟くやうに答へた。

「盜んだのは、さうです、盜んだのは龍吉でした。けれども今日まで匿しておいたのはわたしですわ。わたしを責めて下さい……」

久彦は、哀しく繻子の寫眞に注いでゐた眼を、美知子の顏に移した。

「責めるの何のツて、そんなことはどうでもいゝですが、しかし美知子さん、龍吉君がこれを盜んだ氣持はわかりますが……つまり龍吉君は、何か金目の品と勘違ひしてさらつて行つたにちがひないんだが、それをまたあなたは、何うして早く僕に返してはくれなかつたんですか？」

「……何うしてツて……」

と、美知子は口籠つた。

「龍吉君のしたことが、僕を怒らすとでもお考へになつたからですか？」

久彦はやさしくたづねる。

「……いゝえ」

「ぢやア何うしたの……？」

久彦の手は、優しく美知子の肩に觸れてゐるのだつた。

「わたし……そんなに大切なものとは考へなかつたもんですから」

蚊の鳴くやうな聲で、美知子は微かに云つた。

「……堪忍して、堪忍して下さいまし！」

美知子はふいに兩手で顏を蔽ふと、しくりしくり泣きはじめた。

「……はゝゝゝ、泣かなくつてもいゝですよ！先刻も云つたとほり、別に必要な品でもないのです……」

久彦は輕く彼女の肩をたゝいた。

「いゝえ、噓です〳〵！そのお寫眞の方、あなたの、あなたの……」

と、美知子は肩をゆり動かしながら、涙に濡れた聲で叫んだ。

「わんだわ」

美知子はやるせなげに微笑んだれながらそれと說明し難い哀しみが堰を切られた水のやうに、美知子の胸に溢れて來た。

「僕の……？さうです、この寫眞の主は、かつては僕の戀人だつたのです！しかし、今はもう思ふに効のない人です……」

久彦は半ば獨り語のやうに洩らした。

「……お察ししますわ！」

と、美知子は涙に濡れた顏を上げて、ヒステリツクな微笑を泛べた。かつて經驗したことのない感情が、彼女を突き動かした。

「草野さん……わたしにそのお寫眞下さいません？」

美知子は久彦の顏をぢつと見戍つた。

「……はゝ、お望みならば差し上げてもいゝですが、しかし何うなさらうといふのですか？」

久彦は優しい眼差で、美知子の顏を見返した。見返されると、彼女はさらに悲しくなつた。

「……御恩返しがしたいんです！せめてそれがわたしの慰めになる

滿日文藝

水府氏歡迎句會

宿題「汗」 席上互選

二點句

ワイシャツの汗が主人のお氣に入り　連樂
冷汗をびつしよりかいて門を出る　玉江
玉の汗郵便局に用が出來　柳月
汗の出る方へ少い求職者　長介
お化粧のくずれ氣になる鼻の汗　啞鳥
歸日を鞍の下なる馬の汗　濤明
血の汗で稼いだ昔を語る倉　滿四志
汗を拭き〳〵俥夫ねだり上げ　卯木人
汗のシャツ洗つて今日も無事な飯　笑樂亭
九十度赤子も同じ汗をかき　南風
太陽に汗に感謝の士が肥へ　啞佛
放免へほつと冷たい汗を拭き　同
メンサーの背中手型に汗がつき　醉雷
飯事の主婦は小さい汗をかき　同人
噗顏へ少つとおじけのついた汗　喜樂
汗ばんだ顏へ官譯信じさせ　桂馬
握る手の汗の香も娘らし　蜂郎子
お役所で書く履歷書へ汗をかき　佐々市
勾配が續き洋車へ濟まぬ汗　青海

三點句

手に汗を握り傍聽席の友　草の屋
汗をかく程に生徒は聞いて居ず　同
寢汗かく瞬を母親だけが知り　一保
行軍は汗を背負ふて村に着く　水母
機關手の汗を乘客知らぬなり　十夂目
汗で來る人を茶店は遠く知り　我茶坊
菜葉服汗の廣さのしみが出來　日季亭
お座敷の汗を醫者は粉で押へ　栄丸
汗を拭く間も器械だけ廻り　螢十
初舞臺見てゐる母も汗をかき　素妻坊
自動車がまた拔いて行く汗の顏　錦稚坊
汗ばんだ弱みへ王手たゝみかけ　喜樂
一粒の米へ農夫の汗を說き　桂馬
冷藏庫から銀盆へ嬶の汗　名入
嘲笑と惡罵を汗の日で塗り　若葉冠
演壇に立つた斗りで汗を拭き　歩龍
蒸籠されて汗の倦いことを知り　新郎
冷汗をかいて我身の罪を知る　青海

四點句

撲院の強習へ輕い汗をかき　月南
眞實の涼しさを知る汗の顏　風來坊
一日の糧を上衣ににじませる　我羅太

痛い痒い苦しい 夏の皮膚病

あせも、濕疹、水虫、毒虫 其他の皮膚病治療の心得

暑さが增すと何處の家でも子供や大人があせもで苦しめられる、顏から頸や襟、さては腋や胸、脊といふ風にブツ〳〵吹出したあせもの痒さ、苦しさは見たゞけでもうるさく痛々しく感じられるものである。あせももブツ〳〵と散在してゐる時代に手當をすると比較的容易に治つて仕舞ふものであるが放任して置いた上に痒いので掻いたりすると化膿菌が侵入して恐ろしく大きく腫れ上り痛みと痒みと同時に來るので其の苦しさは格別にひどい。この腫瘍が俗にいふあせもの寄り、又は夏ぼし、といふもので、斯うなると汗打粉ぐらいでは治らないはかりでなく下手に手をつけると大切な顏や頭に一生惧や禿を遺すことになるから、さうならぬ中に早く手當をするに限る。汗をかくことがあせもを生ずる原因であるから發生した部位をよく水か湯で洗つて、そのあとへ適當な藥をつけて置けば先づ心配は要らない。

「とびひと水虫」

それから子供によくある膿痂疹、俗にとびゝといふのも夏に多いもので、これは極めて傳染力が強く、かさぶたの出來た上を掻くと水が出たりする、その水が他人につくと直ぐ同じ樣に出來るから子供達が遊んでゐる時には注意を要する。これも始めは化膿菌が取り付いて起るのであるから痒い所を掻くことをやめる樣にしなくてはならない。それから水虫、これも夏になると猛烈に殖えるもので日常靴を穿く人などの足の指の間に最も多く出來る、頗る痒いので我慢し切れずに掻くと水泡が出來、それを針やナイフなどで刺し破ると透明な液が流れ出す、そして治る樣に見えるが實は次へ次へと移つて行つて白い皮が剝かれ落ち中々治らないものである。一種深刻な痒みと痛みとを伴ふので隨分惱まされる人が多い。それは汗疱狀白癬といふやつで、指の間に出來たのを趾間白癬と呼んでゐる。始末の惡いことにはこの病氣は翌年まで持ち越すことで七八月の暑い盛りになると去年と同じ樣に起る、その療法にも色々あるが後に記す樣に手當すれば良い結果を得ることが出來よう。

「治らない田虫」

水虫に次で困るのはたむしでこれも頗る多數の人を惱ますものである、多く毛のある部分に發生し先づ小さな水泡が出來て次第に大きくなり、その緣が高くなつて段々に他のものと連絡し地圖の池や沼の樣に不規則な形に蔓延し、惡性のものは一見癩病の膿疹かと思はれる位である。發疹した部分は猛烈に痒く痛く、その時期を過ぎると白いフケの樣な皮膚が落ちる子供の頭から顏へ移ることが最も多いから帽子に注意しないと知らぬ間に傳染つてゐることがある。

「藥を撰む心得」

其他、暑い時節は全く皮膚病傳播の絕好期であるから輕くとも皮膚病の一種と見極めが付いたら直ぐよい藥を適宜に用ゐて蔓延を防ぎ一方には殺菌作用を完全にして怖ろしい病とならせぬ樣に心掛けなくてはならない。ところが皮膚病の藥と云つても色々あつて中には有害な副作用を有してゐるものもあるから無暗なものを濫用することは危險である。家庭で用ふる皮膚藥を選ぶときは先づ左の點をよく確かめて用ゐなくてはならぬ。第一に無刺戟性であること、第二には殺菌性のあること、第三には皮膚を荒さぬこと、第四には絕對に副作用のないこと、第五には滲透力が強く、潛伏菌を殺す力のあること、等である。これらの條件を具へた藥なら安心して使用することが出來るのである。しかし其他のものはいけない。最近では最も歡迎されてゐるものにヨーヂ水がある、この藥は透明無色に近い水藥で前記の各症には何れも美事に効を奏し又塗つた後も殘さないので喜ばれてゐる時にこの藥は化粧的にも立派な効果があり皮膚藥と化粧料とを兼ねてゐるので二重の利益があると好評されてゐるのである。

夕刊
滿洲日報
八月十九日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

昨年十二月檢擧された滿洲共產黨事件の眞相

半歲に亘る一味の豫審決定 けふ記事掲載解禁さる

昭和三年十二月二十日、大連市中に突如配付された滿鐵現業員に對する不穩宣傳ビラは當局を始め滿鐵沿線各地に一大ショックを與へたが、關東廳では事件發生と同時に新聞の記事掲載を禁止し所轄各警察署に命じ愼重調査を行はしめた結果大連、營口に於ける滿鐵現業員の外南滿工專學生並びに旅順工大學生も之に策動してゐた事判明、玆に大連、營口、旅順各署の疾風迅雷的な大活動となり一味を一網打盡し之を檢察局に送致する一面大連署では彼等の主義研究に對する態度及連絡、活動等により未だ何ものかの陰謀が無ければならぬと睨み嚴重内偵中、偶々入獄中の一被疑者が出獄せんとする竊盜犯人に對し密書を依賴した事より玆に滿洲では初めての共產黨秘密結社『ケルン協議會』の組織及び一部實行が發覺するに至つた、警察署及び檢察局では更に第二段の活動に入り前回逮捕の分を加へて合計二十名を治安維持法違反として檢擧したが、以來半ケ年地方法院長島豫審判官の取調べも終了して今十九日正午愈々記事掲載解禁を見、一切の報道を許された

一件書類二千七百枚

本事件の一件書類は頗る厖大なもので全部で二千七百枚から成るもので一回目を通すだけでも二日間を要し阿片事件以來の大冊なものであると

十八名は有罪と決定 地方法院の公判に附さる

決定

本籍　岐阜縣本巣郡北方町千四百九十七番地ノ二
住居　旅順市大迫町二十一番地高田方元旅順工科大學學生
廣瀨進(二四)

本籍　愛知縣名古屋市中區流川町五十三番地
住居　旅順市大迫町二十一番地高田方元旅順工科大學學生
大田二郎(二三)

本籍　兵庫縣多紀郡篠山町西新町十三番地
住居　旅順市中村町十五番地日新寮内元旅順工科大學學生
佐藤一男(二四)

本籍　福岡縣福岡市柳原町三丁目七百五十九番地
住居　旅順市新旅順中村町十五番地日新寮内元旅順工科大學學生
田中貞美(二三)

本籍　京都府何鹿郡以久田村大字大呂小字東谷田九番地
住居　旅順市大迫町二十一番地高田方元旅順工科大學學生
出口重治(二三)

本籍　奈良縣宇智郡牧野村字上之八十二番地
住居　旅順市札幌町旅順工科大學寄宿舍元旅順工科大學豫科學生

本籍　廣島縣豐田郡河内町百一番地
住居　旅順市札幌町旅順工科大學寄宿舍元旅順工科大學豫科學生
櫻井圭二(二〇)

本籍　兵庫縣神戸市菅原通二丁目六番地
住居　旅順市中村町八番地村松常次郎方元旅順工科大學學生
八幡政彥(二三)

本籍　岡山縣赤磐郡可眞村大字可眞下一七九八
住居　營口旭街三ノ二元滿鐵傭員
秀島嘉雄(二四)
松田豐(二九)

本籍　東京府東京市京橋區新富町三丁目二
住居　大連市北大山通黎明寮内元滿鐵傭員
田中輝男(二四)

本籍　東京府東京市小石川區小日向臺町三丁目五十九番地
住居　大連管内老虎灘會韓山屯矢部萬吉方無職
矢部猛雄(二七)

本籍　三重縣桑名府桑名町字壹町百二十番地
住居　大連市信濃町百三十四番地無職

本籍　廣島縣吳市吉浦町六千二百
小林周三(三〇)

本籍　香川縣仲多度郡神野村大字岸上十番地
住居　營口旭街二十五番戸滿鐵傭員
松良一萬太(二九)

住居　大連市千歲町二十九番地無職
八十九番地
歃川澡(二九)

本籍　長野縣上田市新築町五千五百四十五番地
住居　營口旭街思濟寮滿鐵傭員
中島保任(二三)

本籍　福岡縣鞍手郡直方町大字直方八百五十六番地
住居　營口新市街南木町警察官舍二ノ九無職
阿部義照(二七)

本籍　佐賀縣佐賀市八重町六十八番地
住居　大連市山手町三十一番地四號ノ三滿鐵傭員
納富勇(二〇)

本籍　鳥取縣米子市東倉吉五十三番地
住居　右同所無職

本籍　北海道北見國斜里郡斜里村大字ハナ五八ノ二
住居　大連市聖德街二丁目七十六番地川越榮藏方元南滿洲工業專門學校學生
伊藤進止郎(二三)

本籍　秋田縣平鹿郡沼館町字沼館五十六番地
住居　大連市聖德街七十六番地川越榮藏方元南滿洲工業專門學校學生
和知啓(二三)
細谷次男(二三)

主文

被告人廣瀨進、同大田二郎、同佐藤一男、同田中貞美、同出口重治、同松田豐、同田中輝男、同矢部猛雄、同小林周三、同阿部義照同伊藤進止郎に對する治安維持法違反及普通出版物取締規則違反被告事件、被告人櫻井圭二、同八幡政彥同秀島嘉雄、同松良一萬太、同歃川澡、同中島保任に對する治安維持法違反被告事件、被告人納富勇に對する普通出版物取締規則違反被告事件を關東廳地方法院の公判に附す

被告人納富勇に對する治安維持法違反被告事件被告人歃川澡、同中島保任に對する普通出版物取締規則違反被告事件、及び被告人和知啓同細谷次男に對する被告事件は何れも免訴す

理由

秘密結社の母體は工大の思想研究會

被告人廣瀨進、同大田二郎、同佐藤一男、同田中貞美、同出口重治、同秀島嘉雄、同櫻井圭二、同八幡政彥は元旅順工科大學生にして大正十三年九月十月頃旅順工科大學内に於て當時の同大學豫科教授内藤雄文主唱の下に非公式に思想研究會なるもの成立せられ同大學專門部同大學豫科に在學する生徒二三十名を包容し一般思想問題の研究を爲し在りたるところ大正十四年春以降其研究の範圍が主として眞正マルクス主義に傾きたる内同年末頃より内地に於て所謂京都大學生社會學研究事件起り其結果文部省に於て一般學生の社會科學研究を嚴禁すること丶なりたる爲め夫等の事情等より右會は脫會者多く全く衰微して其影を潛むるに至りたるが被告人廣瀨進、同大田二郎、同秀島嘉雄は右研究會成立當時より何れも同會に入會し居り熱心なるマルキシズム研究者として他の會員は退會し盡したるに拘らず三名のみは其儘居殘り在りて該研究を繼續し居りたる折柄大正十五年五月中被告人佐藤一男、同田中貞美の兩名が加入し爾來右五名間に於ては時々一所に會合して同主義の研究を怠らざりしものにして昭和三年五月中更に被告人櫻井圭二が加入してより其頃旅順市大迫町二十一番地高田方なる被告人大田二郎宅に前示六名會合し研究會第一同大會を開催し會の組織を…

昨年十一月から七名が共產運動に着手す

第一　被告人廣瀨進、同大田二郎、同佐藤一男、同田中貞美は遂に現時の資本主義社會組織を變更して其理想する社會を實現せんが爲め先づ無產階級の革命手段等に依り社會の權力を悉く無產階級の掌中に歸せしめ次で無產階級獨裁政治を施すと共に經濟上には凡ゆる生產機關を資本家の私有より奪つて之を社會の共有に移さんとすることの所謂共產主義者の如き夢想を懷くに至りたる所昭和三年九月二十日頃前示大田二郎宅に被告人出口重治、同櫻井圭二、同八幡政彥等と都合七名會合し研究會第二回大會を開催し互にマルクス主義の研究に付き自己批判を行ひ從來の研究會の態度が同主義研究の上に於て理論偏重哲學的傾向ありたることを究明し進んで實踐的方面即ち現在の吾國に於ける國家組織、社會組織はマルクス主義の主張に照して其自體に大なる矛盾を包藏せるを以て階級鬪爭の形式に依り之をプロレタリア(無產階級)の團結力を以て根本的に打破すべきものとし研究會が所謂吾國の共產運動の一翼として參加することにより同主義の理論と實踐との統一を圖らんことを期すべく即ち、**實正マルクス主義の體現團體たらしめんことを期すべく**眞に其具體的行動に移る可きことを協議し

…に分ちマルキシズムの研究に付ては一定のコースを定め益々熱心に同主義の研究を繼續し居り次で八月中被告人出口重治が加入し翌九月中被告人八幡政彥が加入し其他林大輔等も加入せんとする狀況にありたるが

其準備行動として研究會の内部組織を變更し決議機關と執行機關とを設け決議機關としては研究會大會及び常任委員會(常任委員會は常任委員長と常任委員に依り構成せらる)を設置し執行機關としては會計部、圖書部、ケージケー對策部、讀書會對策部、滿蒙研究會對策部、學聯對策部、無新對策部(此部は昭和三年十一月中新設)を置き會計部は研究會の金錢の出納に關する一切の事務を取扱ひ被告人田中貞美之に當り、圖書部はテキスト交換に付き其取次を爲すこと丶し被告人出口重治之に當り、ケージケー對策部は東京市に本部を有する解放運動犧牲者救援會(ケージケー)と稱するマルキシズムに立脚したる共產運動を助成する爲めの會と聯絡を取り救援事務を司ること丶し被告人佐藤一男其事務を擔當し、讀書會對策部は一の中間組織にして**旅順工科大學内に讀書會を作り會員を募集**して讀書の便宜を與へることを表面上の理由とし其會員中より優秀なる新人を研究會員として加入せしむること丶し被告人大田二郎之を擔當し滿蒙研究會對策部は當時旅順工科大學豫科生徒に於て設置せんと爲しつ丶ありたる滿蒙研究會に働きかけて同會をして思想研究會的色彩を濃厚ならしめ

以て研究會員として加入せしむることの事務を司ること丶し被告人櫻井圭二、同八幡政彥之を擔當し學聯對策部は旅順工科大學、南滿洲工業專門學校、滿洲醫科大學、滿洲教育專門學校、哈爾賓日露協會學校の五校を統一したる**全滿洲學生聯盟會を組織して右學校中既に思想研究會の存在するものに付ては互に提携して**マルクス主義研究に努むべく未だ思想研究會の存在せざるものに付ては思想研究の氣運を釀成せしめ以て將來滿洲に於ける學生等に依りて益々確固たるマルキシズム研究團體を作り聽て來る可き社會の階級鬪爭に際し大衆的に進出する職業的革命家を排出せしめんことを目…

學生聯盟設立準備

第二　被告人廣瀨進、同大田…

ケルン協議會を組織 滿鐵の内部に無產運動

第三　被告人松田豐、同田中輝男は何れも南滿洲鐵道株式會社傭員にして大正十五年冬頃より同會社所屬地營口に於てマルクス主義の研究を始めたるものなるが其後營口居住の同會社傭員被告人歃川澡、同松良一萬太、同中島保任同阿部義照及び被告人小林周三等と相糾合して一の思想研究會を組織し引續き同主義の研究を爲し居りたる内昭和二年末頃被告人田中輝男は在大連同會社本社に轉勤したる折柄南滿洲工業專門學校内に於て前示和知啓、細谷次男外二三名等がマルクス主義の研究を爲しあるを聞き之等同志と糾合して同主義の研究會を組織し之に依り益々研究を重ねつ丶あり、旁々被告人矢部猛雄と交際し同人が曾て内地に於てマルキシズムに立脚したる左翼勞働運動に參加し同主義の實地研究者として相當深き經驗を有するところより之に依り被告人松田豐と共に其指導を受け思想上大に啓發せられたるところ昭和三年六七月頃被告人田中輝男、同矢部猛雄、同松田豐、同廣瀨進等は時々談合の結果大連、營口、旅順に於ける研究會を統一したる一の會を組織し從來の研究會が單なるマルキシズムの理論の究明のみに傾き…

…る所謂無產運動の中心勢力を作り資本階級に對立したる無產者の團結を圖り私有財產制度を認むる現時の社會組織を變革し社會をして理想の共產社會に導かんことを企て現滿洲に於ける當面の問題としては南滿洲鐵道株式會社内部に於ける傭員階級を團結せしめ資本家の立場に在る滿鐵會社に對抗して其待遇の改善、生活の向上を圖らんことを期し昭和三年七月初頃營口旭街三ノ二なる被告人松田豐宅に於て被告人大田二郎、同松良一萬太、同歃川澡、同中島保任、同小林周三等都合九名にて會合し玆に私有財產制度を認容したる現時の經濟組織の社會を變革しマルキシズムに立脚したる無產者の團結に依る所謂無產運動の中心勢力として發展せしめんことを期する爲め**ケルン協議會なる名稱の下に一の秘密結社組織の發會式を擧げ**當面の問題としては滿鐵内部に無產運動を起す爲め滿鐵傭員聯盟を組織せんことを計畫し右協議會の常任委員長に被告人松田豐(昭和三年十二月中被告人廣瀨進と交替す)常任委員に被告人田中輝男、同歃川澡、同大田二郎、同松良一萬太を書記長に被告人廣瀨進同書記に被告人小林周三を各選出し尙社員會なる各機關を設け社員會對策部長…

『滿鐵傭員諸君に檄す』の冊子とビラを印刷 鬪爭を煽動する目的で

第四　被告人阿部義照は昭和三年八月中より九月迄の間同附屬地營口に於て被告人松田豐の紹介に依り前示私有財產制度を否認することを目的としたる秘密結社に加入し

第五　被告人廣瀨進は前示記載の如くマルクス主義研究者として相當深き研究を爲し漸く共產主義の如き理想を懷くに至り昭和三…

宣傳ビラを各方面に配付す

昨年十二月中旬頃

第六　被告人大田二郎、同佐藤一男、同田中貞美、同出口重治は相被告人廣瀨進、同田中輝男、同松田豐、同矢部猛雄、同小林周三等が前示(第五事實)記載の犯罪を敢行するに際し其趣旨に贊成して之を援助すべく昭和三年十二月十二、三日頃より十七、八日頃迄の間當時の相被告人大田二郎宅(旅順市大迫町二十一番地高田方)に於て前示(第五事實)記載の如くパンフレツト約五百部宣傳ビラ約四千枚を謄寫版にて刷り上ぐることの手傳ひを爲し仍つて相被告人廣瀨進、同田中輝男、同松田豐、同矢部猛雄、同小林周三等の前示(第五事實)犯行の幇助を爲し

第七　被告人阿部義照は、相被告人廣瀨進、同田中輝男、同松田豐、同矢部猛雄、同小林周三等が前示(第五事實)記載の犯罪を敢行するに際し其趣旨に贊成して之を幇助すべく昭和三年十二月十七、八日頃より二十日迄の間當時の相被告人田中輝男宅(大連市北大山通黎明寮内)に於て前示(第五事實)の宣傳ビラ約四千枚を大連市内並に滿鐵沿線各地の滿鐵傭員各宛に郵便に依り配付する準備として各三枚宛封筒に入れ宛名を書することの手傳ひを爲し内五百通を封筒に入れ宛名人に到達す…

る樣郵便切手を貼布したる分)を同月二十日頃の午後九時發滿鐵大連驛發列車に依り、奉天に持參し之れを奉天(附屬地)所在二、三ケ所の郵便函に投入し其頃宛名人に到達せしめ仍つて相被告人廣瀨…の犯行の幇助を爲し

第八　被告人納富勇は相被告人廣瀨進、同田中輝男、同松田豐、同矢部猛雄同小林周三等の前示(第五事實)犯行の幇助を爲し…廣瀨進、同田中輝男、同矢部猛雄、同小林周三等が前示(第五事實)記載の犯行を敢行するに際し其趣旨に贊成して之を幇助すべく昭和三年十二月十七、八日頃より二十日迄の間當時の相被告人田中輝男宅(大連市北大山通黎明寮内)に於て前示(第五事實)の宣傳ビラ四千枚を大連市内並に滿鐵沿線各地の滿鐵傭員各宛てに…行の幇助を爲したるものなり

檢擧の手がかり密書の内容 獄中の田中が認めた

本事件が治安維持法違反として起訴さる丶に至つたケルン協議會發覺の動機となつた田中が在監中一味の納富に宛た問題の密書内容は大體左の如き意味のものである

警察では私達を何とかして治安維持法に引かけやう引かけやうとしてゐるが、幸ひ今まで證據が擧らなかつたので其儘になつてゐる希くば兄よケルンの事は飽くまで秘密にして置いて具れ…

太田長官 廿三日神戸發

太田新關東長官は本月二十一日東京發、途中伊勢神宮に參拜し、二十三日うらる丸にて神戸出發の筈

人事

▲原田光次郎氏(實業家)　十九日出帆香港丸で内地へ
▲開識一氏(第十聯隊步兵少佐)　同上
▲日本大學滿蒙視察團十三名　同上
▲東京慈惠大學一行十名　勝尾信彥大佐に引率され同上
▲角力協會一行五十五名　同上

天氣豫報

(廿日)晴れ一發り西の風
日出五時十一分日沒六時四十四分
滿潮前十時四十分後十時五十五分
干潮前三時五十分後五時十五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二九、五	三三、三
旅順	三〇、〇	三三、三
營口	二七、八	三三、一
奉天	二九、一	三三、二
長春	二六、二	三一、四

床次竹二郎氏來滿の日 埠頭で不穩ビラ撒布

滿洲共產黨事件の端緒を得て 大連署が疾風迅雷的活動

滿洲共產黨事件の捜査檢擧に關しては大連各警察署とも涙ぐましい程の努力を拂つたが、殊に事件の中心となつた大連署の活動には筆紙に盡せぬ血の滲むやうな苦心があつた。即ち事件は昨年十二月床次竹二郎氏が來連した當日、大連各署長は勿論、關東廳からも藤岡警務局長が出迎へてゐた際、埠頭に於て「滿鐵現業員に與ふ」と云ふ不穩ビラ宣傳を發見したのが抑々事件の發端で局長も右ビラの文章を熟讀し「直ちに發布禁止をやれ」と云ふ意見であり、本廳に報告すると

その書き振りにより單に滿鐵社員の臨時賞與にのみ關係あると思はれない。思想的方面の動きもあるに相違ないから各方面と連絡をとつて極力檢擧せよ

と嚴重な命令があつたので愈々捜査活動を開始し内偵中、松田豐が一昨年不穩文書を配布し當時滿鐵會社を解傭されんとしたが、職員にして反省を促さうと云ふ同情により職員に採擢され、社員會の評議員にまで推されたが却つて反滿鐵幹部の言動あつた事を探知し滿鐵と協力し第一容疑者として前記不穩宣傳ビラ配布の直前直後に於ける行動につき系統的調査を進めた結果、偶々同僚の北大山通り黎明寮内田中輝男の許に宿泊した事判明更に田中の身許を調べた處同人は左傾急進派と認めらるべき容疑の點あるので家宅捜査を行つた處「滿鐵現業員に與ふ」の不穩ビラ三枚およびまだ配布されなかつたパンフレット一册その他左系書籍多數を發見したので證據品として押收の上、田中を同行嚴重取調べた處、最初は種々抗辯し頑強に否認してゐたが、遂に包み切れず右眞犯人である事は勿論、ビラ、パンフレットはガリ板により旅順工大生が印刷し倘營口にも連累者のある事を自白したので、茲に大連、旅順、營口各署が相呼應して疾風迅雷的の大捜査となりその結果として旅順では工科大學生間に學生聯盟が組織されてゐる事判明、一味を一網打盡に逮捕し一先づ出版物違反で檢察局へ送る一方、學生聯盟などの秘密結社まで組織されてゐる以上は治安維持法違反としての嫌疑も充分なるより極秘裡に査察中偶々留置中の田中が放還される支那人窃盜犯人に依賴し納富男に送らんとした密書が手に入つたので檢査した處、書面中に「ケルン」の文字あるを發見、いよいよ共產黨秘密結社に相違ないと睨み納富を取調べた處最初の程は極力否認してゐたが、遂ひに良心の苛責に堪へ兼ね前非を悔ひて共產黨組織の陰謀を逐一自白するに至り、更に田中および一味を取調べた結果事件の輪廓明瞭となり内容一切が判明するに至つて共產黨事件となつたのである

前途ある學生の參加は返すがへすも遺憾

善導の意味で相當處罰は已むを得ぬ 大連警察署長 高山勝司氏談

本事件は滿洲初めての事件で其中にまだ前途ある學生の加はつてゐることは返すがへすも殘念である。工大生等も最初は研究を主として會合してゐたらしいが段々深みに陷ち行くので當局でも再三解散を命じた爲め裏面は解散したかの如くであつたが

裏面に 於ては社會科學研究會として依然存續してゐたのであつた、最初檢擧された一味も極力工大生の加盟を否認してゐたが本件の首魁とも目すべき田中が檢擧され普蘭店の親戚を家宅捜査した結果工大生に關係ある事判明、一網打盡にされたもので、一味の綱要は國體變革とか私有財產制度の否認と云ふ事までは進んでゐなかつたらしいが、社會の公有物を勞働階級の占有にするといふ位は考へてゐたらしい、今や全世界を風靡してゐる泰西思想殊にマルクス主義にかぶれ之を

不消化 のまゝ鵜のみにし資本家を呪つてゐた事は事實で一種の流行に煽動された社會病とも云ふべきか、思想の研究は必要な事であり、また一面結構な事であるが、一種の理想論とも云ふべきマルクス主義を消化せずその儘崇拜して物質萬能に走り日本古來の精神的美德を破壞し社會組織を禍する者は國家建設を危くするものであるから法の許す限り彼等を善導する意味に於て相當處罰するのは已むを得ない處であらう

思想方面に充分注意

安岡檢察官長談

高等法院檢察官長安岡靜四郎氏は語る

今回の事件に就ては意見も感想も持つてはゐます、だが事件が事件で關東廳や滿鐵に密接なる關係があることだし話しをすれば結局その方面のことにまで及ばなければ意味がないかと云つて月並の話は言つても無駄ですから此際私は一切話は控へたいと思ひますが、時勢その他の關係で滿洲も近時餘程思想が惡化したやうにも思ひますが、今度は主務省でも特に思想的方面に注意して全國にその機關を置くこととなり、滿洲にも判官、檢察官書記各一名宛を加へて之に當ることになりましたから將來は此種の犯罪に就ては特に注意もするし忌憚なくやることになるでせう

密議を凝した旅順の高田洋服店

同店は廣瀨、大田、田中、佐藤、出口等が共同で下宿してゐたところで寫眞左端の開いた窓の部屋が密議した處、中央の開いた窓の部屋が不穩文書が山積してあつたところ

世間や父兄に申譯ない

井上工大學長談

感想とか意見とかそんな段ではありません、全く申譯なくて恐縮してゐます、どんな動機から又どんな考へでこんなことを仕出かしたのかハッキリしたことは檢察局の方で調べがついてゐるだらうと思ひますが、學校では豫て私も又學生監や教官諸君も充分氣を付けてゐたし怪やしい學生には忠告もしてゐましたが不德の致すところ此樣なことになつてしまつて全く父兄にも社會にも相濟まず面目ありません世間には色々同情して慰めてくれる人もありますが私は決してさうとは思ひません、教官が徹底しないのだまだまだ德が足らないのだと只管左樣信じてゐます、關係した八人の學生は既に放校、退校等夫々處分しました又今後は二度と此樣なことがあらうとは思ひませぬが充分注意して訓育に當るつもりです

方面に重きを置きたいものである、本事件は内地の無產運動と聯絡がとれてゐなかつたがもう一歩進めば連絡を取り得る處まで進んでゐた、ソレを未然に檢擧し得たのは何よりも幸ひであつた

犯罪の動機

待遇改善を考慮せよ 長島豫審判官の談

約半歳に亘り峻烈な取調を爲して愈々十九日その終結を見た長島豫審判官は語る

本件は大正十五年の冬頃よりその機運があつた、偶々同年夏工大の科學研究會を牛耳つてゐる廣瀨が夏季休暇のため歸省の途列車内に於て營口研究會の中心となつてゐる松田と懇意になつたのがケルン協議會と云ふ秘密結社を組織する動機となり滿鐵の臨賞問題に遭遇しパンフレット並に宣傳ビラを配布するに至つたので、彼等は自己の境遇よりマルキシズムに共鳴し之を直譯して日本の國情に當て嵌めやうとした、だから人の上に立つブルヂョア階級は好く下級勞働者の待遇改善等と云ふ點を充分見てやらねばならないと思ふ

無產大衆の尊き犧牲

田畑思想係主任談

泰西思想が澎湃として浸潤し内地では幾多の思想的犯罪を出してゐるが、滿洲では曾て斯る邦人の思想犯罪を出さなかつた、之れは要するに内地に比較し高等遊民が少なかつたのと富の程度が個人的にも向上してゐた關係であつた、取調べに際し彼等は飽くまで否認し居たもので田中の手紙により始めてケルン協議會の組織されてゐる事發覺したのであるが、それでも彼等は私有財產制度の否認に就ては自白したが國體の變革に就いては斷片的にしか自白しなかつた、彼等は研究より組織に移り漸く活動しかけた眞際であつた爲め未だ勞農露國の第三インターナショナルとも何等關係を結んでゐない模樣であるが、要するに彼等の檢擧は無產大衆の尊き犧牲と云つても過言でなからう

内地と聯絡前に檢擧せるは幸ひ

池内檢察官の感想

檢察局池内檢察官は語る

滿洲の日本人には内地の無產者の如く最下級の者が極く少なく勞働者と云つても寧ろ内地の中產階級と認めて好い位であるから從つて斯う云ふ危險思想が滿洲の勞働階級に根差して來る事は從來の事情に鑑みて考へられない狀況にあつた、其處で我々の感想は若し滿洲に共產運動が起るとするなれば寧ろ純眞なる學生層に侵入して來るだらうと豫想してゐた處果して旅順工大學生の社會科學研究會が中心となり積極的行動が開始され偶々滿鐵の傭員階級者中の不平分子が社會思想的の研究をなしてゐた者と結びついて事件を起したのであるが將來の問題としても考へねばならぬ事は純眞な學生のさう云つた方面に進む事を阻止する事が出來るならば極力此

「冷靜に世界の現實を見よ」

社員會幹事長 保々隆矣氏談

今回の事件に對する私の感想は既に幹事長就任の際の挨拶に述べた如くであつて今更改めて所感は無いが今日の滔々たる無批判的なマルクス青年、共產主義信仰の學生者流に對しては「冷靜に世界の現實を見よ」と云ひたい今日人文開けたる世界何處の國を例にとるも今日の日本の如くマルキシズムの

盲信的 流行を爲せる國はない、歐洲の獨、伊、英、佛の各國何れも過去に於て多少その影響を受けたものもあるが其の現在は如何であるか？騷いでゐるのは露國のみであつてアメリカの如き勞資共に協調して空前の產業の繁榮と發展を平和に樂んでゐるではないか、マルキシズムとは一國を擧げて資本家を貧乏ならしめ勞働者を苦しめる以外の何ものでもない日本の學生は全く盲信的にレーニン、ブハーリンの理論に心醉し徒々悲しむべき

邪路に 陷る者があるがアメリカの或る經濟學者が云つた如くマルキシズムの根本的前提たる搾取説そのものが今日では全然誤つた理論であることが證明された人類社會の眞の福利とその發展は上述の如き誤れる搾取説に立脚して同胞相食み相鬪ふことにより獲らさるものに非ずして勞資各人の眞の協調共働によつてのみ達成されるものと信ずる、これは吾人が現實の事實を直視すれば瞭かなことであつて一國の生產力旺盛で貿易のバランスが

順調に とれてゐる樣な所では決してマルキシズムは流行しない、流行する餘地がないのである、今回の事件に連坐した青年の中には頭腦優秀の者もあると聞くが、私は何故彼等が今一歩進んで冷靜に現實を視て行動しなかつたか、然らば彼等は國家社會の有用の材であり得たであらう事に想到して實に痛惜の念に堪へない、社員會は今後も上下級社員間の意思の疏通と遺憾なき融和を圖ることに益々

努力す るが之を勞資の對立機關化するが如きことはその存立の使命に反するものとして斷乎として絶對的に排しなければならない

ツエ伯號霞ケ浦着 けふ午後五時ごろ

太平洋岸の東コースを飛んで 東京、横濱を訪問

【東京特電十九日發】十九日午前七時三十分ツエ伯號より遞信大臣宛左の無電があつた

志留久遠、内浦灣間に掛け北海道横斷を許可され度し

右に對し當局は許可の旨發信した、これがためツエ伯號は東コースをとり北海道函館の北部岩内附近に寄り内浦灣に出で太平洋に出づることゝなつた、而も津輕海峽は通過禁止されてゐるので附近の要塞地帶を迂回し青森縣灣に出でそれより金華山沖合を通過し宮城縣を經て漸次に南下し霞ケ浦に出づるものと觀られる、このコースは日本海を經由するコースよりは長距離である、その結果同號は午後四時ごろ東京横濱を訪問したるうへ同五時ごろ霞ケ浦飛行場に到着する豫定である

早くも午後二時 中村町沖を通過

【札幌十九日發電】ツエ伯號は十九日午前三時三十分稚内上空を通過し五時二十五分天寶塩尻の西方沖合を通過したが、午前十一時半には早くも概法華、岩手縣久慈町宮古灣沖合七哩の所を通過し、午後一時三十分宮城縣石之卷沖を通過した

【仙臺特電十九日發】ツエ伯號は本日午後二時福島縣中村町沖合を通過した

萬般の準備全く整ひ たゞ着陸を待つ

夜明前から見物霞ケ浦に押寄す

【霞ケ浦十九日發電】愈々ツエッペリン伯號到着の日は來た航程六千二百哩九十餘時間を翔破して霞ケ浦に着くのである霞ケ浦飛行場八十萬坪の青草は前夜の雨に洗はれて清々しく輝き大空には薄雲が浮んでゐる、土浦より飛行場に到る一里半の街道は夜明け前から自動車の大競走である、飛行場へ押し寄せて來る人波は物凄いばかりだ、連日徹宵奮鬪に目を眞赤にした航空隊の枝原司令以下はツエッペリン伯號からの情報を待ちつゝ空を見詰めてゐる、心配してゐた雨も八時頃には霽れ絶好のコンデイションである、飛行場には戰鬪飛行に向ふ十三年式艦上偵察機四臺機首を列べて命令の下るを待つてゐる傍らに民間機六機も既に準備を整へてゐる、ツエッペリン伯號の着陸作業に從ふ四百五十名の隊員も午前九時には作業服甲斐々々しく準備を整へて居り何時ツエッペリン伯號が翔來しても差し閊へなき萬端の手筈が完了してゐる

安東、大連間走破の福安氏（中央）ゆふべ滿鐵本社前で

鹵簿の先驅前を巡査部長横切る

【東京十九日發電】十八日聖上陛下三崎行幸の先驅前を横切つた不敬漢は神奈川警察部勤務巡査部長廣瀨兵太郎（三）と判明し同時に責任者たる今井警衛部長を始め横山警察部長山縣神奈川縣知事は恐懼し進退伺を提出した

罹病兵けふ送還

十七日來大連衛戍分院に收容中の七日分滿洲天津部隊内地還送患者三十八名は十九日出帆香港丸で宇品陸軍運輸部西村一等軍醫に引率されて廣島衛戍病院に向け出發した、患者は主として肋膜炎であるが肺結核は相變らず六名の多きに達してゐる

鮒掬ひの小兒溺死

市内沙河口元町二二三番地中村敬雪長男昂一（八）は十七日午前八時ごろ近所の畔上春喜（十）木内隆幸（七）等友達と打連れ水源地プールへ鮒掬ひに行つたが誤つて落ち込み子供等の泣き叫ぶ聲に監視員が馳け着け抱き上げた時は既に遲く人工呼吸を施したが遂に及ばず蘇生しなかつた

邦人店員が支人娼妓と心中

小崗子の貸座敷で

十七日の宵、小崗子遊廓で相變の日支人の情死未遂があつた、原籍和歌山縣那賀郡根來村當時市内西通り某醬油店員東島正夫（二三）假名は十六歳の時來連前記店に雇はれ支那人と交際する中

支那語に 堪能となり始終趙福榮と名乘つて居たが本年三月頃より西崗街四十一貸座敷一〇九號娼妓王夫廣（一九）假名と馴染みお定まりの金に窮し六十圓許りの未拂金が出來屢々會へぬを悲觀し、一方女も出東から賣られ寄邊無き身とて男に同情し十七日午後九時半男は阿片三十錢許り買求め兩人で嚥下し女が間も無く苦悶せるを樓主が發見博愛病院にて手當を加へ助けられ男は直ちに自動車に乘り歸店して

苦悶し始 めたるを解毒劑によつて無事なるを得た、主人は永年實直に勤めた男に同情し借金を返してやり十九日の香港丸にて歸國させた

家庭や學校でも 思想惡化傾嚮に心せよ

大場關東廳高等警察課長語る

初めて今回の事件を摘發したる大場關東廳高等警察課長は語る

滿洲には從來支那人の共產運動は時々あつたが日本人がやつたのは今度が初めてでした、滿鐵關係者は生活の不平から學生は例の一本調子の研究と若氣が遂にかうした結果を生ませたのだと思ふが共に許すべからざることです、併しこんなことであたら前途有爲の學徒や青年を失ふことは誠に遺憾の至りです、學校でも充分警戒はしてゐたらしいのですが一度首を

突込む と仲々ぬけ切らぬのでせう、昨春の京大事件の折などは一部學生間には學究の壓迫などと官憲を惡む傾向もあつた樣でしたが、その後は數度の檢擧や内容が判明すると共にそんな考へも薄らぎ學生間は又一般社會でもこの樣なことは嫌はれてゐる樣です、滿洲は近年失業者が多くなり生活苦の襲來と共に破廉恥罪が多くなり思想も非常に惡化しつゝある樣だから家庭でも學校でも充分注意して貰ひたい

檢便中止

青島からの入港船に限り

般に大連上海定期船大連丸からコレラ患者を出して以來青島港をコレラの潛在地と認め、之が豫防のため取敢ず同港より入港の船員船客の糞便檢査實施中のところ成績良好のうへ、關係方面の調査の結果青島を流行地と認め難き狀態にあるをもつて本日より青島よりの入港船舶に限り檢便を中止する事となつた、倘海水使用に對しては目下衛生課と交渉中だといふから一兩日中に解禁となるだらうと

電話寄附開通申請受付

一、受付期間 八月二十一日より八月三十日迄

一、寄附開通料 一口金三百三十圓（老虎灘及星ケ浦は金四百三十圓）とし申請の際金二百圓を豫納し殘額は當局指定の期限内に納付すること

一、制限 申請者多數あるときは抽籤若は審査に依り受理不受理を決定す尚受理決定のものと雖も不實の申請を爲し審査を誤らしめたるものは受理を取消すことあるべし

一、詳細は當局に就て承合せらるゝこと

昭和四年八月

大連中央電話局
同 沙河口分局

會葬御禮 長谷川健一

荊妻たけ子儀病氣療養中の處藥石効なく十八日午後三時三十分死去致候に付此段謹告候也
追て來る二十日午後一時自宅に於て告別式相營み申候
昭和四年八月十九日
普蘭店
夫 尾股忠助
親戚總代 尾股平左衛門
笠原武雄
友人總代 鹽澤角兵衛
米内山震作

平安異香(85)

葉多默太郎作　一彌畫

獄中記(八)

その翌日—。

そして、いやに蒸し蒸ししたこの日に黄昏が來て、ポツツリ雨催ひの空から一滴—。膚なめらかな百日紅の幹を、傳つておりる蛇がある。

「どうやら雨になりさうだ。手取早く廻つて來やうか」

牢番小屋を出したのは、この地獄といはれた山牢にはうつてつけの鬼のやうな牢番人だつた。

名をがまとよぶ。が、これも人らしい名があつたのであらうが、何分六尺有餘の巨軀に、蟇そつくりな醜怪な首がのつかつてゐるので、人呼んでこれをがまといふ。本人も呼び慣らされてその氣でゐる—といふ男。

それがお秀の牢の前に來て、

「こう、女亡者よ、餌を持つて來たぞ。さあ食ひやがれ」

云つて素焼きの皿に盛つた黍團子をつきつけた。と、

「御苦勞さま」

常ならさう云つて起きて來る筈の女囚お秀が、今日はどうしたのか起きて來ない。

「こう、女亡者よ、早くしねエかこつちは氣の短けエがま樣だ」

「あい……」

お秀は返事をしたやうだ。が、すぐ、

「ウ……」

といふ苦さうな呻きが、がまの耳に入つた。

がまは格子へ首を突込んで、薄暗がりの牢内を覗いた。

「なんだ、手前は病氣かい。腹でも痛むのか。テヘ……亡者につく病神てなア聞き始めだ。ぢや食ひ物どころぢやあるめエ、こいつはいらねえな」

云つてがまが格子を離れやうとすると、

「あ、待つて下さい。待つて…」

弱々しい聲が呼止める。

「なんだ。どうするんだ」

「お腹がすいて堪らない。どうか頂かして下さいまし」

「テヘ、病氣は病氣腹は腹つてやつか。食ひしんぼうの亡者だな—ぢや、やるから早く取りに來やがれ」

「それが—いきたいのですけれど動けない—あ、つゝゝゝ」

「ぢや、そこまで持つて來いといやがるのか」

「まことに申兼ねましたが—あつゝゝゝ」

「しようがねえ、持つてつてやらう」

腰にぶら下げた鍵で錠を脱し、閂をとつてのこのこ入つて行く

がまの馬鹿、お秀の病が僞だとは金輪際知りつこなし。

「なんのかのと手間暇をとらせる奴だ。ぢやここへ置いとくぜ」

がまは皿をお秀の枕の所に置いて立ちかゝる。と、その手頸に、汗ばんだのが喰付いたので、

「なにをしやがる!」

口では怒鳴りながら、腋下をくすぐられたやうな顏をして立止まつたが、置物にもならない顏をつき出して、

「變な眞似をしやがる女だ。どうしてくれいといやがるんだ」

「こゝを、こゝを、あつゝゝゝ」

白い女の顏を覗きこむと、がまの手を引張つて懷中へ入れるので、

「なんだ、腹を押へてくれといやがるのか。馬鹿にしてやがる」

云ひながらも、

「こゝか、こゝか」

は笑はせる。

その時、闇に塗りつぶされた牢の奧から、息を殺して、じつと步み寄つたのは春光だ。

首ほどの水甕を、兩手に掴んで振上げてゐる。

がまはお秀の懷中に手を突込んで夢中だ。

グツと春光の手に力が入る—と見る間に、グワン!と一擊、甕は骨灰—。

がまは、目まひがしたやうに、フラフラとなつた。が、固い頭にこたえが鈍いか、

「な、なにをしやがる」

すぐ立直つて振返つた。

映畫と演藝

滿鐵音樂會マンドリン部の演奏大會

滿鐵音樂會マンドリン部に於ては明二十日午後七時半より協和會館に於てマンドリン演奏會を催すが年々すばらしい進歩を見せて居る同部が、さらに新部員を加へての活躍ぶりは注目す可き物があるであらう、指揮者は阪野金右衛門氏で、アルト獨唱は上利すえ子孃、マンドリン獨奏は伊藤十五郎氏である。

演奏曲目

第一部

1、序樂「サンジュスト」ヒッテリ
2(イ)鳩のミヌエット、ハイドン
(ロ)ギリシヤの唄、ラウダス
(ハ)惡魔の歌、サルトリー
3、アルト獨唱(四重奏伴奏)
(イ)海の唄、ダンデイー
(ロ)四ツ葉のクロバ、ロイテル

第二部

4、海の組曲、アマデイ
5、月輝く夜、サルベツテイ
6、カイローの想出、マネンテ
7、マンドリン獨奏「第二前奏曲」カラーチユ
8、八大幻想曲「支那」伊藤十五郎

操太夫の來連 本日から稽古

昨年來連して當地常盤津同好者のために稽古をなしヤマトホテルに於て演奏會を催し大連常盤津界のために貢獻するところがあつた常盤津操太夫は豫て噂された如く夫人を伴ひ十八日再び來連し今十九日より藤田洋行樓上に於て同好者のために稽古を開始した

獨逸發聲映畫 大連に上映

フオツクス社のムーヴイートーンに皮切りをした大連映畫界のトーキー熱はマキノキネマの「戻橋」が次で上映され愈よ今秋は發聲映畫が出現すると觀られてゐたが、豫て上映が傳へられてゐたドイツのヴアイターフオントーキー「サーカスの女王」八卷が市内三河町の露人映畫配給者アラケロフ氏の手によつて九月早々輸入されることになつた、同映畫の詳細な事は未だ不明であるが今夏七月上海のオデオンに於て封切され一ケ月間の長期興行をなし好評を博した最初の獨逸發聲映畫で最近日本にも輸入され秋のシーズンに封切されるらしく大連は上海との關係上東京に先立つて封切される豫定で映畫界の注目を惹いてゐる

闇後日譚

阪妻プロダクシヨン特作品で先般好評を博した「闇」の後日物語で愛妻を失なつて惱み續けて居る大堂寺小源太(阪妻)となき妻に生きうつしの水茶屋の娘お鈴(森靜子)とをめぐる物語で原作、脚色及び監督は犬塚稔、撮影は吉田英男、十九日より帝國館で上映(寫眞は妻三郎の大堂寺小源太)

滿洲日報

木下尚江著

火の柱・火宅

四六判 四四〇頁 定價壹圓五拾錢 送料十四錢

先に發賣した『良人の自白』及び『靈か肉か』は、その卓絶せる價値を認められ、讀書界の壓倒的好評を獲得するを得た。今玆に、『火の柱』及び『火宅』を世に送る。此二つの小說は、木下尚江氏の特色を最も濃厚に示したもの。共に、著者の熱烈火の如き理想と社會愛を描いたものである。石川三四郎氏は本書の卷頭でかう云つてゐる。『今日は、單に日本ばかりでなく、世界に於ける社會思想、社會運動が一大回轉を行つて、總てが新しい方向に步を進めようとしてゐる時だ。此時に當つて、此の道の第一人者であつた老兄の前半全集を世に送り出すことは、今日の青年に稀有の良き道案内を提供するものと思つてゐる。』數多き木下氏の著作中に於て本書は、此言葉を最もよく裏書するものと信ずる。

木下尚江著

良人の自白(上下二冊) 價(各)一・五〇 送料(各)・一四

靈か肉か 價一・五〇 送料・一四

春秋文庫

一冊五拾錢

▼『輓近の心理學』及『宇宙の謎』に限り定價壹圓

◇三五判總クロース

◇送料 一冊八錢

■上野松峰著 西人の白 原

■ヘッケル著 内山賢次譯 宇宙の謎 定價壹圓

新刊の二著は共に夏の最もよき讀物として薦む

◇既刊◇

▼永井潜著 科學的生命觀

▼出井盛之著 經濟學說史

▼久保良英著 輓近の心理學(壹圓)

▼阿部重孝著 教育學

▼入澤宗壽著 教育史

▼高野辰之著 民謠童謠論

▼美濃部達吉著 選擧法概說

▼宮島新三郎著 文藝批評史

▼住谷悦治著 社會主義經濟思想史

▼瀧本誠一著 日本經濟學史

▼深作安文著 倫理學概說

▼荻原井泉水著 俳句趣味論

▼五來欣造著 政治哲學

▼賀川豐彥著 宗教教育の本質

▼ギッシング ライクロフトの手記(藤野譯)

▼デ・クエンシイ 阿片溺愛者の告白(辻潤譯)

内田魯庵氏三大名著

眞にこれ空前絶後の隨筆集也!!

思ひ出す人々

別名を『四十年間の文明の一瞥』と云ふ。明治大正の、文壇・藝苑・思想界の偉人・奇人・變物等の眞面目を、併せてその時代々々の空氣を、流麗の筆に再現す。最も興味ある人物の評傳であると共に、他面最も眞正な文明の批判である。永久に忘れ難い時代・明治大正の最もよき記念塔と云へよう。目次は次の通りである。▼四十年前――新文藝の曙光▼美妙齋美妙▼硯友社の勃興と道程▼齋藤緑雨▼『杏の落ちる音』の主人公▼淡島椿岳▼鷗外博士の追憶▼最後の大杉▼三十年前の島田沼南▼二葉亭の一生▼二葉亭餘談▼二葉亭追憶。

貘の舌

該博の識、犀利の見、魯庵氏の隨筆は、わが文壇に至寶として珍重せられたるもの。著者逝いて、これ等の作品は一層の光輝を放つ。その主要なる目次を示せば――▼バクダン▼醫者と藥▼葬式▼クリスマス▼惡魔拂ひ▼學者文人の歲晚▼正月改書▼元日▼年頭業書▼骨牌▼床の間廢止案▼新書▼寶物▼新聞の訪問記事▼新聞記事のTopsy—turvy▼英國衰亡論▼璽▼兵役拒絶の宗教▼危險思想の發生地▼革命と文人▼素人寫眞▼早取寫眞▼撮影難▼廣告▼手紙▼書踏▼火事▼家▼建築的キューリオ▲化物屋敷▼怪談▼他に插繪十四葉

バクダン

共に興味津々たる『貘の舌』及び『貘の耳垢』より成る。前者に於ては、主として文明批評を、後者に於ては、主として文學小話を取扱つてゐる。その目次の一端を示せば――▼ポスター官傳▲納札の過去現在未來▼蒐集家▼郵便切手と玩具▼世界的蒐集▲野蠻人の藝術▼埋れたる天才▼三百年前の日本人虐殺▼キシーネフの虐殺▼切支丹迫害▼リンチ▼猫▼キップリングの處女作の初版▼ゴリキーの一人舞台▼トルストイ村▼露西亞文學の特徴▼近代の鬼才ノルダウ▼伊東と伊藤の混同▼英人の著はした幸德秋水傳▼其他數十項收錄。

◆定價

〔思ひ出す人々〕 貳圓八拾錢・送料十八錢・四六判四五〇頁・布製

〔バクダン〕 貳圓・送料十二錢・菊半截四五七頁・布製

〔貘の舌〕 壹圓貳拾錢・送料十錢・菊半截二五三頁・上製

目錄進呈 東京麴町内山下町 振替東京二四八六一 電話銀座五六五二・五六五三 春秋社

外交時報

(毎月二回) 八月中旬號 (定價五十錢 郵送料二錢)

ヤング案贊成 卷頭言

コミンテルン政策 今井時郎

『人民の名』と日本 永井亨

軍縮の基調と日本 坂本俊篤

露支紛爭と日本 松原一雄

露支關係と列國 坂本義孝

日露支と故後藤伯 布施勝治

露國宣傳の眞相 林暢夫

對支新指導精神 神田正雄

英米の對支進出 村田孜郎

閻閥財閥の南京 柏田忠一

國民黨々部なるもの 澤村幸夫

佛國政變の意義 町田梓樓

西班牙世界的地位 太田爲吉

列國對外產業政策 大山卯次郎

新幣原外交の批判 長野朗

稻原勝治著 外交讀本 金四圓五十錢

米田博士 最近 世界の外交 金五圓五十錢

東京麴町中六番町 外交時報社 振替東京五一八六八番

小學校の先生になれ

生活が樂で社會から尊敬せられる

▽小學校の先生は近頃では大學出の會社員などよりも世間から歡迎されます。しかも教員拂底で毎年二回位づゝ募集されてゐる。

▽それで居て、小學校の先生になるには「男女誰でも、學校出でない人」でもよろしいのです。

▽但し、試驗があるのです。試驗に通るには、本會發行の「師範講座」で一日十分づゝ勉强して居れば必ず間違ひありません。

▽夫れに本會は東京市藤井教育局長が會長をなさつて居られます。

(ハガキで申込めば手續一切を書いた本を無代進呈す)

東京市神田區西小川町一ノ一九 振替東京七五五 電話神田〇二三四五・四六九一

小學教員養成會

内科 小兒科 入院應需

大連市吉野町三越横 桐原医院 電話四二九一

秋の料理

九月號 初秋食養

▲農村の食物に就て 吾家の料理 ▲大阪大百貨店食堂巡禮 お國自慢冷料理 ▲初秋の野菜で一品洋食 月見のお惣菜

▲新築祝内宴 名月粋酒肴

▲七回忌精進料理 ▲祖母の法事に 客膳獻立 ▲結婚記念日に友人と晚餐 一人前十錢で夕食 ▲お惣菜向き牛豚肉料理 五十人前の茶菓 ▲學校の子女を送る母心 ▲月夜のドライブにお辨當 一婦人會で立食の御馳走

▲初秋獻立二十例 誌上料理講習會 ▲そぼろ丼、信田丼、東丼 ▲幼兒向衛生料理 衛生腸チフス回復期食餌 ▲思ひ付きなお彼岸の配物 亡き人の好物でお彼岸に

▲秋の果王林檎 ▲素人に出來るカステーラ 天然絹と人絹 ▲奈良漬味噌漬等の漬込法 天ぷらを上手に作る祕訣 ▲衛生食卓エプロンの拵へ方 お料理の時間表

▲魚肉フレイ ▲手製のワイシャツ 母性愛と子の務 ▲マッシュルームの其調理法 腸チフスの食餌 ▲甘藷甘藷玉蜀黍の榮養價 九星より觀た九月運勢 ▲おくびょうもの(童話) 秋蒔き野菜の作り方 ▲長篇小說 戀愛行進曲 中村武羅夫 靑物諸譜(九)

五十錢(郵券切手一割増)送金は六ヶ月分前(料理の友社) 見本は送本す 集金は… 東京 振替東京四三九一 四二八一

餅は……餅屋へ

煖房衛生工事の御用命は

大連市監部通一〇九番地 (高) 高石商會 電話三五〇二番へ

贈進物品問屋

大連市浪速町通り磐城町見附

藤井卯商店進物部 電話五八七四番

御使ひ物に 結納儀式用品調進 實用品豊富 誰方にも喜ばれる

大連市伊勢町岩代町角 電話六四一〇番 三根眼科醫院

小兒の腸疾患に

ビオフェルミン

小兒病中最も多く小兒を惱まし、且つ容易に危地に導く小兒腸疾患の大多數は、有害細菌の作用によるものであります。

故に有害細菌の蕃殖を防止し、然も消化を增進する **ビオフェルミン** は、小兒腸疾患の好適藥劑であります。

乳兒綠便、消化不良粘液便、夏季下痢の治療と豫防に、**ビオフェルミン** は極めて確實に奏效します。加之、絶對に無害安全で、下痢の初期に大量を用ひて速かなる効果を期することが出來ます。

尙ほ本劑は佳味で小兒は喜んで服用します。

【錠劑と粉末あり】

發賣元 株式會社 武田長兵衛商店 大阪市道修町

製造元 株式會社 神戸衛生實驗所 神戸市二宮町

知名藥店にあり。

奉天派の誤解を解き 對露策の一致を圖る
蔣氏代表何氏十八日急遽赴奉

【奉天特電十九日發】蔣介石氏の命令により急遽來奉の途についた何成濬氏は十八日午後四時三十分瀋陽驛着列車で來奉した、驛頭には張學良長官を始め各幹部の出迎へあり直に城內に入り邊業銀行に投宿したが、何氏今次の要件は邊業銀行問題といふが實際の要件は對露問題に關する奉國間の疎隔を緩和するにあるらしく蔣介石氏は張學良氏の對國民政府態度を慮りて對露策一致を學良氏に勸め尙學良氏の誤解を解くにあるものと見らる

國民政府の方針に基き 對露交渉せよと通告す

【奉天特電十九日發】東鐵問題を中心に奉天國民政府間の暗流は漸次惡化してゐる如くであるが、最近國民政府外交部は高飛車的に張學良氏に對して今後の東鐵問題は國民政府の方針に基き交渉する旨を正式に通告して來たと

露軍達來諾爾攻擊 支那軍出動し之に應戰

【滿洲里十八日發電】勞農軍は露支斷交記念日たる十八日を期し達來諾爾總攻擊の態度に出で支那軍は之に應戰しつゝあり、十八日午後九時より砲聲殷々として聞え各商店は悉く閉店し市街は人馬の往來なく十時に至り大砲機關銃の音愈よ熾烈となり市民は極度の不安に襲はれ支那軍は當地より急遽同方面に出動した

露軍國境を侵さば 支那は斷然逆襲
支那軍事會議で決定

【滿洲里十八日發電】ロシア軍は十六日の達來諾爾方面に於ける戰鬪以來、支那軍攻擊の手を緩めず斷續的に砲擊を續けつゝあるが、支那側は威信保持のため興安嶺以西に奉天軍二個師を增派し、ロシア軍との交戰をも辭せぬ態度を示し戰機再び濃厚となり、奉天軍三百は右增援隊も先發として十八日午後一時三十分到着第一線へ向つた、なほ國民政府代表周龍光氏は總司令に對し張學良、蔣介石氏の命令を傳達し戰線を視察の上十八日午後一時三十分ハイラルへ向つたが、今朝の軍事會議でロシア軍が挑戰的態度に出で國境を侵す時は斷然逆襲し支那軍の威信を保つべしと云ふに決した

貨車に爆彈を投ず

【ハルビン十八日發電】赤色テロリストは今曉二時十五分ハルビン一の南方三キロの地點で長春行貨物列車に爆彈を投じ監守二名負傷一名即死した、最近鐵道事故頻々たりかつ犯人逮捕されざるため支那側は自警團を組織警戒する事となつた

滿洲共產黨事件は 治安維持法違反
豫審決定書に示された適用法規

法律に照すに被告人廣瀨進の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）に第三は同法第一條第二項（結社組織）に各該當し右は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく第二は治安維持法第一條第一項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）に第五は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るゝを以て重き治安維持法第一條第二項後段所定の刑に從ふべく尙ほ第二（治安維持法第一條第一項後段）の所爲第五（治安維持法第一條第二項後段）の所爲は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく以上結社組織（第一事實第三事實）の行爲と結社の目的遂行の爲めにする行爲（第二事實第五事實）とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人大田二郎の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）第三は同法第一條第二項（結社組織）に各該當し右は連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく第二は治安維持法第一條第一項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）に第六は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條及び刑法第六十二條第一項に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るゝを以て重き治安維持法第一條第二項後段所定の刑に從ふべく尙ほ第二（治安維持法第一條第一項後段）の所爲と第五（治安維持法第一條第二項後段）の所爲とは連續犯なりと認むるを以て刑法第五十五條第十條に依り一罪とすべく以上結社組織（第一事實第三事實）の行爲と結社の目的遂行の爲めにする行爲（第二事實第五事實）とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人田中貞美同出口重治の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）第二は同法第一條第一項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）に第六は同法第一條第二項後段結社の目的遂行の爲めにする行爲並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條及び刑法第六十二條第一項に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸ると認め重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲にする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人櫻井圭二同八幡政彥の所爲中第一は治安維持法第一條第一項（結社組織）第二は同法第一條第一項後段（結社目的遂行の爲めにする行爲）に該當し右結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲めにする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て刑法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告秀島嘉雄の所爲は治安維持法第二條に該當すべく被告人松田剛、同田中輝男、同矢部猛雄、同小林周三の所爲中第三は治安維持法第一條第二項（結社組織）に第五は同法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るを以て重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社組織の行爲と結社の目的遂行の爲にする行爲とは牽連犯なりと認むるを以て同法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人畝川滿同松良一萬太同中島保住の所爲は治安維持法第一條第二項（結社組織）に該當すべく被告人阿部義照の所爲中第四は治安維持法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條及び刑法第六十二條第一項に該當し旁々刑法第五十四條第一項前段に觸るると認め重き治安維持法第一條第二項所定の刑に從ふべく以上結社加入と結社の目的遂行の爲めにする行爲とは牽連犯なるを以て刑法第五十四條第一項後段第十條を適用して處斷すべく被告人納富勇の所爲は關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條刑法第六十二條第一項に該當すべく被告人伊藤進止郎の所爲は治安維持法第一條第二項後段（結社の目的遂行の爲めにする行爲）並に關東廳令普通出版物取締規則第二條第六條第九條刑法第六十二條第一項第五十四條第一項前段第十條を適用して處斷すべきものにして何れも其犯罪の嫌疑あるを以て刑事訴訟法第三百十二條に則り又に被告人納富勇に對する治安維持法違反被告事件被告人畝川滿同中島保住に對する普通出版物取締規則違反被告事件及び被告人和知啓同細谷文男に對する被告事件は何れもその犯罪の嫌疑なきものと認めらるゝを以て同法第三百十三條後段に則り主文掲記の如く決定す

昭和四年八月十九日
關東廳地方法院
豫審判官　長島卯十郎

眞相を掴んだ時の 嬉しさは忘れぬ
泉警部當時の苦心を語る

滿洲共產黨事件捜査の第一線に立つて活動した前大連署高等主任泉警部は語る

本事件も最初の程は單なる出版物法違反ぐらゐで終了のじやないか、然れば泰山鳴動鼠一匹で世間より物笑ひを招く虞れあるに依り大いに杞憂したが、最善の努力を拂ひ精細取調べを進めた結果は遂に目的の眞相を掴み得た

捜査中 は署長始め刑事連まで寢食を忘れ眞に文字通りの徹宵活動を行つてゐるに拘らず被疑者達は固く口を緘し全然否認してその眞相を自白しないので淚の滾れるやうな情ない事もあつた、被疑者の何れもが有識階級であり、また性質が思想的犯罪であつたため相當の豫備知識も必要であり、下手に出て上げ足を取られたり反對に突つ込まれるやうでも取調べの進行上障害を來すので必要な

熟語も 研究の上心得てかゝらねばならなかつたからソレ丈けでも非常な苦心を要した譯だ、然しソレ許りでなく時には彼等の友達になつた氣分になつて一緒にお茶を呑んだり、うどんを喰つたりして機嫌をとり家庭に同情して淚を流したりして始めて彼等も一緒に泣き前非を後悔し眞相を話したものであつたがその時の嬉しさはまだ忘れる事が出來ない、之も署長の督勵宜しきを得たのと刑事連が眞劍になつて働いて呉れた賜と深く感謝してゐる次第である

滿洲共產黨事件檢擧挿話

大物檢擧 各署協力の賜
寺田水上署長談

事件の發端ともなつた不穩ビラを最初に發見した水上署高等係は何と云つても今次の事件に對しは殊勳を現したものであるが、右につき寺田署長は語る

事件はたしか十二月廿三日だつたと記憶する朝出勤して埠頭ビル內を步いてゐた際偶然あのビラを手に入れたものだが、一讀して甚だ不穩當な事柄が書かれて居たので早速高等係に命じて取調べを開始した、當署で沒收した文書は約九十通以上だつた樣だ、それで大連署等の大活動となり裏面に潛む大ものを捕へた事は何と云つても各署協力の賜に外ならないと思ふ

不肖の子を殺し 自分も死ぬ積り
佐藤の父大佐の憤り

佐藤一男の父は奉天兵工廠顧問を勤めてゐる砲兵大佐であるが、該事件に我子が旅順署へ留置されたと聞くや人目を忍んで同署を訪ひ帝國軍人の子にあるまじき行動をした不肖の子を刺し殺して私は自刄したいと迄思ひました、身も世もなく悲嘆の淚に暮れてゐる私の心中を察して下さいと熱淚をコボしてゐた

貧苦の母姉が 學資算段

田中貞美は幼にして父を失ひ母親の手で養育されたもので現に母親と實姉、實妹はハルビンにあり、貧しい暮しの中から貞美の學資を月々僅二十四、五圓送つてゐた

幼兒を抱へて 惱む新妻

この事件で大連署がまだ盛に捜査活動してゐる頃、同署高等係の薄暗い分室に留置中の夫へ面會に來て悲しさに淚にむせび物も言へず悄然歸つて行く新妻らしい婀娜な美人があつた、彼女は松良の妻であつた、松良は檢擧さるゝ一年前[illegible]

兄弟揃つて共產主義者

大田の兩親は天津にゐる、彼の實兄は[illegible]

家族九人が忽ち生活難

松田一家もまた受難の苦惱をなめさせられた、實母と妻子九人[illegible]この多勢な家族は松田一人の働きによつて糊口を凌いで來たが、松田が檢擧されるや[illegible]

支那軍は國境に 六萬を增派
駐米公使伍氏發表

【ワシントン十八日發電】駐米支那公使伍朝樞氏は支那政府が今回北滿露支國境に六萬の軍隊を增加配置を命令した旨本日當地で發表した、氏は其理由を述べて左の如く說明した

今回の軍隊配備命令は支那領土が露軍に依つて終始侵害されるので今後之を繰返へさぬやうにするため行はれたものである、勿論之は戰爭を意味するものではなく、支那は依然として和平的解決を切望してゐる

奉軍國境へ 積極的出動

【奉天特電十九日發】張學良氏は最近國境の兵備に對し積極的對策を採りつゝあるが、錦州駐屯の奉天軍第十二旅は昨日より國境に出動し又洮南駐屯の第二十旅に對しても出動命令を發した、尙奉天憲兵司令部に對しても出動命令を發した爲め、第四中隊及び第十三中隊は何れも十八日夜十時發打通線經由國境に向つた

實相を知り難い 謎のロシア
八ケ月間に亘り調查した 大藏公望男の講演

勞農ロシアは謎の國、表看板だけで樂屋裏は薩張り判らないとは同地視察者の嘆聲である、日本ばかりでなく世界各國の新聞雜誌のロシア評は事の大小に拘らず日々自國語に飜譯して居るのでウッカリ口を辷らして

惡口を吐 かうものなら直にブラックリストに載せられた上にどんな理由があつても入露を許さぬ首尾好く入國出來ても各機關の觀察調査がまた一ト骨で、モスクワにある文化協會の紹介が無ければ視察が出來ぬのみならず經濟調査を軍事探偵と同樣に取扱ふ程に勞農は秘密主義を保つて居る、公共機關、各組合等々凡ゆる方面に共產黨の錚々たる人物が御目付として頑張り耳の穴を露天掘の穴のやうに擴げて質問者と應答者の

一問一答 をも聞き漏らすまいと努めて居る、甚だしい時は速記者まで置いて問答を速記し本部に報告する、こんな具合であるから都合の惡い方面の眞相は喋れないからお茶を濁すので視察者は結局？？？で終るのは當然である斯うした勞農の實相を掴むべく前滿鐵理事大藏公望男がモスクワを訪問したのは一昨年の暮であつた幸にカラハン氏とは北京以來の知合であり、その斡旋で文化協會の紹介を得八ケ月間政治、經濟、文化凡ゆる方面に亘つて連日精力の續く限り詳細に調査研究を遂げそれより

中歐歐洲 を漫遊し今年の初めイタリーに出で例の下位春吉氏の案內で四月初めまでロシアに於けると同樣特に力を注いで視察しイギリス、米國を經て最近に於ける世界の新知識を收めて先月歸朝したので、滿鐵社員會修養部では男に乞ふて來る二十一日、二十二日の兩日午後三時二十分から共和會館に於て講演會を開くことゝなつた演題は

△二十一日「ソウエートロシアの實相」
△二十二日「ムツソリーニ治下の伊太利」

で男が蘊蓄を傾けて講演される新知識は聽衆に多大の感動を與へるべく一般の來聽を歡迎すると

臨海實驗所に 聖上陛下行幸
御用邸敷地を御檢分

【東京十八日發電】葉山御用邸に御駐輦中の天皇陛下には十八日三浦岬に御清遊あらせらるべく午前八時御用邸御發略式鹵簿にて油壺の帝大臨海實驗所に行幸、正午同所にて御晝餐を召され午後一時モーターボートにて初瀨新御料地に成らせられ御用邸敷地を御檢分再び實驗所に入らせられ午後四時四十八分御出門五時廿分御機嫌麗しく葉山に御還幸あそばされた、行幸の御途中午前八時半頃前驅が三崎街道を進行中突如一怪漢が約五町先を橫切り直ちに捕へられ三崎署に引致された又午前八時四十分實驗所に接せる地點に御召自動車の差掛る頃舉動不審の男を發見捕へられたが何れも故意のものではないらしく御召自動車は恙なく實驗所に入らせられた

輕鐵敷設
長春寬城子間 支那軍輸送用に

【長春十八日發電】吉林省當局が軍隊を北滿に出動せしむるにあたり我附屬地を通過せず寬城子驛に到達し得るため城內、寬城子間（邦里二里强）に道路を新設することになり本月初旬起工したことは既に報ぜられたが該道路は本月末を以て完成することになつたので同省では更に之に輕便鐵道を敷設すべく目下計劃中であると

周龍光氏 滿洲里到着

【滿洲里十八日發電】國民政府代表周龍光氏は副官二名奉天軍事代表三名を從へ十八日午前十時來滿支那軍司令部で對露軍事行動につき協議した

憲兵司令部 滿洲里出動

【奉天特電十九日發】東北憲兵司令部では邊防軍司令部よりの命により滿洲里に出動することゝなり十八日午後十時第四及び第十三中隊は瀋陽驛發北寧線打通線洮昂線經由滿洲里に向つた

ダリバンク 廿日頃に引揚

【哈爾賓】ソウエート政府の在支國營機關は哈爾賓のダリバンクが閉鎖して本國に愈々廿日頃引揚げることになればこれで全部撤退することになり、支那に於て經濟的發展を試みんとしたソウエートの國營商工策は東鐵問題の解決をみるまで假死狀態となる譯である

一方的廢棄の 意志表示か
治權撤廢反對回答の 五國に對する支那側の態度

【北平十八日發電】支那の治外法權撤廢に對する英、米、佛、蘭、諾威五國の反對回答は既に發せられブラジルも一兩日中反對回答する筈であるが支那は列國が反對すれば暗に一方的廢棄の意向を表示する手段に出づるものと觀られて居る

財政を公開すべし 財政部に詰問狀
宋部長を中心とした軋轢暴露 國劵條例否決さる

【南京十七日發電】本日の立法院會議は財政部の國劵條例に就き審議したが、激論の結果遂に否決された

一、十七年度豫算未だ決定されざるに斯る巨額の國庫劵を發行するは當を失せざるや
一、擔保とされる關稅收入は右償還の能力を有するや
一、財政を公開すべし

の詰問狀を財政部に出すに決し宋子文氏を中心とする國內の軋轢漸く暴露するに至つた

滿鐵副總裁 正式發表

滿鐵新副總裁に對する辭令は十七日附を以て發表され同日大平副總裁より滿鐵本社へ電報到着したと

新舊副總裁に 挨拶電報
滿鐵社員會から

滿鐵社員會幹事長保々隆矣氏の名を以て十九日新副總裁に對し左の電報を發した

大平駒槌氏宛
副總裁御就任に際し我が滿鐵社員會は深甚なる期待と[illegible]を以て歡迎す、喜びに堪えず、茲に全社員の名に於て謹みて祝意を表す

松岡洋右氏宛
今般副總裁御退任に際し過去八ケ年に亘る[illegible]御援助に對し吾が滿鐵社員會は滿腔の謝意を表すると同時に邦家の爲め自愛されることを祈る茲に全社員の名に於て謹みて御禮申上ぐ

米司令官招待

滿鐵では目下入港中の米國東洋艦隊司令官、艦長及び幕僚六名を主賓とし領事ナショナルシチーバンク出張員スタンダードオイル及フレーザー自動車會社支配人を二十日午後七時滿洲館に招待晩餐會を催すと

相磯顧問危篤

【東京十九日發電】長き患ひにて宮中顧問官相磯慥氏病氣危篤の報天聽に達するや十八日午後特旨を以て御見舞として葡萄酒一打御下賜あらせられ位一級を進められた

宮中顧問官　相磯慥
敍正三位（以特旨位一級被進）

人事

▲厚東篤太郎氏（旅順要塞司令官陸軍中將）新任挨拶のため十九日市內各方面歷訪
▲田中一德氏（關東陸軍倉庫附陸軍三等主計正）同上

安樂椅子

工大學生に絡まる共產主義事件として押收した書籍の中、大田と廣瀨が一番で共同に讀破したものが▲マルクス主義講座十卷を初めブハーリン、レーニン、マルクス主義解剖學文獻、クランス革命國際からインターナショナル出版の英文原書コムニイズム六卷其他諸書及原書を取纏めて七百七十餘冊外に七十七冊もある▲恐らくこれ程の社會主義及共產主義に關する書籍を集めてゐる書店は滿洲は勿論のこと內地の大書店にも一寸見當らないであらうと

商況

市場	後場寄	後場引
大阪綿糸	[illegible]	[illegible]
神戸特產（十七日）	[illegible]	[illegible]
橫濱生糸	[illegible]	[illegible]
大阪期米	[illegible]	[illegible]
東京期米	[illegible]	[illegible]
神戸期米	[illegible]	[illegible]
東京株式（長期）	[illegible]	[illegible]
東京株式（短期）	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

奉天

警察の新廳舍は本月末竣工
九月中旬には移轉 奉天市街美の一つ

[illegible]

傳染病豫防の檢便成績

[illegible]

斷で出して來ないものも相當あるが、これ等は强制的に殘らず行ふ積りである

罹災鮮人の義捐金 募集を開始

[illegible]

特殊營業者の健康診斷

署では管内特殊營業從業者に來る廿六日から六日間左の如く健康診斷を行ふこととなつた

診斷を受くべきもの

夫、料理人(宿屋、下宿屋、料理店、飲食店)給仕人(同上但し藝妓酌婦を除く)氷雪、販賣、淸涼飲料水製造、製氷業、肉商、獸肉加工業、乳製品製造、理髮營業各從業者、鍼灸按摩術業者、宿屋の客引、料理店飲食店の出前持、料理店の雇婦、俳優、菓子果物其他飲食物露店營業者及行商人其他警察取締營業從業者にして診斷の必要を認めるもの

診斷の日割及び施行場所

廿六日午後一時から四時まで支那人男各營業從業者、奉天驛派出所管内、奉天公會堂に於て施行

廿七日同上靑葉町派出所管内

廿八日同上その他各派出所管内日本人及び外國人男

廿九日同上日本人女

卅日同上支那人女

一日同上支那人女

診斷を受けるものは合計二千餘名であると

妻に逃げらる 虎の子も共に

…日午前四時半頃市内江島町十…地滿洲自動車會社修繕露人エショウプステパン(三)の妻ペトラ(四三)は、主人の枕下にあつた千百七十五圓入りの財布を掠め家出した、屆出によりその筋でペトラを捜査中であるが原因は夫婦仲惡しく喧嘩の絶へ間なかつた處から或は他に情夫をつくり添へて出奔したのではないかとされてゐる

新學期が來た

夏休みも愈々終了し新學期が來た奉天の各學校は八月廿一日から左の如く始業すると

▲春日、敷島、彌生、滿鐵附屬各小學校 八月廿一日
▲中學校及び高等女學校 八月廿二日
▲教育專門學校 八月廿一日
▲醫科大學 九月二日

大阪から視察團

大阪日本旅行團は今秋の朝鮮博覽會視察團を組織し前後三回に分つて來鮮するが、この機會に滿洲の視察をもなすべく代表者木村七郎氏來奉し奉天鐵道事務所と打合せの結果、奉天撫順の二ケ所を視察する事とし滿鐵も出來る丈けの便宜を與へる事になつた、因に一行は九月中旬から十月初旬に來滿すると

車夫と喧嘩

開原隆盛街居住吉松某(四七)は十八日早曉泥醉の上浪速通十一番地福屋商店の前で西塔居住洋車夫李鳳江(二二)の洋車に乘つたまではよかつたが車上で動き廻つて路上にころげ落ちたので大に怒り車夫と喧嘩を始めて警官の御厄介

人事

▲建川少將 十八日夜北平より來奉同夜内地へ
▲尾崎安東署長 十七日安東より來奉同日大連へ
▲大林撫順署長 十七日歸撫
▲吳泰來氏 十七日四平街より來奉

瀋陽駄話

▲排日種ね切れで鳴りを靜めて居た醒時報が、十八日から例の「日本張作霖謀殺」を連載しだした▲排日記事以外ニュースとしての價値も興論としての權威もない無力な新聞であるこれが生命とは云へ排日も事と品による▲第一此んな問題を排日の具にされ默過する張長官の常識さが疑はれる▲國民系統の人材を漸次任用させ東北の黨化に怠らぬ蔣が東鐵問題をキッカケに「萬一に備ゆる」とあつて中央軍を三省に押し込むらしい▲九月の編遣を見込し在來の奉天軍を外様扱ひにして裁兵し此中央正規軍を駐屯させる下心か▲朝に一權を失ひ夕に一利を奪はれんとし昨今の奉派は將に危急存亡の秋である

鞍山

南部滿洲の野球大會始る
遼陽と鞍山とが勝つ 優勝戰は十九日に

本支局主催の南部滿洲野球大會は既報の如く十八日午前八時より滿鐵グランドに於て開催された、先づ遼陽、鞍山、大石橋、瓦房店、營口等の順序に入場なし加藤滿日支局長不在の爲め輸入組合理事阪元藤三郎氏が代理として開會の挨拶をなし、林地方事務所長の始球式に依り大石橋對鞍山軍の第一回戰は火蓋を切られた、時既に沿線各地よりの應援者及鞍山全市民の觀衆はグランドを埋め鞍山未曾有の大盛況を呈して居た、プログラムは次から次へと展開され大盛況裡午後六時第一回戰を終了した、十九日は午後三時より同グラウンドに於て優勝戰を擧行せられ、本社より優勝旗を贈る筈である、本日大石橋對鞍山の試合は鞍山十四對大石橋二にて鞍山軍の勝利に歸し零時三十分修了した、午後一時よりの營口軍對瓦房店の試合は瓦房店十三對營口軍十一にて營口軍惜敗し午後三時三十分終了した、午後四時よりの瓦房店對遼陽の試合は遼陽軍十二對瓦房店四にて午後六時遼陽軍の勝利となつたが、結局十九日の優勝戰は遼陽對鞍山となり一般ファンは非常な興味を以て期待して居る、メンバー得點左の如し

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
大石橋 得點	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
鞍山 得點	0	0	4	1	2	4	2	1	A	14

大石橋 百武 手塚 三田 中村 角敷 池田 荒金 五崎 清水
鞍山 [illegible]

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
營口 得點	0	3	0	1	2	5	0	0	0	11
瓦房店 得點	0	1	0	0	0	10	0	0	2	13

營口 [illegible]
瓦房店 [illegible]

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
瓦房店 得點	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
遼陽 得點	0	0	0	3	4	3	1	1	0	12

瓦房店 [illegible]
遼陽 [illegible]

蔬菜品評會

遼陽以南瓦房店間の第十五回蔬菜品評會は來る十月十八十九の兩日鞍山北三條町實業協會堂に於て開催される事に決定した

滿鐵社員俱樂部が出來る

鞍山滿鐵社員俱樂部の新築に就いては數年前より各年度毎に本社へ申請されて居たがその都度却下され依然借家の儘となつて可成りの不便を忍んで今日に及んでゐたところ明年度豫算に愈々計上される事となつたと、然し豫算の關係で新築は許されざるべく北五條町元滿鐵醫院診療所跡を約四萬三千圓の豫算を以て改造される模様で、其の内容に就て聞く處によると階下を柔劍道の道場とし階上には大ホール、撞球場、食堂、娛樂室その他各種の施設をなして理想的な俱樂部に改造するとの事である

選擧名簿縱覽

鞍山に於ける地方委員改選は十月一日と決定し地方事務所では十八日から二十二日までの五日間選擧人名簿を一般に縱覽せしむる事になつて居るが、有權者の總數は一千三百十五名で各別に示すと左の通りである

製鐵所七七六名、其他滿鐵關係七一名、法人三三名、日本人營業者二〇九名、社外勤勞者一二七名、中國人營業者九九名

ハーモニカ演奏會

鞍山ハーモニカバンドでは遼陽白塔會と聯合主催社會係後援の下に來る二十五日午後七時より鞍山實業會堂に於て演奏會を催すと

兒童慰安映畫

滿鐵社會係主催の兒童慰安活動寫眞會は二十日午後一時より小學校講堂に於て開催の筈

施餓鬼を行ふ

本年は九月七八の兩日に變更した公主嶺の佛教團は十五日午後六時共同墓地に於て一般の塔婆供養と大施餓鬼を行ひ、十六日の午後七時高野山大師堂では水源地の上流に燈籠舟を進水法要を行つた

盲人の講演會

東京築地盲人學校生藤(?)義夫、福岡豐の兩氏は滿蒙踏査の途次十六日來公澤田在鄉軍人分會長宅に一泊、十七日午後七時靑年聯盟會支部主催地方事務所社會係大連滿日兩支局の後援の下に滿鐵俱樂部に於て滿蒙踏査の實驗談並に錦心流琵琶の演奏をなし、多數の來聽者あつた

公主嶺

寺内司令官 十六日着任

新任獨立守備隊司令官寺内將軍は十六日十九時五十五分當驛着の急行列車にて安着、多數官民の出迎ひをうけ之れに挨拶、咸容端正夫人と馬車を連らね官舍に入つた

秋祭りは來月

公主嶺神社の秋季大祭は例年八月三十、三十一日の兩日に擧行したのであるか、殘暑と天候の關係上…

四平街

運動會 計畫の内容

全四平街大運動會は來る九月八日體育協會主催の下に公園新グラウンドに於て催行する事に確定せる事は既報の通りなるが、今其の詳細を仄聞するに大略左の如し

期日 九月八日午前九時(雨天順延)
場所 公園新トラック
區別 三區に分つ
(イ)北軍裕盛街以北一圓
(ロ)中央軍中央大街以北裕盛街以南一圓
(ハ)南軍中央大街以南一圓
競技回數 六十回内譯
男子四十回婦女十回小學校公學堂十回假裝競爭は中食の時行ふ
競技種目は競技係に一任
役員 會長三浦秀次
副會長 鶴見次世
豫算總額 八百圓也(市中滿鐵折半)

尙此度の運動會には選手競爭なく一般家族的運動會なるも、各回に各軍の得點を擧げ最終に於て總點數の最高を第一位と定め優勝旗を授與する由

撫順

馬賊に對して支那町嚴戒
住民は自警團を組織 奉天より應援隊來る

既報十六日午後八時頃大山坑附近に現はれたる五十名の馬賊團は警戒嚴にして附屬地新市街方面に入る事を得ず十七日午後十時頃千金寨支那町に現はれ掠奪を恣にせんとするので支那側住民は自警團を組織し麻袋にて豪場を各方面に作り警戒する一方、支那官憲は奉天より來援の遊擊隊百名と共に目下嚴戒中である、匪賊側は警戒の裏をかき三人五人と分散各所に潛伏し機を見て掠奪を行はんとしつゝあるので支那側住民も目下戰々兢々としてゐる

自分で咽喉を掻破り絶命
キ印とわかる

十七日午後二時二十分頃新屯停留所附近の電車道に數貫目の石を濫山さらべ電車顚覆を計らんとする怪漢あるので、新屯勞務係員發見同事務所に拉致すると手近にあつた鐵棒で矢庭に同事務所の硝子窓を散々破壞するので數人して取押へんとすると今度は硝子の破片で自分の咽喉笛を突きさしその創口に左手をつきこみ引裂き血にまみれ肉片をむらがる群集になげつけるので、係員も血にそまつて阿修羅王の如くあれ狂ふには持てあましてゐた、が出血甚だしく瀕死の重態になつたのを同午後四時五十分撫順醫院にかつぎ込まんとする途中遂に絶命した、右は新屯坑採炭華工宿舍第十四棟の華工修儀亭(三七)と言ふキ印と判明

あめりか丸の日本一周記 (2)
特派記者

第三信(八月十日)

と、船島も陸も見えなくなつた、午前六時である、さし上る朝日に照り映へて一本二本潮を吹く鯨の群が現れた、これは潮風に飄曲して上る鯨の潮はとても壯觀である、而も海は紺碧になだらかく平和そのものゝ如くである、期せずして歡呼は甲板に擧がる、船長以下乘組船員はこんなことは珍しい、航海氣起がよいと大喜びである、大連市長大阪商船支店長から船へ平安を祈るとの無電が着いた、船内で發行する新聞は内地と滿洲のニュースを滿載してもう四號を出した、麻雀、圍碁、讀書、デッキゴルフ等そこ此處に遊戲が初まり、すつかり打解け家族氣分にひたつてゐる

第四信(十一日)

十日夜八時から滿蒙事情の活動寫眞が上甲板に初まる、この間すれ違ふ一隻の汽船を發見し言ひ知れぬなつかしさに萬歲の聲は期せずして起る、たがこの頃から暗雲亂れ飛んで波浪漸く高く上弦の月を隱し吾等の艦艦を奪つて船は無心の如く進む、おそらくかの船客も同じ思ひの一時を過したのであらう、夜半に近づくにつれて沛然たる豪雨となり餘儀なく閉ざした窓にあたる音物凄く船室は蒸し返る暑さに見舞はれて而も之をさくるによしなく可なりの難航であつたが

明くれば

十一日の朝は忘れたやうに雲はいづれにか去つて又昨日の快晴歸復に船の動搖も又漸く減じ、凉風全船を抱擁し全て蘇生の思ひである、昨夕一夜を胄くなつてゐた人達もデッキゴルフ輪投げに打ち興じた、午後はビークラスの懇親會が開かれたといふので歡し聲の噂で賑やかである、不時紺碧の波間におどる飛跳魚の群を發見し皆之又瑞兆だと船の人達はかつぎ屋が多い。しかしその美しさは昨日の鯨と趣きを異にして又船客を喜ばしたこと夥だしい

明日未明には

高砂の島

基隆着、商國の豐潤な果實、美しい花の香、々椰子の林、水牛の群、竹の筏等々吾等を待つて思ふさま常夏情緒を味はして吳れるであらう●

安東

新市場開設は九月初旬か
近く内部割當を協議

新設魚菜市場を眞に理想的公設市場たらしむべく地方事務所に於ては過般來各方面の代表有力者及當業者を集め前後四回に亘つて改善委員會を催し種々協議する處があり、大體の綱領は定まつたので近く第五回委員會を開き市場組合員の住宅及び市場内の割當に付て協議をなす筈である、新市場開設は九月初旬の豫定であつたが内部の設備等多少遲延し開場は九月末頃になるらしい

在鄉兵を表彰

安東簡閱點呼は十六日午前八時より大和小學校に於て連山關獨立守備隊長山口中佐に依り執行されたが當日左の八名が表彰された

安東縣二番通七丁目三番地 後備步兵伍長 本村源藏
同市場通四丁目一番地 後備步兵伍長 杉原幸太郎
同中央通二丁目 後備憲兵曹長 南部新吉
補充步兵 大山昇
同 輸卒 伊藤 嚴
補充砲兵 中西幸次郎
同 輸卒 永尾要
同 同 西所信一

ポプラの大勝

ポプラ俱樂部對鴨綠江製紙會社の庭球試合は十五日午後四時半より製紙コートに於て行はれたが、ポイント戰に於ては十九對九、優退戰では四組の優退組を殘し孰れもポプラの大勝に歸した

服毒して入水

平北義州郡義州面鶴城洞九七勞働者張弼鉉は十五日午前十一時頃自宅裏の溜池附近を通行の際妻である金氏(二七)が死體となつて浮上つてゐるのを發見吃驚して直に義州署に屆出たので署では醫師を立會はせ檢視を行つた處、傷害及び水を呑みたる形跡はなく口中より吐血せるを發見毒藥を服用したらしいので近く解剖に附す事になつたが、そのモルヒネは梅ケ枝町一八酒類販賣業龍受れ(二七)と言ふ女友達が與へた事判明、同女は自殺幇助罪にモヒコカイン取締法違反として告發された

平北の防疫計畫
惡疫に侵入されたら 朝博にも影響すると

平安北道は國境第一線の重要な位置を占めてゐるので最近流行の傳染病の侵入を極力防禦する目的にて一大防疫計畫を樹立し、先づ傳染病豫防宣傳のポスターを配布し衛生思想の普及を計り、一方活動寫眞班を組織し鐵道沿線各地を巡映更に各警察署にては公醫及び道立醫院醫師其の他と協力衛生講話をなす事に決定した、尙全道に亘つて檢病的戶口調査をなし患者の發見に努める事にしてゐるが、最近楚山に腸チブスの爆發的流行を見上海のコレラもます〳〵猖獗を極めて居るので、もし國境にある平北に流行を見たならば近々開催の朝博にも影響する事とて極力豫防する事になつた

增設大隊 安東に一つ

滿洲獨立守備隊の二ケ大隊增設に伴ひ第六大隊本部を安東に設置する事に決定し大隊幹部も既に内定し近日中に發令赴任の筈であるが編成すべき下士卒は十二月頃到着の筈である

湯山城派出所

湯山城警官派出所は豫てより改築中の處此程竣工したので、十八日尾崎署長以下署員臨席の上盛大に移轉式を擧行した

自殺幇助罪

新義州府内覇(?)觀洞一四九飮食店營業信道方酌婦金順根(二一)が去る十日モルヒネを嚥下し自殺を遂げた事

地方委員の逐鹿戰
相當猛烈か

安東地方委員及び豫備委員の總選擧は來る十月一日を期して行はれる筈で、地方事務所では既に選擧人名簿の作製を完了十八日より二十二日まで毎日午前十時から午後…

京城

滿俱敗る
七對三で 對松山高商戰

松山高商對安東滿俱野球戰は十七日午後四時より驛前グラウンドに於て松山高商先攻にて開始、久振りの試合を見んものと觀衆は炎天下に定刻前より續々と押掛けた、滿俱此の二三選手病氣のためメンバーの異動にて終始敵軍に惱まされ二回に二點五回に三點七八の兩回に一點づゝ計七點を敵に與へ、五回に二點九回に一點計三點を得即ち七對三を以て敗れた、閉戰六時四十分當時のスコアー及びメンバーは次の通り

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
松山高商	0	2	0	0	3	0	1	1	0	7
安東滿俱	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3

松山高商 本(幸) 原 味島 田 武 本田 本(正)
松 在 古 中 織 光 坂 門 松
7 4 5 6 2 8 9 1 3

安東滿俱 筒手 服瀨 吉 有 吉 杉 時 石 山
瀨 塚 部 山 本 馬 岡 崎 仟 井 岡
7 4 3 6 5 1 9 4 8 3 3 6 2 9 1 戶

朝鮮青年團大會を開く
九月二十二三日の兩日 八十三團體を集めて

全鮮各道靑年團の親睦連絡と、向上發達を期する朝鮮靑年團大會はいよ〳〵來る九月二十二、三の兩日京城府長谷川町府立社會館及び景福宮勤政殿に於て開催に決定した、參加團體は在鮮靑年團八十三團體、總人員三千三百名に達する見込である、大會次第左の如し

大會次第

第一日(九月二十二日)
商議會(午後二時社會館)
一、參加資格 各聯合團、聯合團をなさゞる團は各道毎に委任代表を選定し得ざる向は各團毎に各一名の代表並に大會委員
一、商議事項△大會の順序方法△議長副議長の選定(委員長選定)

第二日(九月廿三日)
朝鮮神社參拜
一、集合午前九時大會(午前の部)一、集合午前十時(勤政殿)一、開會の辭一、國歌合唱一、主催團長挨拶一、朝鮮總督告示一、來賓祝辭一、決議一、解散(午後の部)午後一時集合一、議事並に懇談

因に委員は中央地方に分れ、中央委員は主催團體たる京城府聯合靑年團より選出地方委員は商議會組織員を以て任命することゝなつてゐる

全鮮公職者大會委員

全鮮公職者大會の實行準備委員會は十九日午後二時府廳會議室に於て開催されるが各團體準備委員は左記の通り決定された

▲學校評議員側 朴準鎬、梁在昶、曹秉相、任興淳
▲學校組合議員側 秋山督次、庄司秀雄、波多江千藏、杉市郎平
▲道評議員側 田中半四郎、張弘柱
▲商業會議所議員側 增田三穗、古城龜之助、陣内茂吉、田昇均、藤田安之進、白石巖

李王賞競技會

本年から始められた李王賞競技會は去月二十三、四、五の三日間に亘つて大阪に於て庭球大會を擧行したが、更に來る廿五、六、七日の三日間甲子園に於て野球競技を開催に決し朝鮮よりは平壤中學、大邱商業、京城師範、龍山中學の四校出場し大阪の二チーム兵庫、京都の各二チームと試合をすることゝなつた

機關紙を發刊

安東市政籌備處では九月一日から市政日報を發刊する事となつた、現在支那街には商埠公安局發行の公安日報があり發行部數は約七百部で編輯は局員を以てなし公安局から分局に送り分局から巡警派出所に送達し派出所巡警が各戶に配達する事になつて居るが、市政日報もこれと同樣籌備處員が編輯する事になつて居る、又九月一日から總商會が機關紙東邊商工日報を發刊すべく目下準備中である、これは職員及商業學校教員で編輯するらしく、前記各三官公署機關紙の出現に安東支那街の言論界と官公署の今後の對立は、頗る興味を以て見られて居る

各校の新學期

安東各學校の暑中休暇も終りに近づいだが第二學期の授業開始は左の如くである

△安東中學校 二十二日午前八時
△安東高等女學校 廿二日午前八時より
△大和小學校 二十二日午前九時より
△朝日小學校 廿二日午前九時より
△普通學校 廿二日午前八時より

滿電支店新築

滿電安東支店では構内の倉庫及び職工休憩室の一部を取壞し二階建の家屋を新築する事に決定した、工費は約三萬圓位にて本年中に竣工さす筈であると

自動車定期檢査

新義州署では二十日より二十九日迄府内の自動車定期檢査を施行する筈であるが現在府の自動車數は官廳用十九臺民間營業用四十臺である

大原夫人逝く

安東實業銀行專務大原淸邁氏夫人は病氣入院中藥石效なく十四日永眠、十六日午後四時半より西本願寺に於て葬儀を執行したが、多數會葬者があつた

豆粕打合會出席

安東貿易商組合は朝鮮總督府の豆粕打合會出席の件に付き十五日午後一時より商議にて役員會を開催結果柳田宗三郎、金井佐次、池上常太郎の三氏が出席する事に決定

鐵嶺

衛戍病院庭球小會

鐵嶺衛戍病院では來る二十日午後三時より院内コートに於て庭球小會を催すべく市中庭球選手へも參加を勸誘して來た

一夜向上會

修養團安東聯合支部では十七日午後六時より十八日午前六時迄鎮江山朝日閣を中心として一夜向上會を開催したが參加者多數あり非常な盛會であつた

特別傳道講演

鐵嶺基督教會では來る二十一日午後二時より特別傳道講演會を催す由なるが講師は東京大森教會牧師であると

遼陽

遼陽秋季大祭
輿丁も雜仕も氏子で奉仕

遼陽神社の大祭は從來輿丁のみが工場、機關區、驛、地方聯合、町内會と輪番で奉仕し雜仕は皆悉く臨時傭の苦力に白丁をまとわして居たが、今年から御輿渡御の受持ちを工場、機關區、地方聯合の三交代に改むると同時に雜仕係も全部氏子で奉仕することに氏子總代會議で決定した、輿丁が四十八人雜仕が卅六人である、また多年例の渡御の途上有志は茶菓酒肴の接待に努めて居たが之も所謂御祭り騷ぎと云ふ事を廢し壯嚴に祭典に奉仕する意味から個人接待を全廢して接待所と經費を定めて行ふ事になつたと、從つて敬神の念から接待せんとする有志は金品で接待係に寄贈された方が統一上宜しからんと

人質に三萬元

遼陽管内煙臺炭坑の西南方華子溝の華人經營炭坑に數日前十餘名の馬賊來襲同坑の把頭兄弟を人質として拉去、現洋三萬元要求中と聞知した遼陽公安本局から討伐隊派遣中なるも、水害後到る處道路泥濘加ふるに高粱繁茂の折柄官兵の搜索意の如くならず賊團は人質を巧に隱匿せる爲め殆ど處置に困難し居ると

ストーブ月賦販賣

遼陽本町鈴木洋行は數年前來センタストーブの特約店として活躍してゐるが今年は月賦販賣の便法で大々的に活すと

名家日滿 敗退將棋 (其九)

【飯塚氏三回勝四回目】

香平交香落 七段 △宮松關三郎
六段 ▲飯塚勘一郎

持駒 飯塚氏 銀桂桂

(圖は三九香迄の局面)

持駒 宮松氏 金銀步步步

【盤面以下指方】▲四七銀△三七銀▲五七成銀△一八玉▲三八銀ナラズ△同香▲四七成銀△二七銀▲六八飛打迄にて飯塚氏之勝

【對局者の感想】飯塚六段曰く五七成銀と總ての力が攻勢に活用出來る樣になつては如何にしても必勝です。宮松七段曰く一八玉はまだ味ひが殘つて居ると思つて引いたが此形では恢復が出來ないので投げるが順當であつた。

【大崎八段總評】本局は下手序に於て三四步と角道を突かず直ちに八四步と指せしは鳥宿しの戰法にて極力敵を賤せんとする意味なるも力指しとなり香落の體を無視して策略としては損なり、上手此機に乘じ早く銀を六六に上りて輕く防備を完ふせば何して興會を逸せり。中盤上手直ちに六五步と桂を取りて飛銀の働きを重くすべきを五八飛廻りの早かりし爲に六九金の備へ正く白き將棋なるべきを五八飛廻りし爲に六九金の… 活躍を計るべきを九七步の惡手を重ね敵に八六步と先に指して飛の働きを鈍らせられ次第に勢々損じて殆ど中押に敗れたり。

髭ふつて相寄る月のきりぎりす

コドモページ 成績紙上展覽會

すずめの子

大廣場小學校四年　伊藤良水

この間の夕方の事でした僕がそこであそんでゐるとお母さんが「良水さんちよつといらつしやい」とおつしやつたので急いで行つて見ますと、お母さんはかはいいすずめの子をだいていらつしやいました。

僕はお母さんにちよつとだかせてちやうだいと言つてだつこをしてやりました。すずめの子は少しびつくりしたやうなかほをしてゐましたがそれでもぢつとしてゐまし。そのばんはこの中へ入れてねかしてやりました、あくる朝僕がおきて見ますとすずめの子はもうはこから出て、中の間やざしきをよろよろあるいてゐました。

僕はそれから、僕のかたにとまらせて、お母さんと一しよにうらにはひ出ましたらだいぶなれたので、すずめはにげやうともしませんでした。うらのおえんがはにいたをしいてその上にすずめをおいて、ふるひをかぶせておきました。午後學校からかへつて見ますと、おやすずめらしいのがゑをもつて來て、ふるひのかなあみの目からおとしてやつてゐました、僕はあまりかはいそうになつたので、ふるひをのけてやりますと、やねの上でおやがしきりによんでゐました、ひぐれごろうらへいつてみますと、いたの上にはもうゐません

にげただらうと思つてゐると、にはさきの草の中でこゑがします。びつくりしてそこへ行つてみるとすずめの子がぢつとしてゐたのです。

またつれてきてぬくめてやり、はこの中へねかしてやりました。その次の朝おきるとすぐにがしてやりました、するとこんどはしゆうと元氣よくとんでいつてしまひました。ほんとにかはいいすずめの子でした。

つらかつた三級試験

本渓湖小學校六年　羽柴襄

今日は星ケ浦も日本晴である。僕は公園のじやりをふみながら濱へ向つた。

やがて四級の三級受ける人は集つた。三列になつて三回することになつた。今日僕はちようど二回目であつた。今日僕はどうしたのか體がきつい。向ふの方に飛臺が見える。やがて準備運動が始まつた。きつくてやれない。此のやうすならとうてい泳げさうにない。

やがて第二回も終つて最後の僕等は二列になつて水に入つた。だんだん進むに從つて水の色はものすごい程の紺色だ。船を見ると外の學校の者が一二人上つてゐる。やがて飛臺が目前に見える。僕は寺師君の後から行つた。爾間君はまう上つてゐた。

いつの間にか僕はくるしくなつた。やはり身體がきついんだなーと思ひながらおよぐけれど進まない。僕もやゝあせり出した。あせればあせる程だめだぼうと頭の中に思ひだした先生の言葉「ゆつくり行けあせらんでよい盡力してゆけ」これは常々先生にいはれた言葉である。しかしだめだ。やつぱりきつい「かぶり」僕は水をとうとうのんでしまつた。と同時に僕の體はしづみだした。「きついです」と言はうか。いや最後の五分間だ。

しかしこれから五分の後に僕は完全に船のそばへよつて船に上つた。船はすぐさま飛臺を廻つた。僕は船に上つたらきつくてしばらくぢつとしてゐたが、やがて岸はちかづいたので僕は船から飛下りて岸についた。

金魚

遼陽小學校六年　見坊愛子

温室に大きな金魚ばちが二ツあります。

窓ぎわにあるのは小さな金魚が多くは入つて居ります。其の中に、眞赤なのが一匹だけ居ります。其のほかに、眞黒赤と白と黒と赤とゆうようにさまざまです。眞ン中に植木ばちがあり時々その中には入つて居ります。もう一ツのはちには十五センチメートル位のが二匹居ります。其の中には草がポカンポカンと浮いて居ります。時々私たちはしほ鮭の小さなのをやるとみんな集まつて來て爭ひながら小さなまるい口で食べてしまひます。よくお父さんが置いていらつしやるのでふえる一方です。

水族館を見る

橋頭尋常小學校尋五　安田良夫

お風呂から上つたら水族館に行くといふ先生のお話だ。僕は此の間から行きたくてたまらなかつた水族館であるのでうれしさでむねがいつぱいになる。僕はあまりうれしいのではしるやうにして一番先に歩き出した。まもなく水族館についた。一番先にあつたのは「かれい」「いせえび」などであつた。いせえびは長さ三十センチメートルもあらうと思ふ大きさ、僕はそれを見ておどろいた。つぎにはふかの子がおつた。僕はそれを見てこいつが大きくなつたら人間をくふやつだなと思ふといぢめてやりたくなつた。つぎつぎに見ていくと、すゝき、ひらめ、ひとで、たこ、いか、かに、にべ、はぜ、ちぬ、ふぐ、うなぎ、なまこ、しまだひ、まだひ、ふなぼら、めばるなどといふ魚がうようよしておよいでゐた。一番しまひにはかはいゝふなの中に川へびが四五匹いれてあつた。僕がいくとかはへびはまつすぐにぼう立になつて僕らの方をにらんだ。僕は氣持が悪いのでいそいでそこをさつた。これで魚類はをはりだ。こんどは、へびやめづらしい鳥やとかげなどであつた。とかげははらをふくらせてひるね中であつた。ふだを見るとはとを丸のみにしますと書いてあるのでにくらしくなり石をぶつけてやりたくなつた。そして「はと」を五六羽いれてあつた。僕はかはいそうに思つて出してやりたくなつた。そばに大きなかめがおいてそのよこにあざらしがおいてあつた。僕は生きてゐるのだらうと思つてよく見るとそれははくせいであつた。歸りにはみやげにと思つて貝細工の笛を買つた。

星ケ浦の波

撫順新屯小學校五年　松本正

大きな波が僕達をのむやうに進んできます。

波は高い、僕達も負けずに泳ぐ、まるで僕達と波とがあらそつてゐる様である。

波は次から次と進んでくる。灘の方ではどぶんどぶんと音をたてゝゐる。波が強い時は僕達を灘の方におし流したりころかしたりする。僕達もそれにはへいこうした。一番しづかな時でも僕のせいより高い波が時時くる。

沖の方は波がしづかである。灘の近くは波が高い波の高い日はとてもこまる。

波も強いが僕達も元氣である。

或日小ぢようき船がひつくりかへりそうになつて星ケ浦の灘の方にやつて來ました。その時ちようど波が高いので僕達も水泳をやめました。波はほんとに強いと思つた。

星ケ浦海岸（クレパス）　撫順千金小學校　前田藤治

星ケ浦（クレオン寫生）　橋頭小學校尋五　安田良夫

童謡

けい馬の馬

大廣場小學校二年　柴田正一

競馬の馬は
いさましい
險いところを
はしります
パカパカパカパカ
はしります
ふつうの馬車は
おそいけど
競馬の馬は
いさましい
おすなをけつて
はしります
とつても早く
はしります

病氣の妹

きみ子がおなかを
わるくして
牛乳やうどんや
やはらかい
赤ちやんみたいな
ものたべて
おなかがすいたと
ないてます
ママがいろいろ
だましては
いつしよにあそんで
やつてます
僕が三時を
いたゞくと
きみ子もほしいと
ないてます
僕がおくわしを
もらつても
きみ子のそばで
たべないで
ほかのおへやで
たべてから
きみ子のそばへ
まいります

日の丸の旗

日の丸の旗は
美しい
白いきれの
まん中に
きれいな赤い
まんまるが
風にふかれて
ゆらゆらゆら
めでたい日には
どのお家でも
日の丸の旗を
門へ出す
ほんとに日本の
日の丸は
いさましくつて
美しい

ねんどざいく

ねんどざいくは
面白い
僕はぐんかん
つくつたよ
えんとつつけて
たいほうつくり
一しやうけんめい
つくつたよ
つくつたお手手は
べつたべた
ねんどがついて
べつたべた
みんなのお手手も
べつたべた
今日の手工は
おも白い

はへ

はへはとつても
きたないよ
ばいきんたくさん
手足につけて
僕らのたべものに
とまつてつける
ばいきんは目には
見へないけれど
そんなのたべたら
びようきになるよ
はへはとつても
わるいから
あみどやなんかで
入れません
それでもはいつて
きてるのは
はへたたきで
ころします
パチンパチンと
たたきます
それでもごはんの
時なんか
どこにゐたのか
出てきます
おぜんにきれいな
カバーをかけて
はへにはちつとも
やりません
はへはとつても
わるいです

Z伯號きのふ午後六時 無事霞ケ浦に着陸す
海軍機誘導のもとに爆音高く 東京訪問から引返し

【東京特電十九日發】ツエッペリン伯號は十九日午後四時十八分霞ケ浦飛行場上空に船影を現はし三百メートルの高度にて爆音高く海軍機誘導の下に悠々東京に向つて過ぎ去つたが、再び引返して同六時霞ケ浦に無事着陸した

ツエ伯號の功績を稱へ 前途の幸福を祈る
濱口首相の歡迎ステートメント

【東京十九日發電】ツエ伯號飛來につき濱口首相は左の如き歡迎のステートメントを發表した
今回ツエ伯號がドイツを出發一氣に大空を翔破して恙がなく東京に到着したことは當に劃時代的の壯擧といつてもよい、予は總司令エッケナー博士その他乘組員諸氏の技術と勇氣とに對し

深く敬意を 拂ひ度い、聞くところによれば今回の航程たる距離にして一萬二千基米突、時間にして百時間、しかも途中無着陸で歐亞兩大陸に跨がる處女空を完全に征服したのであるから之は單に技術及び勇氣ばかりの問題ではない、明瞭に信念の威力と科學の勝利とを意味する空前の雄圖である、この點は人類文化史上に特書大筆すべき偉勳と稱して差支へない、更に同船は近く第三コースに移つて太平洋横斷を敢行するさうであるが、これまた成功することを疑はない、斯くて數日の後最初の出發地點たる米國レークハーストに歸着したるとき同船の地球一周計畫は豫定通り完成し

世界の交通 往復は著しくその時間と距離とを短縮し得べきことを實證し交通經濟上に一新紀元を開くであらう、茲にツエ伯號の偉大なる功績を稱へ前途の幸福を祈る

衷心から滿腔の 敬意を表す
◇―幣原外相の歡迎辭

この意味に於てツエ伯號のこの行は歷史的に重要な出來事なりと信ず、交通機關の發達は世界各國間の距離を短縮し諸國民間の諒解協力に寄與すること甚大でこの各國民を接近せしむる大事業に貢獻せられたエッケナー博士及び乘組諸員に對し滿腔の敬意を表する次第である

いよいよ日本の空にツエ伯號を迎へて予は衷心から歡迎の意を表すると同時に今更らながらドイツの科學の進歩とドイツ人の天才勇氣創意を歎賞して止まないのである、過去に於ては戰場に於ける武勇が人類の歷史を飾つたのであるが、將來の歷史を飾るものは科學的文化的發達に對する貢獻でなければならない

ドイツ首相に メッセージ
濱口首相から

【東京十九日發電】濱口首相はツエ伯號來訪に對しドイツ首相ミラー氏に宛その壯圖を稱へ成功を祝するメッセージを發することゝなり十九日發送した

四相聯合で 歡迎會
二十日に開く

【東京十九日發電】小泉遞相、財部海相、宇垣陸相、幣原外相の四相聯合ツエッペリン伯號歡迎會は本日擧行の豫定を都合に依り二十日午後六時帝國ホテルに於て催す事に決定した

久邇宮殿下 霞ケ浦に御成り

【東京十九日發電】久邇宮朝融王殿下には十九日午前九時七分上野驛御發霞ケ浦に成らせられツエッペリン伯號の飛來を御歡迎あらせられた

廣島商業快勝す 五―一で鳥取一中に
全國中等學校野球准決勝戰

【大阪十九日發電】廣島商業對鳥取一中野球戰は十九日廣島先攻にて開始、廣島は第六回一點、八回四點を入れたるに對し鳥取は第一回一點を入れたのみで結局五對一にて廣島商業の勝利に歸した、[illegible]

戰正午	一	二	三	四	五	六	七	八	九	合計
廣島	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5
鳥取	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

海草中學 大勝

【大阪十九日發電】海草中學對臺北中學の野球戰は七回までにてコールドゲーム九對零にて海草中學の勝利に歸した

五對四で 臺北勝つ
對平安中學

【大阪十八日發電】臺北一中對平安中學野球戰は午後二時五十五分より臺北の先攻にて開始臺北は第三回一點、六回三點、九回一點を得たるに對し平安は第四回一點、六回二點、九回最後の攻撃にて一點を得たるも遂に及ばず五對四にて平安惜敗す時に午後六時

バッテリー 臺北(有泉、三瀬) 平安(伊藤兄、中川)

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
臺北	0	0	1	0	0	3	0	0	1	5
平安	0	0	0	1	0	2	0	0	1	4

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
滿俱	0	0	2	3	0	1	1	1	1	A9
早大	1	3	2	0	0	2	0	0	0	8

マラソン旅行の 福安氏着く
安東から鐵道線路に沿ひ 四百十哩を突破す

埼玉縣大宮小學校教員福安隆一氏は八月九日安東を出發し安東、大連間(奉天經由)四百十哩餘を鐵道線路に沿つて走り十八日午後七時廿五分無事大連滿鐵本社前に多數の人に出迎へられ萬歲の聲を浴びて到着した、日に燒けて眞黑となつた顏は氏の連日の苦鬪を物語るに充分である。氏は語る

滿鐵の厚意で終始樂なマラソンが出來ました沿線を走つて特に感じた事は滿鐵の勤務員方が皆色が黑くて姿勢は好く丈夫な體格であつた事と各驛毎に小學生に會ひましたが皆んなが生活苦の樣子もなく實に伸び〳〵と育てられてゐた事は實に嬉しい事で內地では到底見られない事であると

夫が愛用した拳銃で 遺骸の前で殉死す
寺内伯令弟の夫人

【東京十八日發電】故寺内元帥の二男で伯爵寺内壽一氏の令弟に當る市外代々木六〇六陸軍步兵大尉寺内毅雄(三九)氏は擬囊炎の爲め十七日夜死去したが、綾子夫人(二九)は二三時間後遺骸の前で夫君愛用のブローニングピストルを以て左胸部を打貫き殉死を遂げた夫人は中川東京府知事の令嬢である

遺筆も亂れず 左胸部を射つ
「御供をさせて頂きます」と 夫の名刺の裏に書く

【東京十八日發電】寺内大尉は七月中大磯に避暑中擬囊炎に罹つて歸京赤十字病院に入院加療中一週間前より危篤に陷り十七日午後七時愈々最後の

手術を 行つた處手術半にして大尉は意識を恢復し「妻が可愛い相だ」とうわごと交りに述べつゝ其の儘絕息したよつて其の夜十一時遺骸を代々木の本邸に移し綾子夫人の兩親中川東京府知事夫妻、親戚なる參謀本部附陸軍少將兒玉友雄氏等も集りしめやかな通夜に入つたのである、然るに綾子夫人は夫まで淚一つ見せず健氣に立働き、弔問者との應接にも狼狽へた處もなく落着いた態度を見せて居た綾子夫人は同夜半近く故大尉の遺骸を

安置し た洋館二階十疊の間に入り附添ひの看護婦に向ひ「一寸用事があるから外に出て下さい」と外に出し遺骸の前に端坐するとと共に故大尉の愛用のブローニング拳銃を以て左胸部を打ちがばと遺骸の前に打伏て自殺殉死を遂げたのである

折しも階下應接間にて通夜の集りをして居た親戚のものは不思議なピストルの音に驚き二階に驅け上ると此の始末に一同驚愕おく處を知らず漸く深更警察のかたを濟ませて此の

新たな 柩は同じ室に並べられたのである殉死した夫人の傍には毅雄氏の名刺の裏に鉛筆で「御供をさせていたゞきます

故大尉の 戀女房
子供が無い

兩親樣に孝養もいたさず兄弟を殘し先立つ罪を御赦し下さいまし私としては斯する事が道と考へられます」とあり筆跡も少しも亂れて居なかつた

綾子夫人と毅雄大尉とは大正十五年十月結婚したもので夫人は女子學習院出身の有名な美人であり故大尉の戀女房であつたが不幸子供は一人もなかつたかた〴〵綾子夫人の愛の對照は唯一夫大尉であり二人の交情は端目も羨ましき程であつた然も毅雄大尉と永久の別れは遂に綾子夫人の心情を孤立とし遂に故大尉の跡を追つて行つたもので若し子供の一人でもあつたらばと親戚のものは悲しんで居る

故大尉は近衞步兵第一聯隊に勤務して居る快男子として知られ軍隊に野球とラクビーを始めたのも同大尉の力であつた八月一日からは帝大軍教の教官となり益々スポーツを行ふ事が出來ると樂んで居た葬儀は廿一日行れる筈である

小銃射擊會

市民射擊會第三十二回小銃射擊會は十八日午前八時より春日池畔射擊場にて擧行されたが一般射手及學生の入賞者は左の通りで午後一時半終了した

▲一般射手 四三點中屋、四二點緒方、四〇點堀口、四〇點東矢、三九點伊藤、三九點横山以下九名十五等迄

▲學生射手 三五點中島、三五點湯淺、三三點山口、三二點河野、三一點永松、二九點大西以下九名十五等まで〻あつた

滿洲軍優勢を持して 京大軍挽回成らず
仲田主將に優勝カップ授與 通計四十點の大差

京大對全滿對抗陸上競技會第二日目は十八日午後三時から大連運動場に於て開催されたまづ競技は四百米突より開始されたが滿洲軍終始優勢に戰ひ得點六〇對三五で第一日との通計百點對六十點の大差で優勝した、戰ひ終つて小日山會長全滿チーム仲田主將に優勝カップを授與し閉會の辭あつて目出度閉會、時に午後六時三十分觀衆約三千頗る盛會であつた

四百米 (京大七、滿洲(三))
一濱田(滿洲)タイム五一秒八、二柏木(滿洲)三鍋島(京大)四松野(京大)
濱田最初より先頭となりつゝいて柏木、鍋島、松野の順で、ゴールに入り一着と二着の差五米

走高跳 (京大五、滿洲五)
一等南部(滿)長島(京)一米七六三等篠井(京)鶴岡(滿)
一米七八を試み滿洲新記錄を作らんとしたが成らず

圓盤投 (滿四、京(六))
一等橫山(京)三八米九〇(滿洲新記錄)二等白石(滿)三六米三六、三等龜山(京)三四米六七、四等三好(滿)二八米六〇
横山最初より終始優勢を持し遂に滿洲新記錄を作る

千五百米 (滿七、京(三))
一着永谷(滿)四分十四秒六(滿洲新記錄)二着山下(滿)三着栗山(京)四着鈴木茂(京)
永谷急ピッテを變えず一周目頃より次第に出て山下を約五十米離して一着に入り見事滿洲記錄四分十六秒二を破る因みにこれは本年度日本の最高記錄である

四百米障碍 (滿洲七、京大(三))
一着柏木(滿)五七秒六(滿洲新記錄)二着鶴岡(滿)三着高柳(京)四着鈴木(京)
滿洲鶴岡先頭に走つたが第九ハードルで柏木、鶴岡を拔きラストダッシュ物凄く五七分六秒で一着は日本記錄に及ばざる僅か

三段跳 (滿洲七、京大(三))
一等南部(滿)十五米二四(滿洲新記錄)二等柴田十四米二五(滿洲新記錄)三等長島十三米〇四四等高柳十二米五一
一、二等共に滿洲記錄を破り南部は五回目に十五米二四を出したが織田の日本記錄十五米四一には及ばなかつた

二百米 (滿洲六、京大(四))
一着岡(滿)二二秒二二着相澤(京)三着今井(滿)四着李(京)
スタートダッシュは例に依つて相澤先頭に出たが百五十で岡と平行し岡のラストスパート物凄く一米の差で一着今井もラストにグン〳〵迫つたが相澤に一米弱遅れる

槍投 (滿洲七、京大(三))
一等伊藤(滿)五二米二八、二等小林(滿)五一米六四、三等西村(京)五一米〇七、四等横山(京)四八米五九
伊藤新記錄を作るために頑張つたが空し

五千米 (滿洲六、京大(四))
一着永谷(滿)十六分五〇秒、二着栗山(京)三着仲本(滿)四武島(京)
三周目まで仲本良くついたが永谷それより次第に出で二着を約二百米殘して一着となり栗山は六周目(二千四百米)頃より次第に詰め仲本常に約二十米の差で走り最後の一周目に栗本一度拔き仲本亦拔き返し猛烈なセリ合となつたが栗本ラスト百五十米で仲本を拔き仲本懸命に迫つたが力盡き五米の差となつて栗山二着

千米メドレーリレー (滿洲四、京大(一))
一着滿洲(今井、仲田、岡、濱田)二分一秒八(滿洲新記錄)二着京大(長島、李、相澤、鍋島)
今井三米仲田七米を離し李と相澤のバトンタッチ惡く差は大きくなり濱田最後に頑張つて約十八米の差となる

試合後岡部滿洲軍コーチャー語る
試合は非常な大差となつて滿洲の大勝となつたが京大が二日間の試合は勿論の事試合前の練習にも常に美くしいスポーツマン精神で終始し本大會を愉快に行ふ事が出來た事は自分達の大きな喜びでもあり亦見習ふ可き點でもあつた

『月と水の夕べ』 愈よけふ
大連運動場プールで

わが社主催、滿鐵運動會後援のもとに愈々今廿日午後六時から大連運動場プールに於いて開催される「月と水の夕べ」のレコード、コンサート並に映畫會は去る九日夜開いた第一回「水の夕べ」の好況に鑑み、より以上の滿足を會員諸君に與ふべくプログラムの選定、會場の準備に

苦心を 重ねて約一時間半に亘つてレコードのコンサートを開く、このレコードは市內山縣通り日本蓄音器商會支店の在庫品全部のうちから特に曲目樂譜に造詣の深い大連高等音樂院舞踊科講師梅木愈三郎氏が「月と水」に因ある東西名曲約二十數編(和樂數編を加ふ)を選擇したもので恐らく今日迄のレコード演奏會としてこれほど優秀な曲譜を集めたものは殆どなく、然もその名曲を操作すべき電氣蓄音器は眞空管六球を備へたコロンビア、コルスター第九百〇二號で現在大連として最も進歩した

唯一の 高聲蓄音器を以てするからレコードの優秀と器械の巧致と相俟つて事實上の音樂大演奏會が現出するに違ひない、レコード會が終ると直に尺八の演奏に移る、名月と笛は古來から詩的情操の一表現だが殊に爽涼夢の如き月明に嚠喨たる尺八の妙律を聽くことは將に羽化登仙の想ひあらしめよう、演奏者は大連隨一の名手草崎主山、辻泰正、宮地泰風の諸氏

熱心に 映畫コーチを受持つことゝなつてゐるから前回の集りに來會された諸君は是非共指導映畫の中編としてこの寫眞を見て置く必要がある、右の外昨秋擧行した日佛競技大會の映畫を始め興味本位として斬新奇拔な漫畫と喜劇映畫を盛澤山に提供し、別に日本八景の一「木曾川下り」壯快極まりなき「海鳥の捕獲實況」等の實寫フキルムも數卷加へてあるから同夜のプログラムは第一回以上の期待を繫ぎ得ると信ずる

氏が都山流本曲「湖上の月」及び「青海波」の二曲を吹奏することゝなつてゐる、最後の映畫は第一回「水の夕べ」に於いて公開した「陸上競技指導映畫」は全卷の僅に三分の一であつて今回は「投擲」「棒高跳」其他に對する基本解說の部を上映し、例により岡部平太氏が

二中陸上部 奉天遠征
支那側とも試合

大連二中陸上競技籠球部選手一行二十五名は田島、田村、西本三教諭に引率され十八日二十二時發の列車で奉天に遠征したが同地にて奉天中學、鞍山中學及び二、三の中華民國中學チームと試合をすると

全鮮野球 大會始る
第一日の成績

【京城特電十八日發】全鮮野球ファンの血を沸かす京城日報社主催の第六回全鮮野球爭覇戰は十八日午前十時より京城グラウンドに於て華々しく火蓋を切ることとなり入場式に次で兒玉政務總監の始球式あり試合は愈々開始されたが第一日の戰績左の如くである
大田鐵道二A對零新義州
遞信局十三對二全光州
全大邱三對零釜山鐵道

柔劍道進級者

大連署巡査山下三吉氏は劍道二段の同警部補瓜生基、巡査飛田力藏、同黑岩半平、同武末七太郎、同佐藤實盛同刑事庄司七郎各氏は柔道初段に何れも十七日附進級した、また水上署貞、金井兩巡査は追般行はれた進級試合でそれ〳〵初段に任ぜられ同署劍道部は一層堅實味を加へた

村山家不幸

村山盛吉氏三男三郎氏は豫て病氣中のところ養生不叶十八日午後三時死去葬儀は十九日午後四時聖德街禮葬場に於て神式により執行すると

けふのラヂオ

昭和四年八月二十日(火曜日)
自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、支那語講座 實用支那語會話 滿鐵學務課 秩父固太郎
三、尺八 本曲湖上の月 草崎主山、辻泰正
四、俗謠 膝色大津繪 唄梅の家千兩、三味線上田ハル子
五、義太夫 酒州合邦辻合邦住家の段 太夫三福みどり、三味線竹本旭勝
六、支那劇 烏龍院 遼東俱樂部員
七、料理獻立
八、天氣豫報

愛慾の窓（75）

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

奔流（九）

美知子は暫くの間默つたまゝ久彦の顔をぢつと讀めてゐたが、やがて取出した絹子の寫眞を、卓子の上に差し出した。

「……お搜しになつてゐらツしやるのはこれでせう？」

彼女の顔は、硬張つた表情で蔽はれてゐた。

「おゝ、さうです！さうです！」

久彦はそれと氣付くと、遽に顔色を明るくして取上げたが

「しかし一體何うしてこれがあなたの手にはひつたのですか？」

と訊ねる。

「……お詫しなけりやなりませんわ！そのお寫眞を盜み出したのは龍吉で御座いますのよ」

美知子は、寂しく瞳を伏せて、半ば呟くやうに答へた。

「盜んだのは、さうです、盜んだのは龍吉でした。けれども今日まで匿しておいたのはわたしですわ。わたしを責めて下さい……」

久彦は、哀しく絹子の寫眞に注いでゐた眼を、美知子の顔に移した。

「責めるの何のツて、そんなことはどうでもいゝですが、しかし美知子さん、龍吉君がこれを盜んだ氣持はわかりますが……つまり龍吉君は、何か金目の品と勘違ひしてさらつて行つたにちがひないんだが、それをまたあなたは、何うして早く僕に返してはくれなかつたんですか？」

「……何うしてツて……」

と、美知子は口籠つた。

「龍吉君のしたことが、僕を怒らすとでもお考へになつたからですか？」

久彦はやさしくたづねる。

「……いゝえ」

「ちやア何うしたの……？」

久彦の手は、優しく美知子の肩に觸れてゐるのだつた。

「わたし……そんなに大切なものとは考へなかつたもんですから」

蚊の鳴くやうな聲で、美知子は微かに云つた。

「……堪忍して、堪忍して下さいまし！」

美知子はふいに兩手で顔を蔽ふと、しくりしくり泣きはじめた。

「……はゝゝゝ、泣かなくつてもいゝですよ！先刻も云つたとほり、別に必要な品でもないのです……」

久彦は輕く彼女の肩をたゝいた。

「いゝえ、嘘ですく！そのお寫眞の方、あなたの、あなたの…」

と、美知子は肩をゆり動かしながら、涙に濡れた聲で叫んだ。われながらそれと說明し難い哀しみが堰を切られた水のやうに、美知子の胸に溢れて來た。

「僕の……？さうです、この寫眞の主は、かつては僕の戀人だつたのです！しかし、今はもう思ふに効のない人です……」

久彦は半ば獨り語のやうに洩らした。

「……お察ししますわ！」

と、美知子は涙に濡れた顔を上げて、ヒステリツクな微笑を泛べた。かつて經驗したことのない感情が、彼女を突き動かした。

「草野さん……わたしにそのお寫眞下さいません？」

美知子は久彦の顔をぢつと見戍つた。

「……はゝ、お望みならば差し上げてもいゝですが、しかし何うなさらうといふのですか？」

久彦は優しい眼で、美知子の顔を見返した。見返されると、彼女はさらに悲しくなつて、

「……御恩返しがしたいんです！せめてそれがわたしの慰めになるんだわ」

美知子はやるせなげに微笑んだ

滿日文藝

水府氏歡迎句會

宿題「汗」　席上互選

二點句

ワイシャツの汗が主人のお氣に入り　連樂

冷汗をびつしよりかいて門を出る　玉江

玉の汗郵便局に用が出來　柳月

汗の出る方へ少い求職者　長介

お化粧のくずれ氣になる鼻の汗　啞鳥

赫日を鞭の下なる馬の汗　濤明

血の汗で稼いだ昔を語る倉　滿四志

汗を拭きく俥夫ねだり上げ　卯木人

汗のシャツ洗つて今日も無事な飯　笑樂亭

九十度赤子も同じ汗をかき　南風

太陽に汗に感謝の士が肥へ　啞佛

放免へほつと冷たい汗を拭き　同

ダンサーの背中手型に汗がつき　醉雷

飯事の主婦は小さい汗をかき　同人

奠願へ少つとおじけのついた汗　喜樂

汗ばんだ顔へ言譯信じさせ　桂馬

握る手の汗の香も媼らし　蜂郎子

お役所で書く履歴書へ汗をかき　佐々市

勾配が續き洋車へ濟まぬ汗　青海

三點句

汗をかく程に生徒は聞いて居ず　草の屋

手に汗を握り傍聽席の友　同

寢汗かく癖を母親だけが知り　一保

行軍は汗を背負ふて村に着く　水母

十点句

機關手の汗を乘客知らぬなり　十日目

汗で來る人を茶店は遠く知り　我茶坊

榮葉服汗の廣さのしみが出來　日季亭

お座敷の汗を藝者は粉で押へ　榮丸

汗を拭く間も器械だけ廻り　蠻

初舞臺見てゐる母も汗をかき　素十

自動車がまた拔いて行く汗の顔　錦稚坊

汗ばんだ弱みへ王手たゝみかけ　喜樂

一粒の米へ農夫の汗を說き　桂馬

冷藏庫から銀盆へ噫の汗　若八

嘲笑と惡罵を汗の日で送り　若葉冠

演臺に立つた斗りで汗を拭き　歩聽

落魄されて汗の尊いことを知り　新郎

淚院の豫習へ輕い汗をかき　青海

冷汗をかいて我身の罪を知る　月雨

四點句

眞實の凉しさ光る汗の顔　風來坊

一日の働を土にしませる　我羅太

痛い痒い苦しい　夏の皮膚病

あせも、濕疹、水虫、毒虫　其他の皮膚病治療の心得

暑さが増すと何處の家でも子供や大人があせもで苦しめられる、顔から頸や襟、さては腋や胸、脊といふ風にブツくく吹出したあせもの痒さ、苦しさは見たゞけでもうるさく痛々しく感じられるものである。あせもブツくと散在してゐる時代に手當をすると比較的容易に治つて仕舞ふものであるが放任して置いた上に痒いので搔いたりすると化膿菌が侵入して恐ろしく大きく腫れ上り痛みと痒みと同時に來るので其の苦しさは格別にひどい。この膿瘍が俗にいふあせもの寄り、又は夏ぼし、といふもので、斯うなると汗打粉ぐらいでは治らないばかりでなく下手に手をつけると大切な顔や頭に一生の瘢や禿を遺すことになるから、さうならぬ中に早く手當をするに限る。汗をかくことがあせもを生ずる原因であるから發生した部位をよく水か湯で洗つて、そのあとへ適當な藥をつけて置けば先づ心配は要らない。

治らない田虫

次は夏季になると流れ落ちて中々治らないものである。一種深刻なて行つて白い皮が剝かれ落ち中々痒みと痛みとを伴ふので隨分惱まされる人が多い。それは汗疱狀白癬といふやつで、指の間に出來たのを趾間白癬と呼んでゐる。始末の悪いことにはこの病氣は翌年まで持ち越すことで七八月の暑い盛りになると去年と同じ樣に起る、その療法にも色々あるが後に記す樣に手當すれば良い結果を得ることが出來よう。

水虫に次で困るのはたむしでこれも頗る多數の人を惱ますものである。多く毛のある部分に發生し先づ小さな水泡が出來て次第に大きくなり、その縁が高くなつて段々に他のものと連絡し地圖の池や沼の樣に不規則な形に蔓延し、悪性のものは一見癩病の膿疹かと思はれる位である。發疹した部分は猛烈に痒く痛く、その時期を過ぎると白いフケの樣な皮膚が落ちる子供の頭から顔へ移ることが最も多いから帽子に注意しないと知らぬ間に傳染つてゐることがある。

藥を撰む心得

其他、暑い時節は全く皮膚病傳播の絶好期であるから輕くとも皮膚病の一種と見極めが付いたら直ぐよい藥を適宜に用ゐて蔓延を防ぎ一方には殺菌作用を完全にして怖ろしい瘍とならせぬ樣に心掛けなくてはならない。ところが皮膚病の藥と云つても色々あつて中には有害な副作用を有してゐるものもあるから無暗なものを濫用することは危險である。

家庭で用ふる皮膚藥を選ぶときは先づ左の點をよく確かめて用ゐなくてはならぬ。第一に無刺戟性であること、第二には殺菌性のあること、第三には皮膚を荒さぬこと、第四には絶對に副作用のないこと、第五には滲透力が强く、潜伏菌を殺す力のあること、等である。これらの條件を具へた藥なら安心して使用することが出來るのである。

しかし其他のものはいけない。最近では最も魅延されてゐるものにヨーヂ水がある、この藥は淡黃褐色に近い水藥で前記の各症には何れも非常に効を奏し又治つた痕を殘さないので喜ばれてゐる特にこの藥は化粧的にも不思議な効果があり皮膚藥と化粧料とを兼ねてゐるので一瓶の利益があると好評されてゐるのである。

とびひと水虫

それから子供によくあつた膿痂疹、俗にとびひといふのも夏に多いものでこれは極めて傳染力が强く、かさぶたの出來た上を搔くと水が出たりする、その水が他人につくと直ぐ同じ樣に出來るから子供同志が遊んでゐる時には注意を要する。これも始めは化膿菌が取り付いて起るのであるから痒い所を搔くことをやめる樣にしなくてはたらない。それから水虫、これも夏になると猛烈に殖えるもので日常靴を穿く人などの足の指の間に最も多く出來る。頗る痒いので我慢し切れずに掻くと水泡が出來、それを針やナイフなどで刺し破ると透明な液が流れ出す、そして治る樣に見えるが實は次へ次へと移つ